

那覇市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

< 目 次 >

第1章	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査設計	1
(1)	調査の回答者	1
(2)	調査期間及び調査手法	1
3.	回収状況	1
4.	調査結果の見方	2
第2章	回答者の基本属性	3
1.	性別	3
2.	年齢	3
3.	要介護度	4
4.	圏域別基本属性	5
第3章	評価項目別の結果	6
1.	運動器	6
(1)	評価方法	6
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	6
(3)	該当状況(圏域別)	7
2.	栄養	8
(1)	評価方法	8
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	8
(3)	該当状況(圏域別)	10
3.	咀嚼	11
(1)	評価方法	11
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	11
(3)	該当状況(圏域別)	12
4.	閉じこもり	13
(1)	評価方法	13
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	13
(3)	該当状況(圏域別)	14
5.	認知機能	15
(1)	評価方法	15
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	15
(3)	該当状況(圏域別)	17
6.	うつ傾向	18
(1)	評価方法	18
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	18
(3)	該当状況(圏域別)	19
7.	転倒リスク	20
(1)	評価方法	20
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	20
(3)	該当状況(圏域別)	22
8.	IADL(手段的自立度)	23
(1)	評価方法	23
(2)	該当状況(全体及び性・年齢別)	23
(3)	該当状況(圏域別)	25

9.	各評価項目リスク者割合の経年比較.....	26
第4章	調査結果の詳細.....	27
1.	調査の回答者.....	27
2.	家族や生活状況について【問1】.....	28
(1)	家族構成【必須項目】.....	28
(2)	介護・介助の必要性【必須項目】.....	30
(3)	主な介護・介助者【オプション項目】.....	32
(4)	暮らしの経済状況【必須項目】.....	35
(5)	住居形態【オプション項目】.....	37
3.	からだを動かすことについて【問2】.....	39
(1)	階段の上り下り【必須項目】.....	39
(2)	椅子からの立ち上がり【必須項目】.....	41
(3)	15分位の歩行【必須項目】.....	43
(4)	過去1年の転倒経験【必須項目】.....	45
(5)	転倒に対する不安【必須項目】.....	47
(6)	1週間の外出回数【必須項目】.....	49
(7)	外出回数の減少状況【必須項目】.....	51
(8)	外出控え【オプション項目】.....	53
(9)	外出控えの理由【オプション項目】.....	55
(10)	外出時の移動手段【オプション項目】.....	57
4.	食えることについて【問3】.....	59
(1)	BMI(身長・体重)【必須項目】.....	59
(2)	半年前と比較した固いものの咀嚼状況【必須項目】.....	61
(3)	汁物でむせた経験【オプション項目】.....	63
(4)	歯の本数と入れ歯の利用状況【必須項目】.....	65
(5)	共食の機会【必須項目】.....	67
5.	毎日の生活について【問4】.....	69
(1)	物忘れの多寡【必須項目】.....	69
(2)	一人での外出【必須項目】.....	71
(3)	食品・日用品の買物【必須項目】.....	73
(4)	食事の用意【必須項目】.....	75
(5)	請求書の支払い【必須項目】.....	77
(6)	預貯金の出し入れ【必須項目】.....	79
(7)	趣味や楽しみについて【オプション項目】.....	81
6.	地域での活動について【問5】.....	83
(1)	地域活動や趣味活動について【必須項目】.....	83
(2)	ボランティアのグループへの参加【必須項目】.....	84
(3)	スポーツ関連グループへの参加【必須項目】.....	86
(4)	趣味関係のグループへの参加【必須項目】.....	88
(5)	学習・教養のグループへの参加【必須項目】.....	90
(6)	介護予防のための通いの場への参加【必須項目】.....	92
(7)	老人クラブへの参加【必須項目】.....	94
(8)	町内会・自治会・通り会への参加【必須項目】.....	96
(9)	収入のある仕事への参加【必須項目】.....	98
(10)	地域づくり活動への参加者としての参加意向【必須項目】.....	100
(11)	地域づくり活動への企画・運営役としての参加意向【必須項目】.....	102
7.	たすけあいについて【問6】.....	104
(1)	心配事や愚痴を聞いてくれる人【必須項目】.....	104
(2)	心配事や愚痴を聞いてあげる人【必須項目】.....	106
(3)	看病や世話をしてくれる人【必須項目】.....	108

(4)	看病や世話をしあける人【必須項目】	110
(5)	家族や友人・知人以外での相談相手【オプション項目】	112
(6)	安心して暮らしていくために充実して欲しいこと【市独自項目】	114
(7)	災害時への備え【市独自項目】	116
8.	健康について【問7】	118
(1)	主観的健康状態【必須項目】	118
(2)	現在の幸福度【必須項目】	120
(3)	この一か月間での気分の沈み、ゆううつな気持ち【必須項目】	122
(4)	この一ヵ月での興味・楽しみの減退【必須項目】	124
(5)	喫煙状況【必須項目】	126
(6)	治療中、または後遺症のある病気【必須項目】	128
(7)	かかりつけ医の有無【市独自】	131
(8)	希望する終末期の居所【市独自項目】	133
(9)	終末期の医療、介護、延命措置に関する要望の伝達状況【市独自項目】	135
9.	認知症にかかる相談窓口の把握について【問8】	137
(1)	認知症の症状の有無【必須項目】	137
(2)	認知症の相談窓口の認知度【必須項目】	139
参考資料		141
使用した調査票		141

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

高齢者の生活実態や課題、地域ごとの傾向の違い等を把握し、介護予防に向けた取り組みに活かしていくことを目的に、那覇市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施した。

調査票の設問項目については、国が示した必須項目にオプション項目の一部と那覇市独自設問を加えて作成した。

2. 調査設計

(1) 調査の回答者

那覇市内の65歳以上の高齢者(要介護1～5の認定を受けている方以外)から、日常生活圏域(18圏域)ごとに均等に標本数を割り当て、約15,000人を無作為に抽出。

※日常生活圏域である各地域包括支援センターの圏域ごとに400以上のサンプル確保を目指すものと、50%程度の有効回収率となる想定で標本数を設定。

(2) 調査期間及び調査手法

調査期間:令和元年12月13日(金)～令和2年1月21日(火) (回収予備期間含む)

調査手法:郵送による配布回収 ※調査期間中に礼状兼協力依頼はがきを全員に発送(1回)

3. 回収状況

圏域(包括地区)名	標本数	回収数	回収率
1 石嶺	833	523	62.8%
2 大名	833	459	55.1%
3 城西	833	516	61.9%
4 繁多川	833	415	49.8%
5 松川	833	440	52.8%
6 松島	833	476	57.1%
7 識名	833	540	64.8%
8 安里	833	439	52.7%
9 古波蔵	833	435	52.2%
10 国場	833	465	55.8%
11 新都心	833	501	60.1%
12 安謝	833	448	53.8%
13 泊	833	429	51.5%
14 若狭	833	429	51.5%
15 城岳	833	455	54.6%
16 かなぐすく	833	402	48.3%
17 小禄	833	515	61.8%
18 高良	833	477	57.3%
無回答		179	
全 体	14,994	8,543	57.0%

《参考》中圏域別集約結果

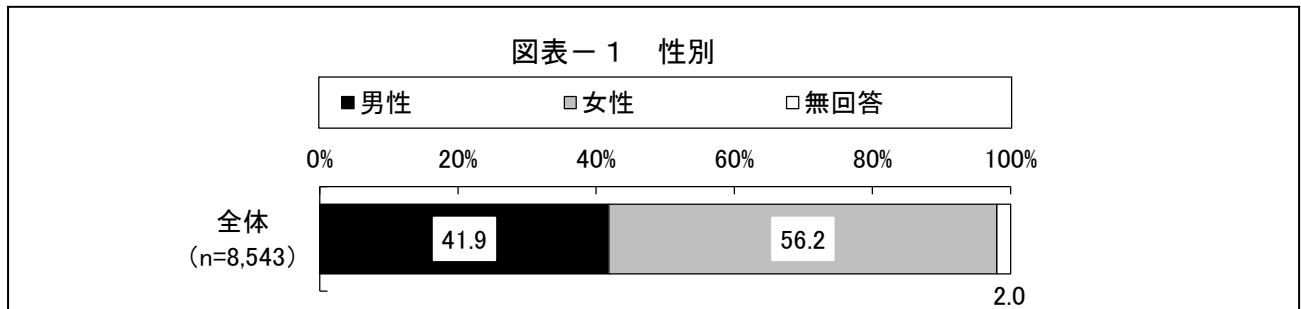
中圏域名	標本数	回収数	回収率	該当する圏域
首里地区	2,499	1,498	59.9%	石嶺・大名・城西
真和志地区	4,998	2,771	55.4%	繁多川・松川・松島・識名・古波蔵・国場
本庁地区	4,998	2,701	54.0%	安里・新都心・安謝・泊・若狭・城岳
小禄地区	2,499	1,394	55.8%	かなぐすく・小禄・高良

4. 調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の「調査数」を基数(n)とした百分率(%)で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 性別・年齢、圏域等の基本属性等とのクロス集計においては、原則として、表側の各属性等の「無回答」を表示していない。ただし、「全体」は属性の「無回答」も含んでいる。
- クロス集計等において、基数(n)となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。

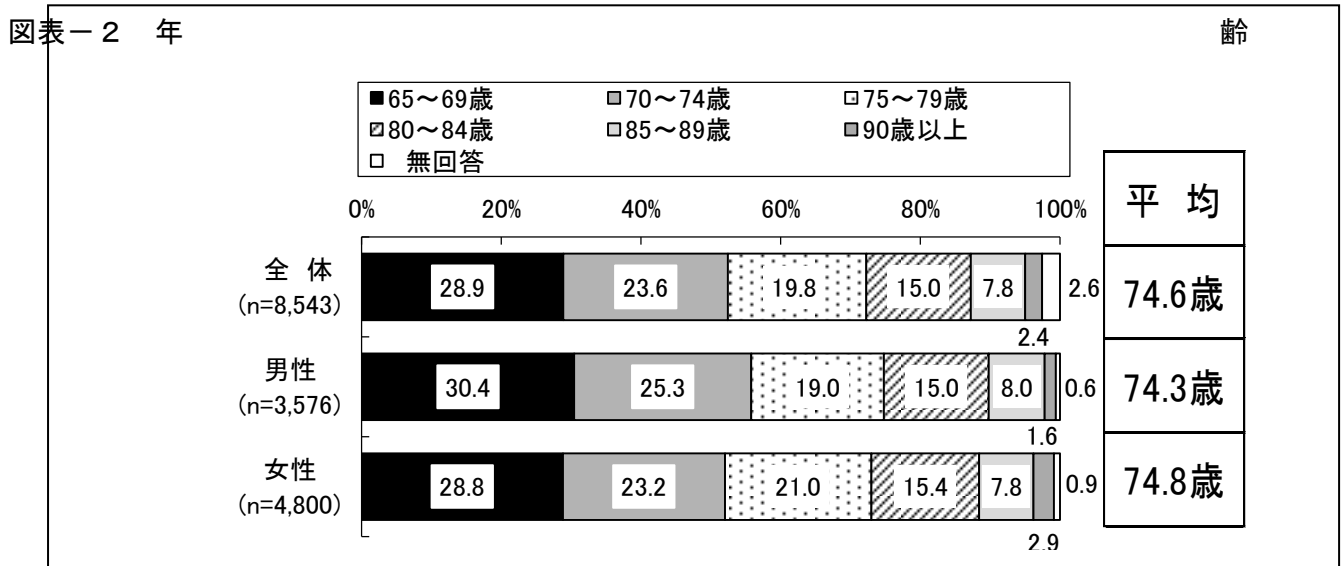
第2章 回答者の基本属性

1. 性別



回答者の性別は、「男性」が41.9%、「女性」が56.2%と、女性の割合が高い。

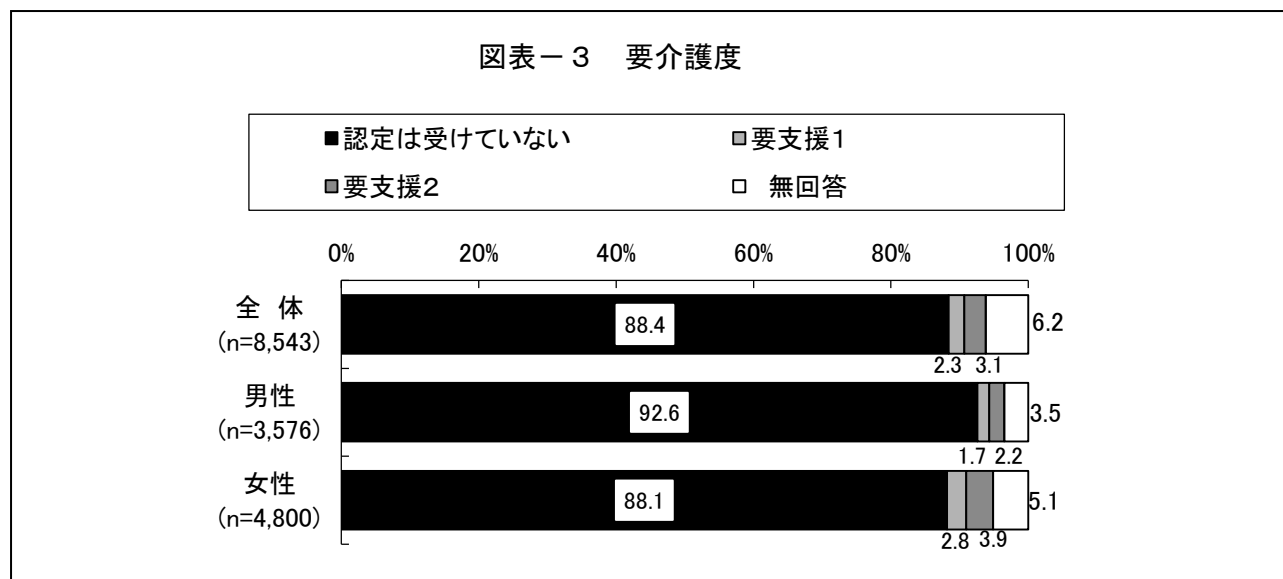
2. 年齢



回答者の年齢は、全体では「65～69歳」が28.9%、「70～74歳」が23.6%、「75～79歳」が19.8%と年齢が若いほど割合が高く、74歳以下が52.5%、75歳以上が45.0%を占めている。

また、平均年齢は74.6歳(男性:74.3歳、女性:74.8歳)である。

3. 要介護度



本調査は要介護認定者(要介護1～5)以外の高齢者を対象に実施しており、回答者の88.4%が要介護(要支援)認定を受けていない高齢者(以下、「一般高齢者」という。)であり、要支援認定者は5.4%である(要支援1:2.3%、要支援2:3.1%)。

4. 圏域別基本属性

前述の基本属性(性別、年齢、要介護度)を圏域別にみると下表のとおりである。

上段:実数(件)、下段:割合(横%)																	
	調 査 数	性別			年齢								要介護度				
		男 性	女 性	無 回 答	6 5 5 6 9 歳	7 0 5 7 4 歳	7 5 5 7 9 歳	8 0 5 8 4 歳	8 5 5 8 9 歳	9 0 歳 以 上	無 回 答	平 均 年 齢	認 定 は 受 け て い な い	要 支 援 1	要 支 援 2	無 回 答	
全 体		8,543 100.0	3,576 41.9	4,800 56.2	167 2.0	2,469 28.9	2,017 23.6	1,693 19.8	1,279 15.0	665 7.8	201 2.4	219 2.6	74.6歳	7,551 88.4	197 2.3	269 3.1	526 6.2
圏 域 別	石 嶺	523 100.0	224 42.8	295 56.4	4 0.8	134 25.6	127 24.3	130 24.9	81 15.5	38 7.3	3 0.6	10 1.9	74.7歳	466 89.1	10 1.9	21 4.0	26 5.0
	大 名	459 100.0	193 42.0	264 57.5	2 0.4	109 23.7	115 25.1	104 22.7	76 16.6	37 8.1	13 2.8	5 1.1	75.3歳	406 88.5	9 2.0	20 4.4	24 5.2
	城 西	516 100.0	225 43.6	290 56.2	1 0.2	128 24.8	126 24.4	108 20.9	96 18.6	35 6.8	22 4.3	1 0.2	75.4歳	479 92.8	11 2.1	14 2.7	12 2.3
	繁多川	415 100.0	174 41.9	237 57.1	4 1.0	108 26.0	88 21.2	96 23.1	67 16.1	33 8.0	11 2.7	12 2.9	75.1歳	364 87.7	10 2.4	15 3.6	26 6.3
	松 川	440 100.0	195 44.3	243 55.2	2 0.5	128 29.1	101 23.0	86 19.5	58 13.2	45 10.2	16 3.6	6 1.4	75.0歳	395 89.8	11 2.5	8 1.8	26 5.9
	松 島	476 100.0	200 42.0	269 56.5	7 1.5	134 28.2	114 23.9	106 22.3	63 13.2	45 9.5	11 2.3	3 0.6	74.9歳	427 89.7	11 2.3	15 3.2	23 4.8
	識 名	540 100.0	231 42.8	304 56.3	5 0.9	164 30.4	116 21.5	109 20.2	77 14.3	49 9.1	15 2.8	10 1.9	74.8歳	480 88.9	11 2.0	17 3.1	32 5.9
	安 里	439 100.0	185 42.1	250 56.9	4 0.9	131 29.8	107 24.4	88 20.0	58 13.2	30 6.8	11 2.5	14 3.2	74.4歳	383 87.2	13 3.0	12 2.7	31 7.1
	古波蔵	435 100.0	193 44.4	236 54.3	6 1.4	121 27.8	100 23.0	88 20.2	61 14.0	42 9.7	14 3.2	9 2.1	75.1歳	392 90.1	15 3.4	12 2.8	16 3.7
	国 場	465 100.0	194 41.7	268 57.6	3 0.6	157 33.8	116 24.9	85 18.3	64 13.8	29 6.2	9 1.9	5 1.1	73.8歳	414 89.0	11 2.4	16 3.4	24 5.2
	新都心	501 100.0	205 40.9	293 58.5	3 0.6	162 32.3	129 25.7	90 18.0	76 15.2	34 6.8	7 1.4	3 0.6	74.0歳	453 90.4	10 2.0	13 2.6	25 5.0
	安 謝	448 100.0	173 38.6	270 60.3	5 1.1	130 29.0	123 27.5	76 17.0	70 15.6	35 7.8	9 2.0	5 1.1	74.4歳	392 87.5	11 2.5	18 4.0	27 6.0
	泊	429 100.0	174 40.6	251 58.5	4 0.9	132 30.8	105 24.5	81 18.9	64 14.9	31 7.2	10 2.3	6 1.4	74.3歳	397 92.5	6 1.4	11 2.6	15 3.5
	若 狭	429 100.0	179 41.7	248 57.8	2 0.5	135 31.5	99 23.1	86 20.0	59 13.8	37 8.6	8 1.9	5 1.2	74.5歳	385 89.7	11 2.6	11 2.6	22 5.1
	城 岳	455 100.0	193 42.4	261 57.4	1 0.2	137 30.1	111 24.4	80 17.6	73 16.0	37 8.1	13 2.9	4 0.9	74.6歳	422 92.7	7 1.5	11 2.4	15 3.3
	かなぐすく	402 100.0	170 42.3	229 57.0	3 0.7	139 34.6	89 22.1	63 15.7	68 16.9	32 8.0	8 2.0	3 0.7	74.2歳	359 89.3	13 3.2	15 3.7	15 3.7
	小 祿	515 100.0	221 42.9	292 56.7	2 0.4	163 31.7	116 22.5	101 19.6	83 16.1	37 7.2	10 1.9	5 1.0	74.4歳	463 89.9	10 1.9	20 3.9	22 4.3
	高 良	477 100.0	216 45.3	256 53.7	5 1.0	146 30.6	121 25.4	95 19.9	67 14.0	35 7.3	8 1.7	5 1.0	74.2歳	425 89.1	8 1.7	17 3.6	27 5.7

※「全体」は圏域名無回答も含む(以下、同様)

図表－4 圏域別基本属性

第3章 評価項目別の結果

本章では、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査から算出可能な高齢者の生活機能・日常生活・社会参加等に係る各評価項目におけるリスク者の割合等をもとに、本市における高齢者の状況把握を行う。

1. 運動器

(1) 評価方法

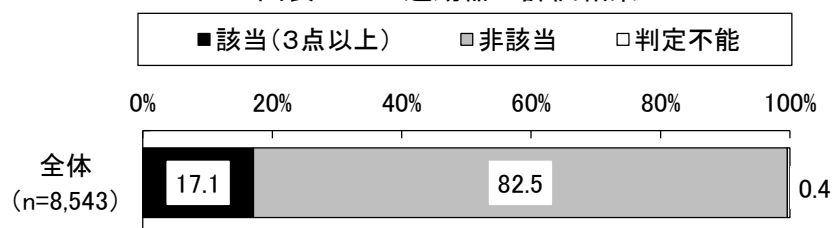
運動器に関する下記の設問5項目のうち、3項目(点)以上に該当する場合「リスク者」(運動器の機能低下)と判定する。

図表－5 運動器の評価関連項目と回答結果

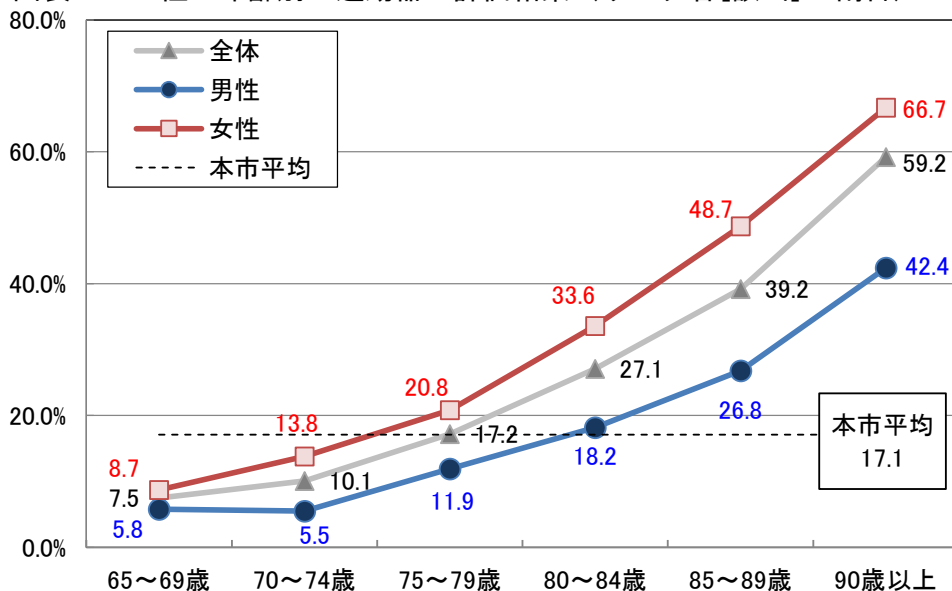
設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,543)
問2	(1)	階段を手すりを使わずに昇っていますか	3. できない	20.7%
問2	(2)	椅子に座った状態から何にもつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない	14.1%
問2	(3)	15分位続けて歩いていますか	3. できない	9.0%
問2	(4)	過去一年間に転んだ経験はありますか	計	28.8%
			1. 何度もある	8.6%
			2. 一度ある	20.2%
問2	(5)	転倒に対する不安は大きいですか	計	51.3%
			1. とても不安である	16.3%
			2. やや不安である	35.0%

(2) 該当状況 (全体及び性・年齢別)

図表－6 運動器の評価結果



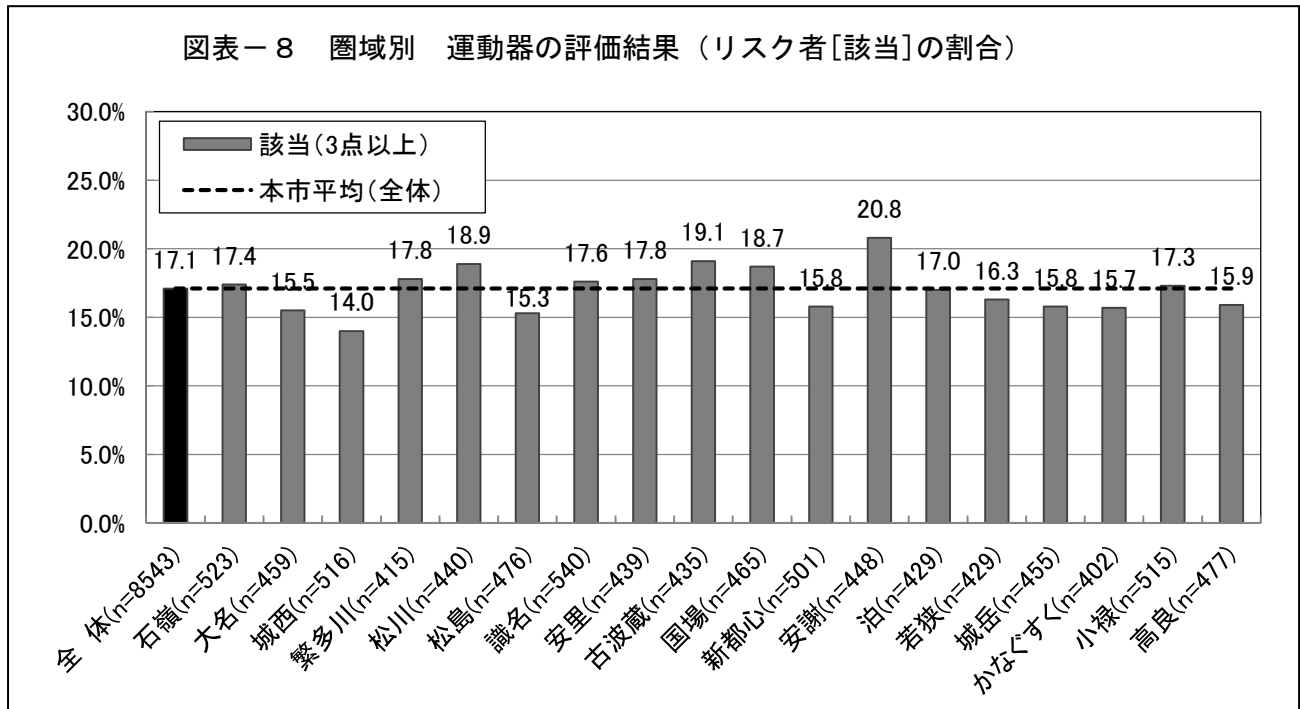
図表－7 性・年齢別 運動器の評価結果 (リスク者[該当]の割合)



運動器のリスク者(該当[3点以上])の割合は、全体で17.1%であり、約6人に1人に運動機能の低下がみられる。

性・年齢別にみると、リスク者の割合はすべての年齢階級で男性よりも女性が高い。また、男女とも年齢階級が上がるほどリスク者割合が上昇する傾向にある。

(3) 該当状況(圏域別)



運動器のリスク者(該当[3点以上])の割合を圏域別にみると、安謝圏域が20.8%で最も高く、城西圏域が14.0%で最も低い。

2. 栄養

(1) 評価方法

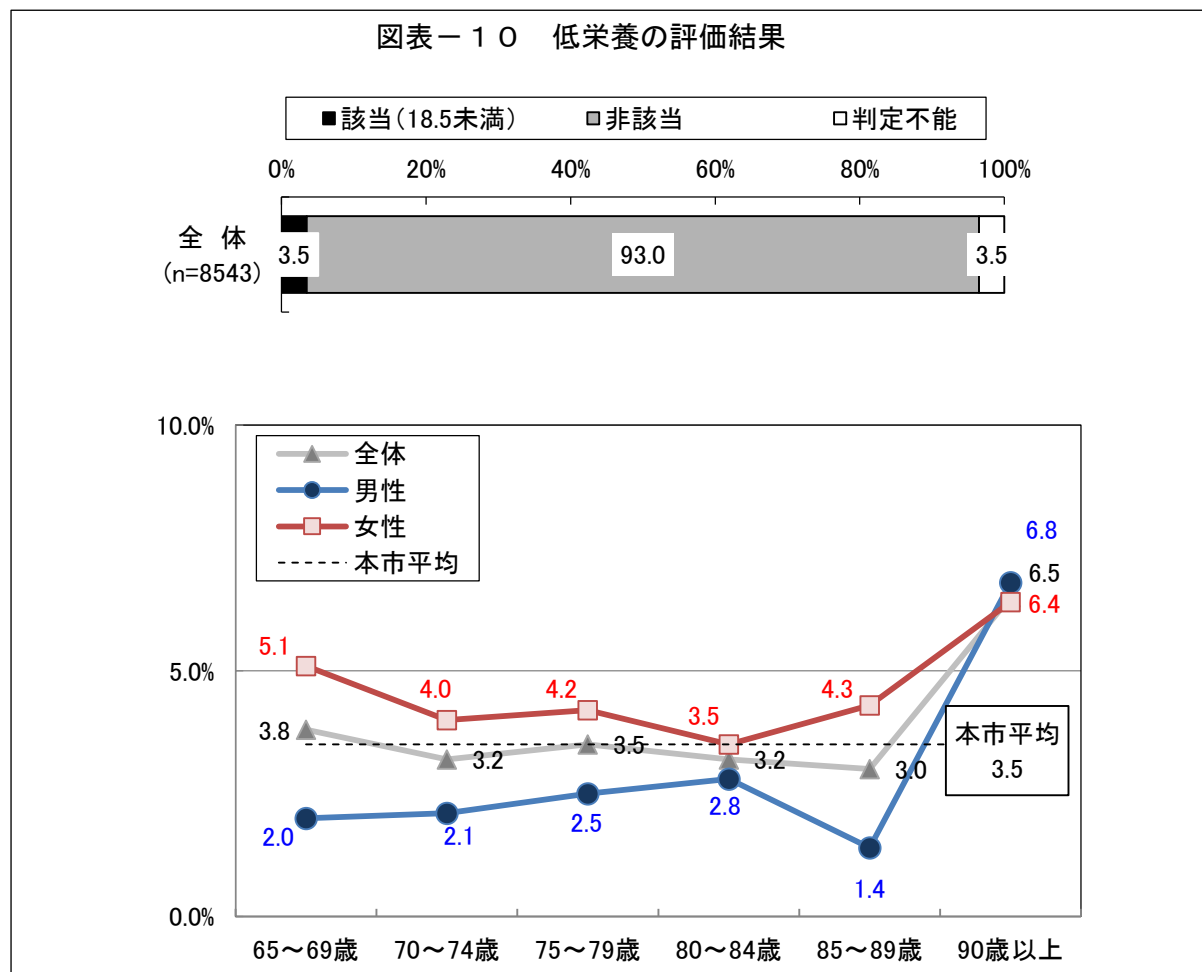
栄養に関する下記の設問において、BMI が 18.5 未満の場合「リスク者」(低栄養状態)と判定する。

※BMI＝体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)}

図表－ 9 低栄養の評価関連項目と回答結果

設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,543)
問 3	(1)	身長・体重 BMI	BMI < 18.5	3.5%

(2) 該当状況 (全体及び性・年齢別)



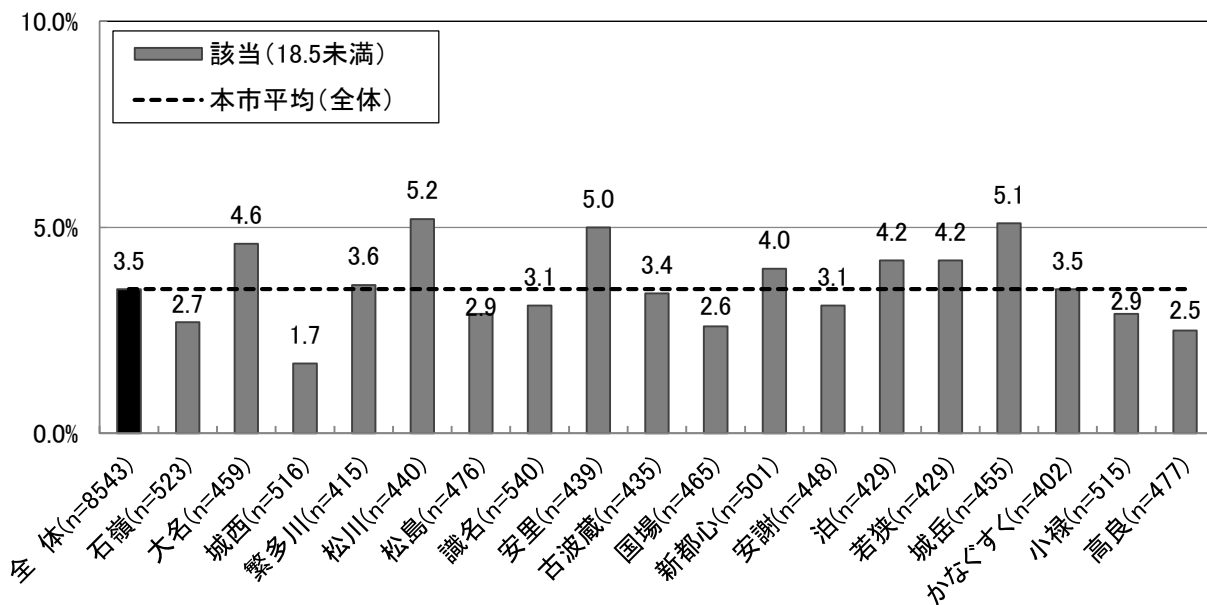
図表－ 11 性・年齢別 低栄養の評価結果 (リスク者 [該当] の割合)

低栄養のリスク者 (BMI<18.5) の割合は全体では 3.5% である。

性・年齢別でみると、80 歳代以下では男性よりも女性でリスク者の割合が高いが、90 歳以上になると男性のリスク者割合が女性と同率程度まで高まり、男女とも 6% を超える。

(3) 該当状況 (圏域別)

図表－１２ 圏域別 低栄養の評価結果 (リスク者 [該当] の割合)



低栄養リスク者の割合を圏域別でみると、松川圏域が 5.2% で最も高く、次いで城岳圏域 (5.1%) と安里圏域 (5.0%) も 5% 台と高い。一方、リスク者の割合が最も低いのは城西圏域で 1.7% である。

3. 咀嚼

(1) 評価方法

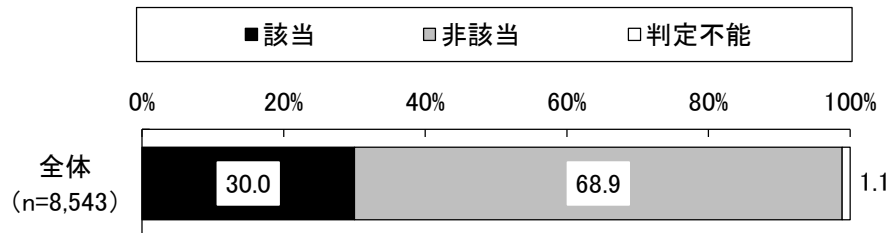
咀嚼機能に関する下記の設問に該当する場合「リスク者」(咀嚼機能低下)と判定する。

図表－13 咀嚼機能の評価関連項目と回答結果

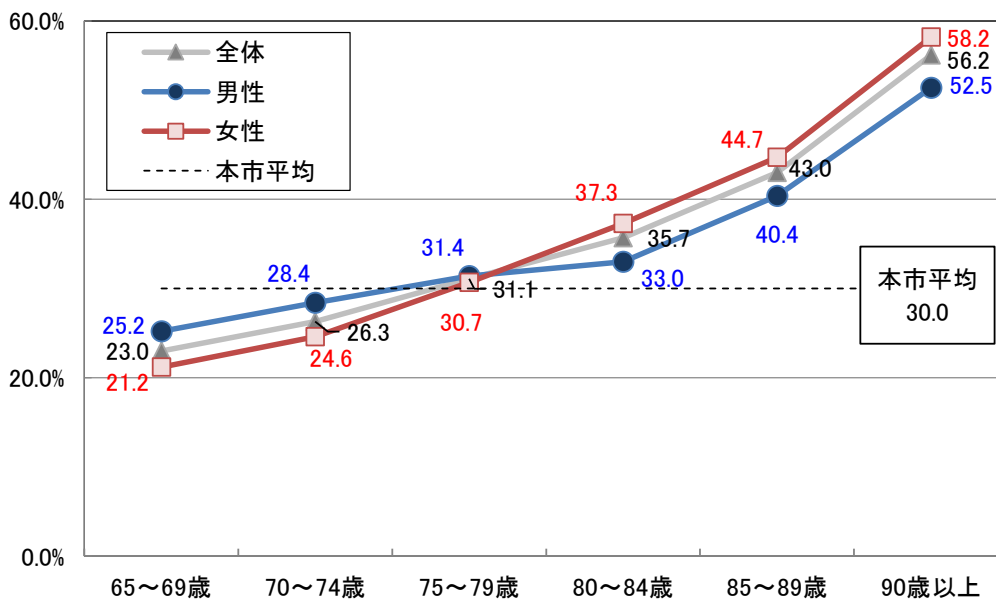
設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,543)
問3	(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	30.0%

(2) 該当状況 (全体及び性・年齢別)

図表－14 咀嚼機能の評価結果



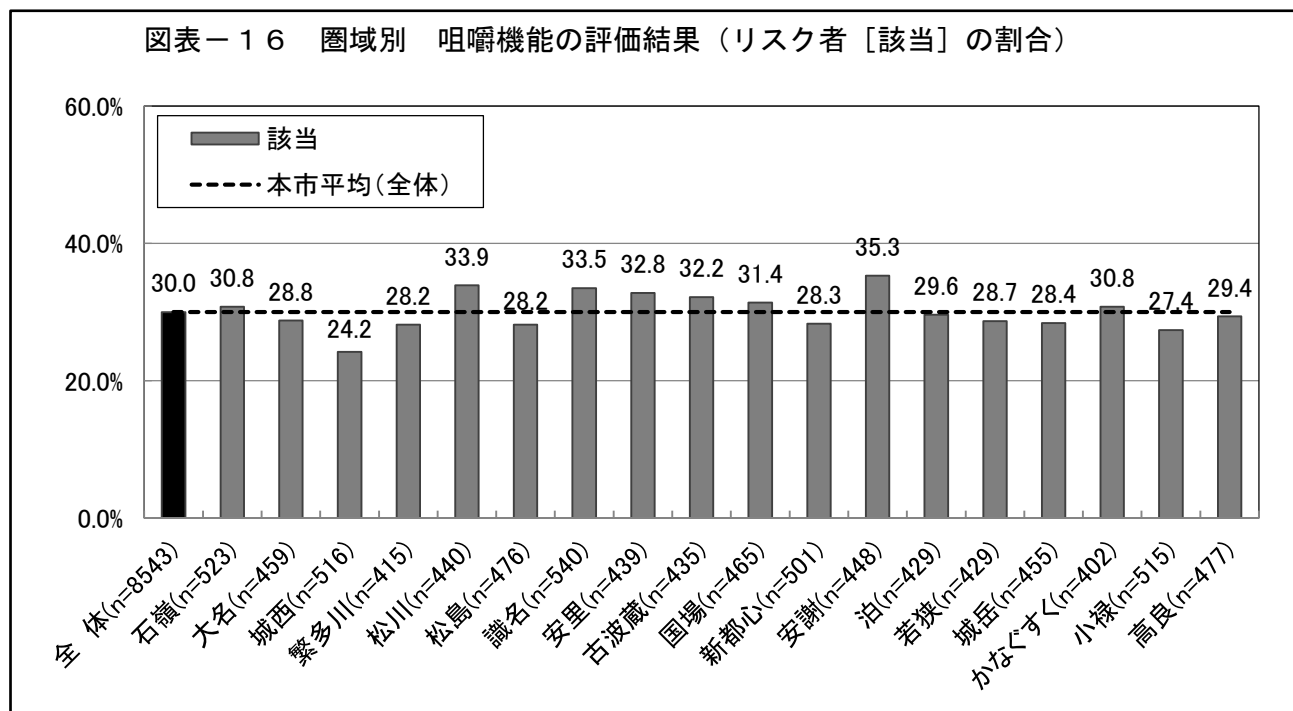
図表－15 性・年齢別 咀嚼機能の評価結果 (リスク者 [該当] の割合)



咀嚼機能リスク者の割合は全体では 30.0%である。

性・年齢別では、男女ともに年齢階級が上がるほど、咀嚼機能の低下リスク者割合が上昇する傾向にある。また、74歳までの年齢階級では男性のリスク者の割合が女性の割合を上回っているものの、75～79歳で女性リスク者の割合 30.7%が男性の割合 31.4%に並び、80歳以上では女性が男性を上回っている。

(3) 該当状況（圏域別）



咀嚼機能リスク者の割合を圏域別にみると、安謝圏域が 35.3% で最も高く、城西圏域が 24.2% で最も低い。

4. 閉じこもり

(1) 評価方法

閉じこもり傾向に関する下記の設問に該当する場合「リスク者」(閉じこもり傾向)と判定する。

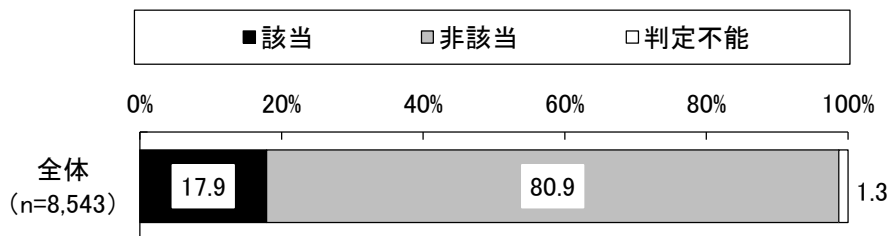
図表－17 閉じこもり
評価関連項
結果

設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,543)
問2	(6)	週に1回以上は外出していますか	計	17.9%
			1. ほとんど外出しない	6.7%
			2. 週1回	11.2%

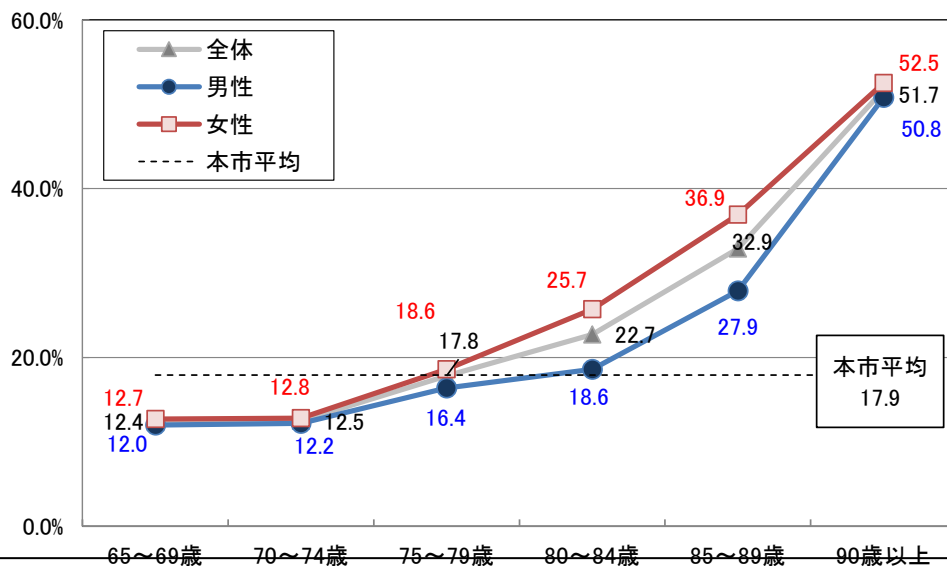
こもりの
目と回答

(2) 該当状況 (全体及び性・年齢別)

図表－18 閉じこもりの評価結果



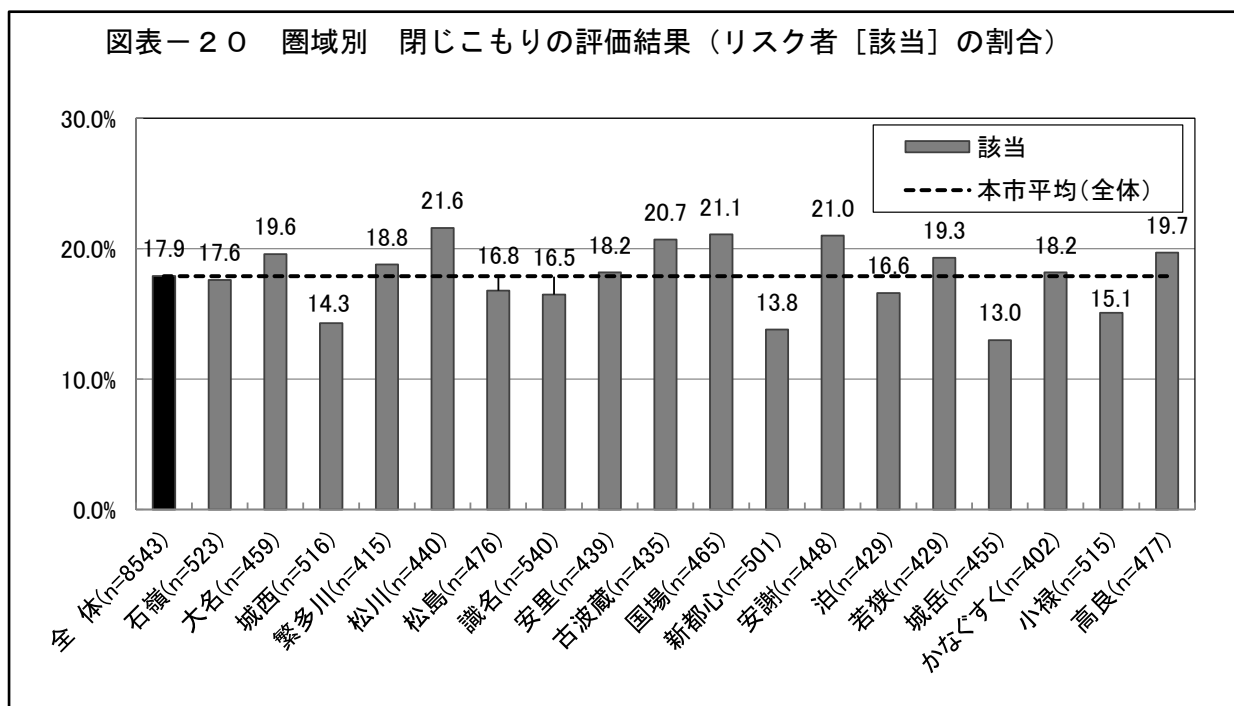
図表－19 性・年齢別 閉じこもりの評価結果 (リスク者 [該当] の割合)



閉じこもりリスク者の割合は、全体では17.9%である。

性・年齢別では、男女ともに74歳までの年齢階級では12%前後で推移し、75歳以上の年齢階級でリスク者の割合が上昇し始め、90歳以上では約50%にまで上る(男性50.8%、女性52.5%)。

(3) 該当状況（圏域別）



閉じこもりリスク者の割合を圏域別にみると、松川圏域が21.6%で最も高く、次いで国場圏域(21.1%)、安謝圏域(21.0%)、古波蔵圏域(20.7%)も21%前後と高い。一方、リスク者の割合が最も低いのは城岳圏域で13.0%であり、次いで新都心圏域(13.8%)と城西圏域(14.3%)も14%前後と低い。

5. 認知機能

(1) 評価方法

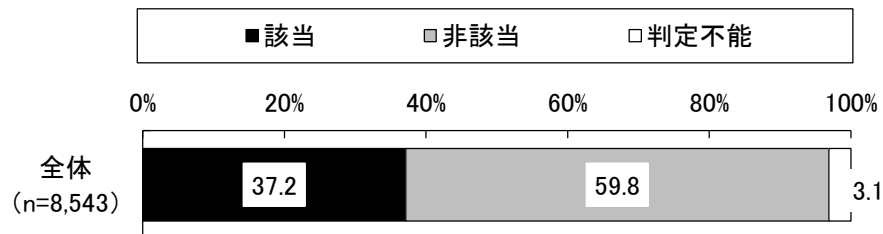
認知機能に関する下記の設問に該当する場合「リスク者」(認知の機能低下)と判定する。

図表－2 1 認知機能の評価関連項目と回答結果

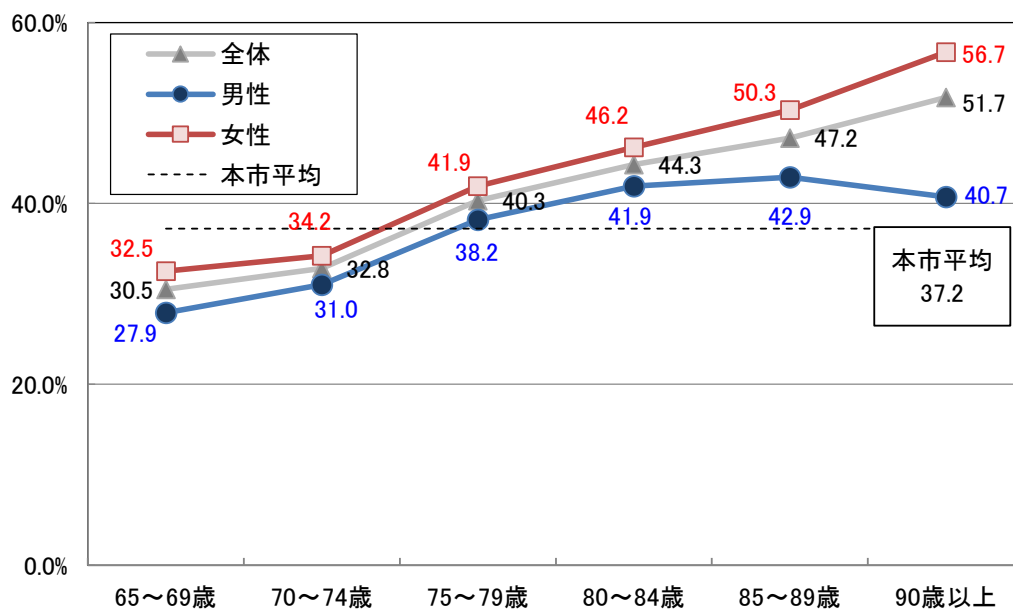
設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,543)
問4	(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい	37.2%

(2) 該当状況 (全体及び性・年齢別)

図表－2 2 認知機能の評価結果



図表－2 3 性・年齢別認知機能の評価結果 (リスク者 [該当] の割合)

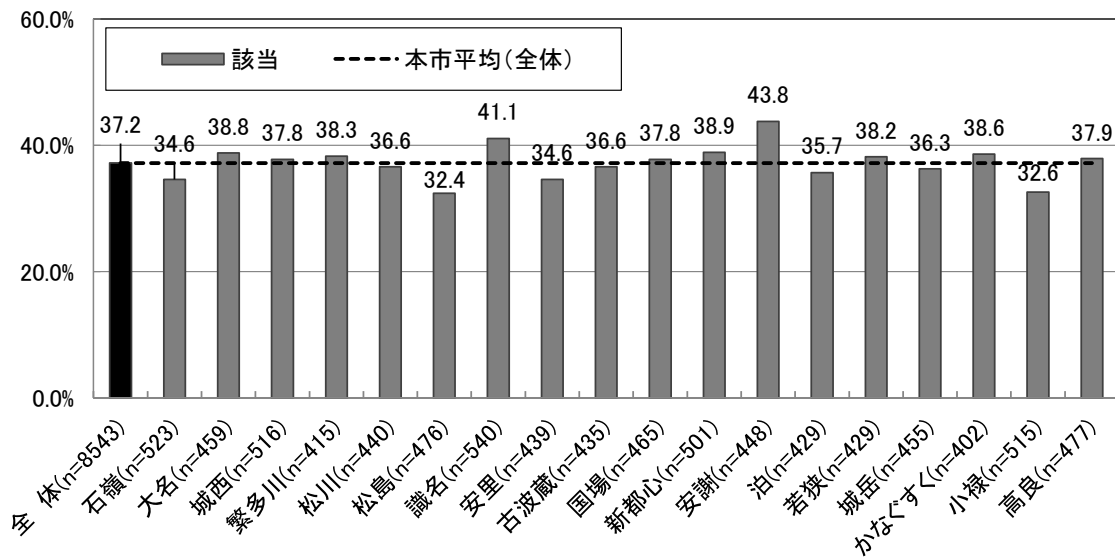


認知機能リスク者の割合は、全体では 37.2%である。

性・年齢別では、女性は年齢階級が上がるとともに、認知機能の低下リスク者の割合も上昇していき、90 歳以上では 56.7%にも上るのに対し、男性は 80 歳以降、上昇傾向が落ち着き、約 40%で推移している。

(3) 該当状況（圏域別）

図表－24 圏域別 認知機能の評価結果（リスク者〔該当〕の割合）



認知機能リスク者の割合を圏域別でみると、安謝圏域が43.8%で最も高く、次いで識名圏域(41.1%)も40%を超えて高い。一方、リスク者の割合が最も低いのは松島圏域で32.4%であり、次いで小祿圏域(32.6%)も32%台と低い。

6. うつ傾向

(1) 評価方法

うつ傾向に関する下記の設問2項目のうち、いずれかに該当する場合「リスク者」(うつ傾向)と判定する。

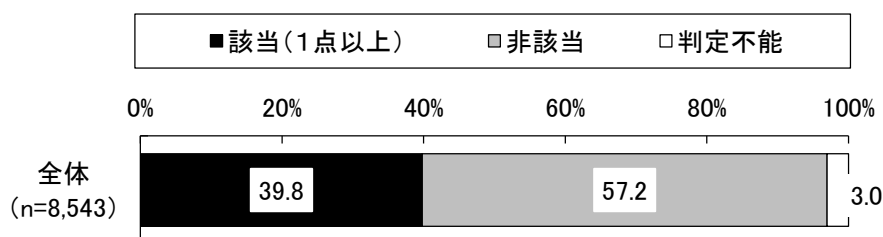
向の
と回

設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,543)
問7	(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい	36.7%
問7	(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい	22.6%

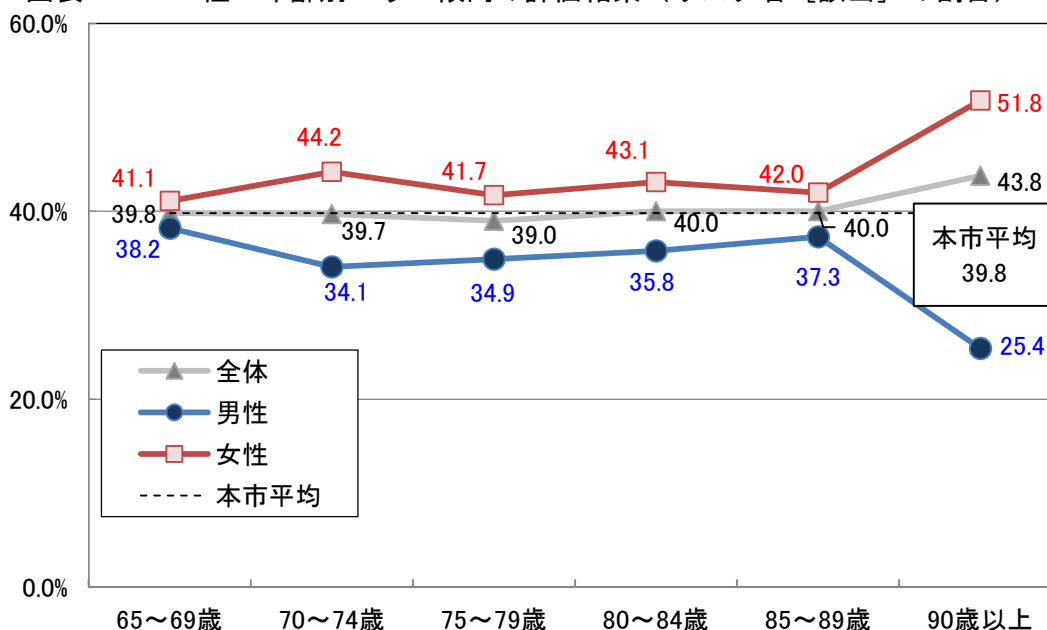
図表－25 うつ傾向
評価関連項目
答結果

(2) 該当状況(全体及び性・年齢別)

図表－26 うつ傾向の評価結果



図表－27 性・年齢別 うつ傾向の評価結果(リスク者[該当]の割合)

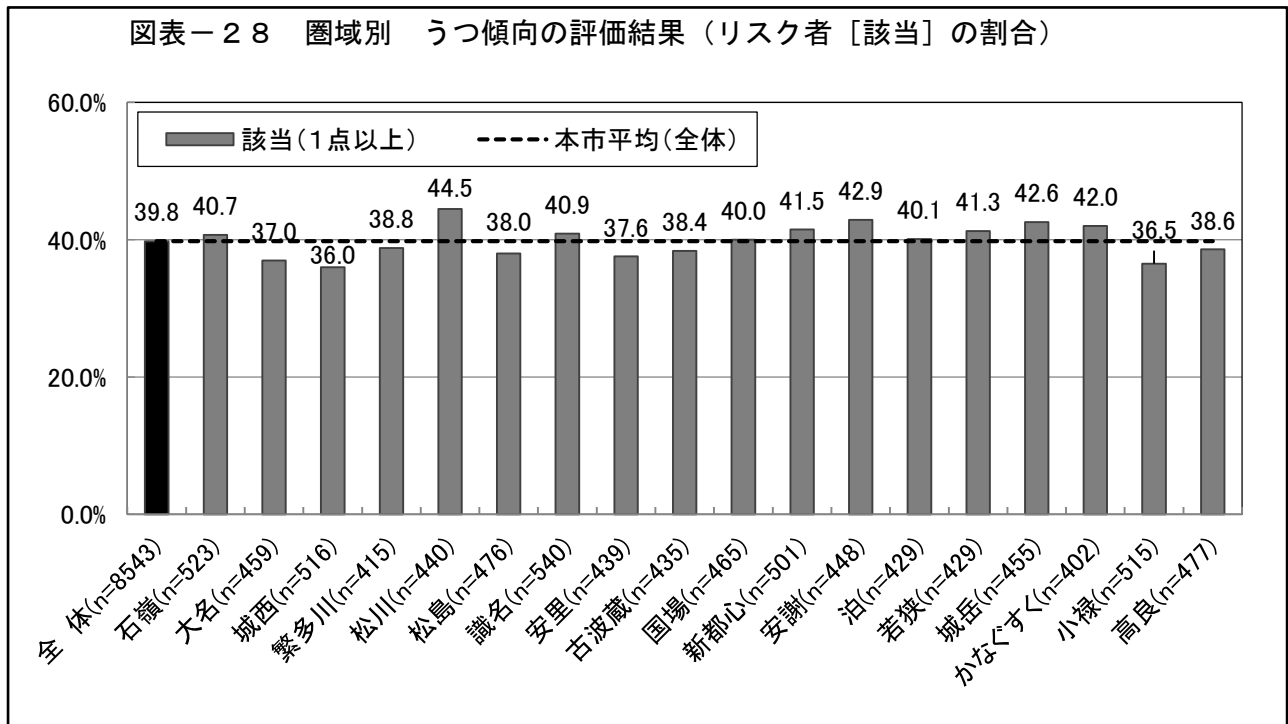


うつ傾向リスク者(1点以上)の割合は、全体では39.8%である。

性・年齢別では、すべての年齢階級において女性は男性よりうつ傾向リスク者の割合が高く、特に90

歳以上では女性 51.8%、男性 25.4%であり、約 25 ポイントの差がついている。

(3) 該当状況（圏域別）



うつ傾向リスク者(1点以上)の割合を圏域別にみると、松川圏域が44.5%で最も高く、城西圏域(36.0%)と小祿圏域(36.5%)で36%台と低い。

7. 転倒リスク

(1) 評価方法

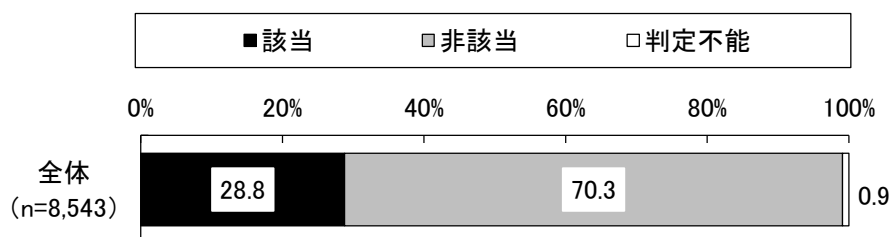
転倒リスクに関する下記の設問に該当する場合「リスク者」(転倒リスク保有)と判定する。

図表－29 転倒リスクの評価関連項目と回答結果

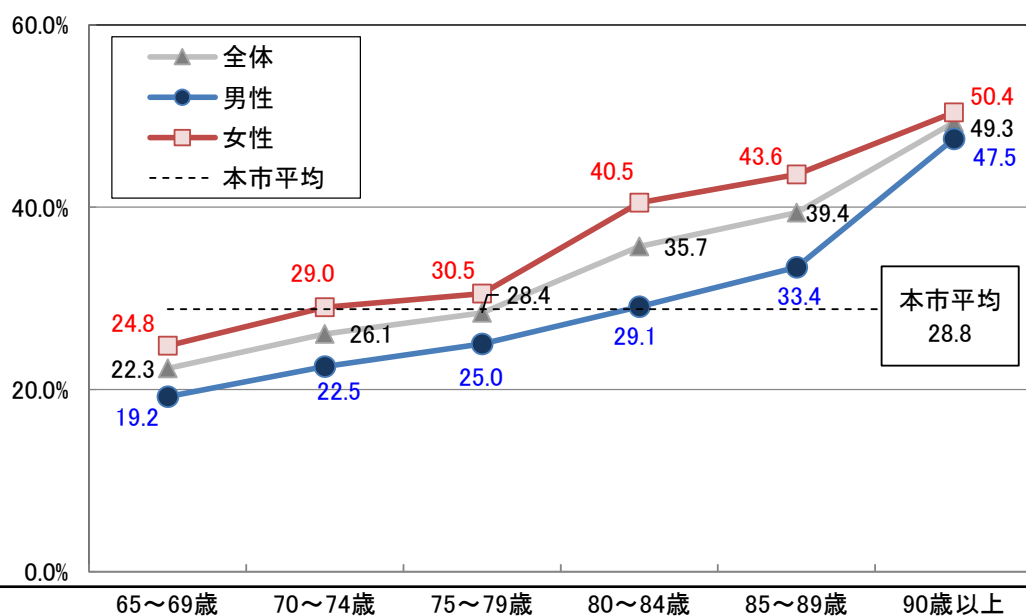
設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,543)
問2	(4)	過去一年間に転んだ経験はありますか	計	28.8%
			1. 何度もある	8.6%
			2. 一度ある	20.2%

(2) 該当状況 (全体及び性・年齢別)

図表－30 転倒リスクの評価結果



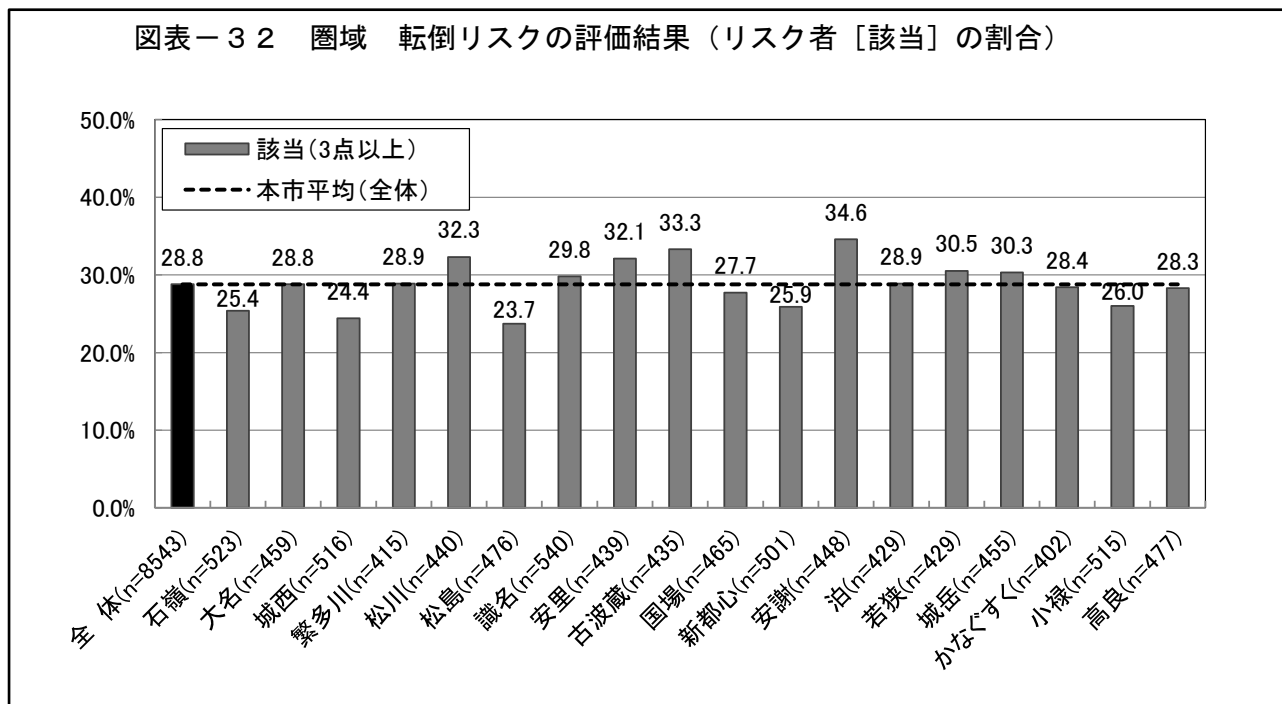
図表－31 性・年齢別 転倒リスクの評価結果 (リスク者「該当」の割合)



転倒リスク者の割合は、全体では28.8%である。

性・年齢別では、すべての年齢階級において女性は男性よりも転倒リスク者の割合が高く、特に80～84歳、85～89歳では女性の方が約10ポイント高い。90歳以上では性別での差は小さくなり、男女とも約50%にまで上る(男性47.5%、女性50.4%)。

(3) 該当状況（圏域別）



転倒リスク者の割合を圏域別でみると、安謝圏域が 34.6% で最も高く、松島圏域が 23.7% で最も低い。

8. IADL（手段的自立度）

（1）評価方法

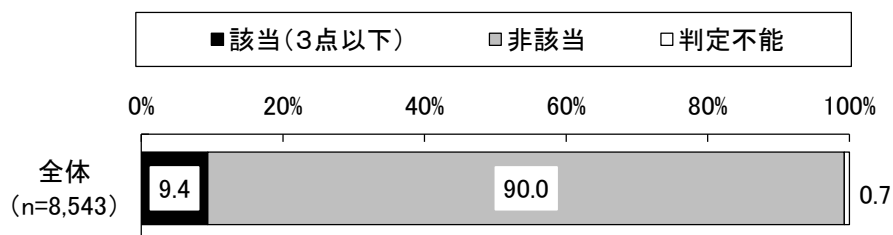
IADL（手段的自立度）に関する下記の設問5項目のうち、該当数が3項目（点）以下の場合「リスク者」（IADL（手段的自立度）低下）と判定する。

設問			該当する選択肢	該当率 (n=8,543)
問4	(2)	バスやモノレールを使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	計	88.2%
			1. できるし、している	74.8%
			2. できるけどしていない	13.4%
問4	(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	計	92.5%
			1. できるし、している	84.6%
			2. できるけどしていない	7.9%
問4	(4)	自分で食事の用意をしていますか	計	90.8%
			1. できるし、している	74.7%
			2. できるけどしていない	16.1%
問4	(5)	自分で請求書の支払いをしていますか	計	92.9%
			1. できるし、している	83.0%
			2. できるけどしていない	9.9%
問4	(6)	自分で預貯金のおし入れをしていますか	計	92.9%
			1. できるし、している	83.6%
			2. できるけどしていない	9.3%

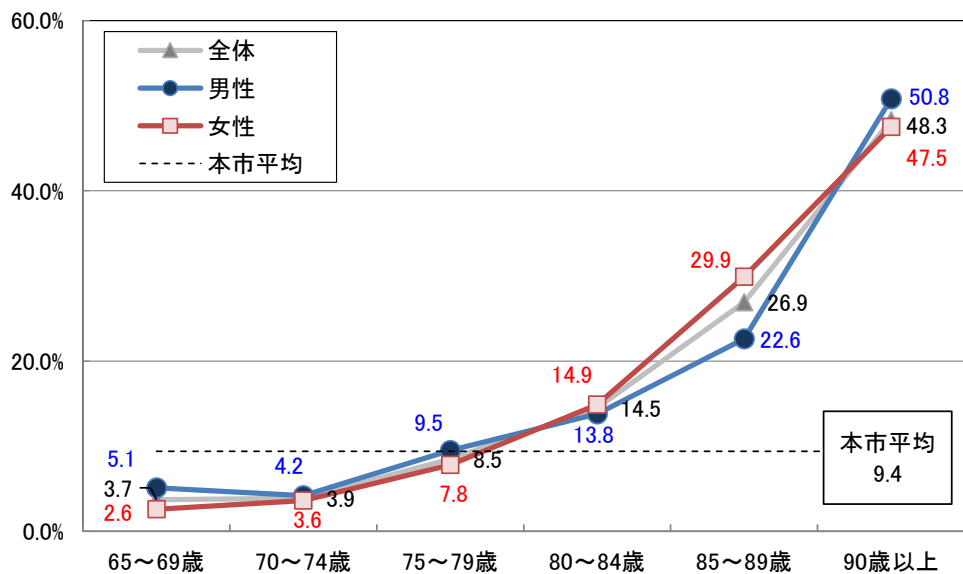
図表－33 IADL（手段的自立度）の評価関連項目と回答結果

（2）該当状況（全体及び性・年齢別）

図表－34 IADL（手段的自立度）の評価結果



図表－３５ 性・年齢別 IADL（手段的自立度）の評価結果（リスク者〔該当〕の割合）

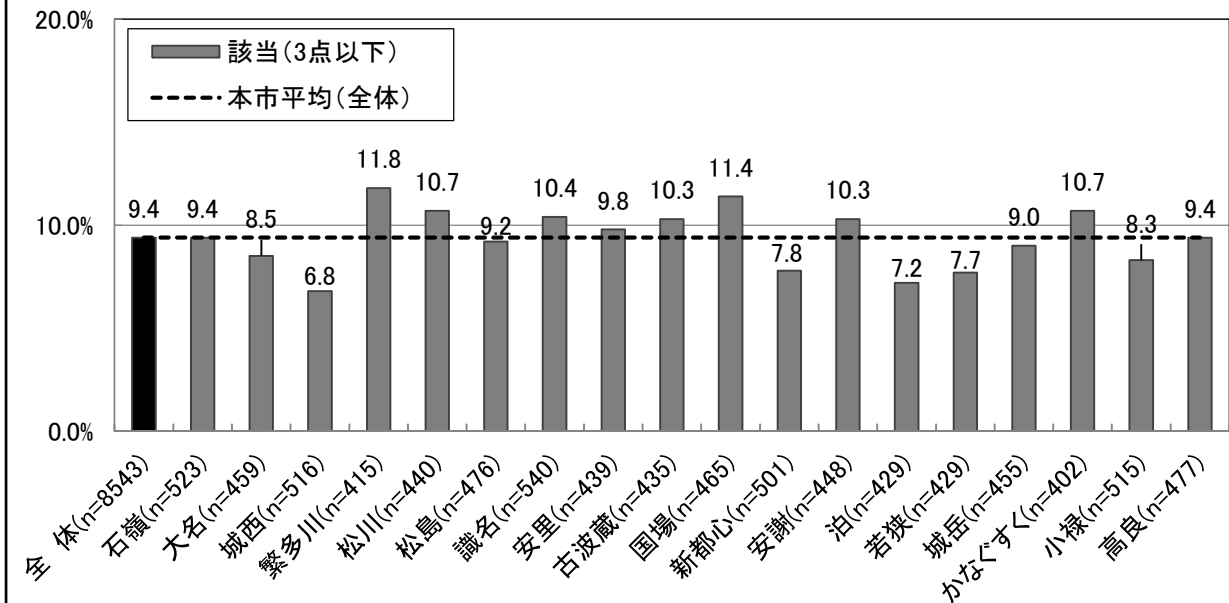


IADL(手段的自立度)の低下リスク者(3点以下)の割合は、全体では9.4%である。

性・年齢別では、男女ともに年齢階級が上がるほど、リスク者の割合も上昇傾向にあり、90歳以上では男女ともに約50%にまで上る(男性50.8%、女性47.5%)。

(3) 該当状況（圏域別）

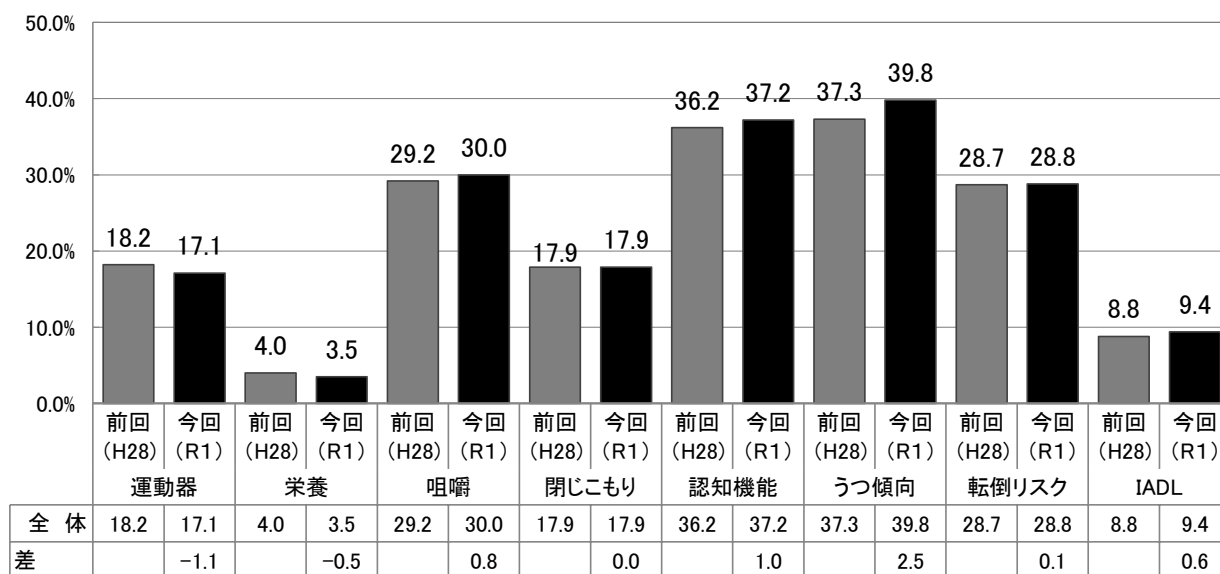
図表－36 圏域別 IADL（手段的自立度）の評価結果（リスク者〔該当〕の割合）



IADL(手段的自立度)の低下リスク者(3点以下)の割合を圏域別でみると、繁多川圏域が11.8%で最も高く、次いで国場圏域(11.4%)も11%台と高い。一方、リスク者の割合が最も低いのは城西圏域で6.8%である。

9. 各評価項目リスク者割合の経年比較

図表－３７ 各評価項目のリスク者[該当]の割合（平成28年度との比較）

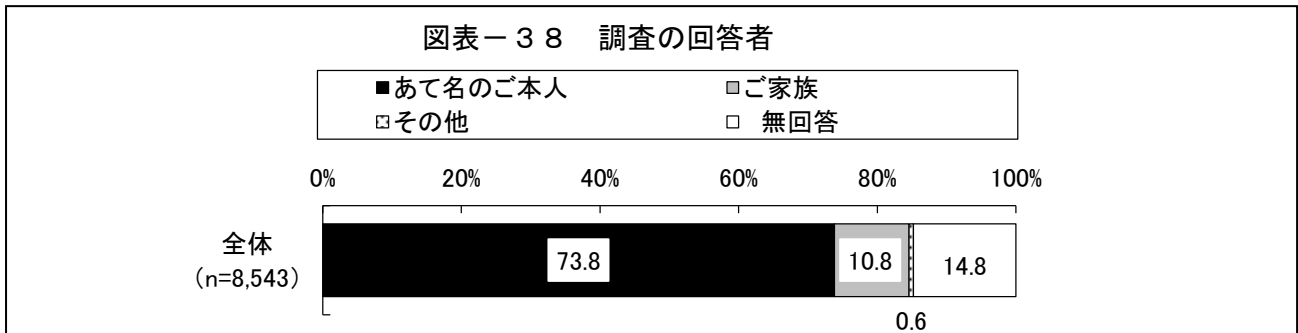


前回調査(H28)n=6,007、今回調査(R1)n=8,543

各評価項目のリスク者の割合を前回調査(平成28年度実施)と比較すると、大半の評価項目で前回調査からの変動は概ね±1ポイントの範囲内であるが、「うつ傾向」では+2.5ポイントとリスク者の割合の変動が他の評価項目に比べてやや大きい。

第4章 調査結果の詳細

1. 調査の回答者



調査の回答者は、「あて名のご本人」が73.8%で最も高い。

年齢別にみると、年齢階級が上がるほど、「あて名のご本人」の割合が減少し、「ご家族」の割合が増加している。

認定度別にみると要支援認定者は「あて名のご本人」の割合が47.0%と市平均と比較して約27ポイント低く、「ご家族」37.8%や「その他」3.2%の割合が高い。

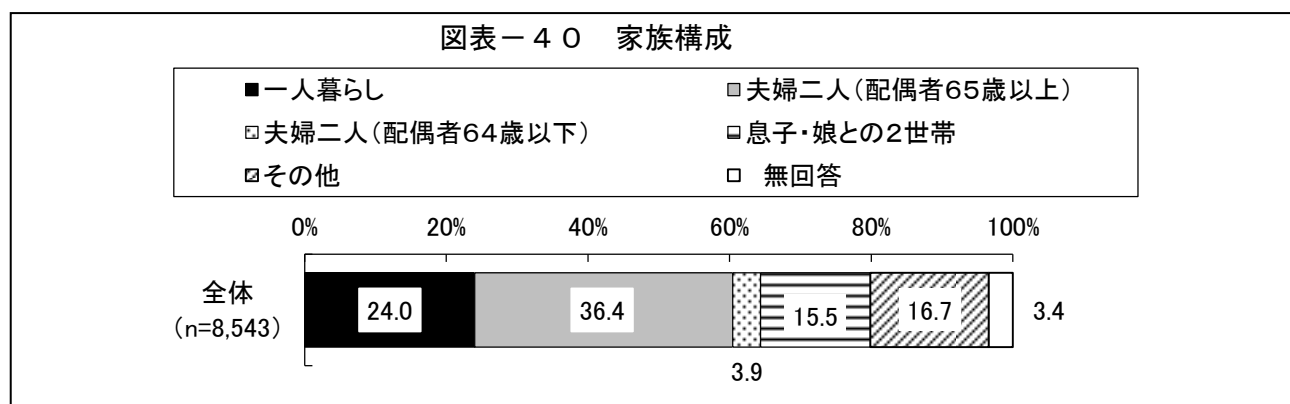
図表－39 基本属性別 調査の回答者

		(調査人数)	あて名のご本人 (%)	ご家族 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全 体		8,543	73.8	10.8	0.6	14.8
性別	男性	3,576	72.1	11.1	0.6	16.2
	女性	4,800	75.7	10.6	0.7	13.0
年齢別	65～69歳	2,469	82.3	5.3	0.4	12.1
	70～74歳	2,017	79.9	5.4	0.4	14.3
	75～79歳	1,693	74.0	10.2	0.8	15.1
	80～84歳	1,279	65.1	17.7	1.0	16.3
	85～89歳	665	54.9	26.6	0.8	17.7
	90歳以上	201	49.8	38.3	1.5	10.4
圏域別	石嶺	523	73.0	10.9	1.1	14.9
	大名	459	72.3	10.0	0.7	17.0
	城西	516	80.6	9.1	0.6	9.7
	繁多川	415	72.0	11.6	0.2	16.1
	松川	440	73.6	10.5	0.7	15.2
	松島	476	74.8	12.2	0.2	12.8
	識名	540	74.6	10.9	0.6	13.9
	安里	439	72.0	11.4	0.5	16.2
	古波蔵	435	68.7	12.2	1.1	17.9
	国場	465	71.8	13.3	0.6	14.2
	新都心	501	76.8	8.8	1.4	13.0
	安謝	448	73.2	10.3	0.7	15.8
	泊	429	78.6	7.5	0.2	13.8
	若狭	429	73.0	9.1	0.7	17.2
	城岳	455	75.2	9.2	0.2	15.4
	かなぐすく	402	74.9	12.4	0.5	12.2
	小禄	515	74.6	13.6	0.4	11.5
	高良	477	73.4	12.2	0.4	14.0
認定別	一般高齢者	7,551	76.7	9.1	0.4	13.8
	要支援認定者	466	47.0	37.8	3.2	12.0

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

2. 家族や生活状況について【問1】

(1) 家族構成【必須項目】



家族構成は、「夫婦二人(配偶者 65 歳以上)」が 36.4%で最も高く、次いで「一人暮らし」が 24.0%である。

年齢別では、「夫婦二人(配偶者 65 歳以上)」は 85 歳以上の年齢階級では顕著に減少していくのに対し、「息子・娘と 2 世帯」は増加していく。「夫婦二人(配偶者 65 歳以上)」は 80～84 歳では 41.3%であるのに対し、85～89 歳では 29.9%、90 歳以上では 11.4%で約 10～20 ポイントほどの減少幅になっている。また、「息子・娘との 2 世帯」は、80～84 歳では 19.3%であるのに対し、85～89 歳では 26.8%、90 歳以上では 35.8%で約 10 ポイントの上昇幅になっている。

圏域別では、松川圏域、識名圏域、安里圏域、古波蔵圏域、安謝圏域、若狭圏域などで「一人暮らし」が高く約 30%であり、市平均より約 6 ポイント高い。一方、石嶺圏域、大名圏域、城西圏域では「一人暮らし」が市平均よりも約 6 ポイント低く、石嶺圏域 17.6%、大名圏域 17.4%、城西圏域 17.2%である。

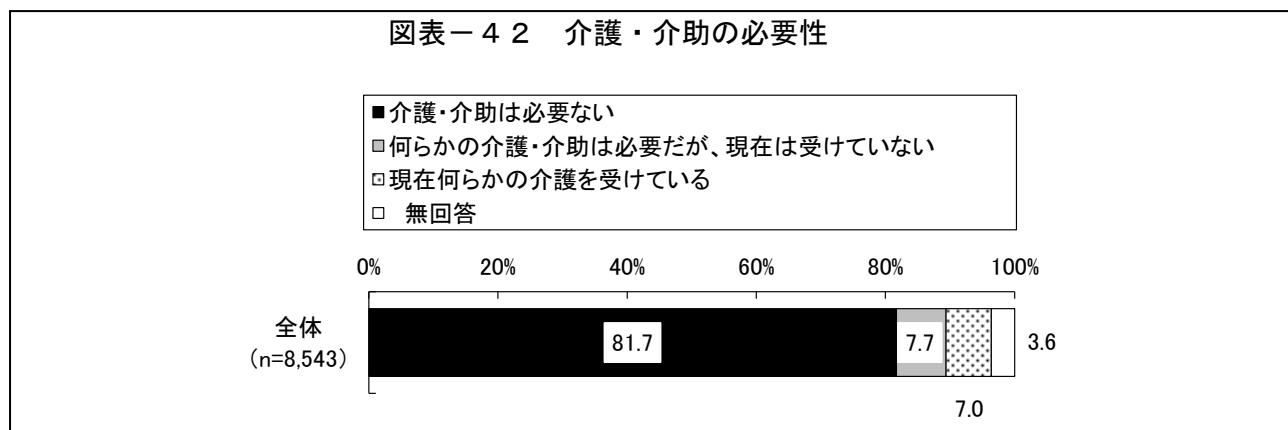
認定度別では、要支援認定者は一般高齢者と比較して、「一人暮らし」が 36.5%、「息子・娘との 2 世帯」が 20.2%と高い。一方で、「夫婦二人(配偶者 65 歳以上)」、「夫婦二人(配偶者 64 歳以下)」は低く、「夫婦二人(配偶者 65 歳以上)」は 23.6%、「夫婦二人(配偶者 64 歳以下)」は 1.5%である。

		(%)							
		調 査 数 （人）	一 人 暮 ら し	夫 婦 二 人 （ 配 偶 ）	夫 婦 二 人 （ 配 偶 ）	世 帯	息 子 ・ 娘 と の 2	そ の 他	無 回 答
全 体		8,543	24.0	36.4	3.9	15.5	16.7	3.4	
性別	男性	3,576	19.2	42.4	7.2	12.4	16.2	2.5	
	女性	4,800	27.5	32.1	1.5	17.9	17.3	3.7	
年 齢 別	65～69歳	2,469	23.0	33.3	8.0	11.1	22.9	1.8	
	70～74歳	2,017	24.9	39.7	3.8	12.1	16.8	2.7	
	75～79歳	1,693	24.7	40.0	1.5	16.4	13.9	3.5	
	80～84歳	1,279	23.2	41.3	1.6	19.3	10.2	4.4	
	85～89歳	665	23.0	29.9	1.4	26.8	14.3	4.7	
	90歳以上	201	27.9	11.4	1.0	35.8	17.9	6.0	
圏 域 別	石嶺	523	17.6	43.2	3.6	14.5	17.2	3.8	
	大名	459	17.4	45.1	3.3	16.8	14.4	3.1	
	城西	516	17.2	40.1	3.5	19.4	17.8	1.9	
	繁多川	415	21.4	39.5	4.3	15.9	15.4	3.4	
	松川	440	30.2	29.1	3.4	15.2	17.7	4.3	
	松島	476	17.6	36.8	5.9	18.7	17.4	3.6	
	識名	540	30.0	30.4	3.7	16.5	15.6	3.9	
	安里	439	30.8	31.7	3.6	15.5	15.3	3.2	
	古波蔵	435	32.2	29.9	5.3	14.0	15.6	3.0	
	国場	465	22.2	41.3	3.7	14.2	16.1	2.6	
	新都心	501	22.6	35.5	4.2	15.2	18.0	4.6	
	安謝	448	29.5	38.4	3.8	9.8	15.6	2.9	
	泊	429	27.7	37.5	3.5	12.8	16.1	2.3	
	若狭	429	31.5	32.4	3.0	15.4	14.9	2.8	
	城岳	455	26.2	37.6	4.6	12.5	17.1	2.0	
	かなぐすく	402	19.9	36.6	4.7	16.9	18.4	3.5	
	小祿	515	20.4	32.2	4.3	18.6	21.7	2.7	
	高良	477	20.8	40.7	3.4	15.5	16.6	3.1	
認 定 別	一般高齢者	7,551	22.9	37.5	4.2	15.4	17.3	2.7	
	要支援認定者	466	36.5	23.6	1.5	20.2	13.5	4.7	

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

図表－4 1 基本属性別 家族構成

(2) 介護・介助の必要性【必須項目】



介護・介助の必要性は「介護・介助は必要ない」が81.7%で最も高い。次いで「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」が7.7%、「現在何らかの介護を受けている」が7.0%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「介護・介助は必要ない」の割合は減少し、「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」と「現在何らかの介護を受けている」の割合が増加している。

圏域別では、城西圏域は「介護・介助は必要ない」の割合が85.7%と最も高く、市平均よりも約4ポイント高い。また、「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」の割合が4.5%と最も低い。反対に識名圏域は「介護・介助は必要ない」が77.8%と他圏域と比較し最も低く、「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」が10.6%と最も高い。

認定度別では、要支援認定者は「介護・介助は必要ない」が15.7%と市平均より66ポイント低く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が19.3%、「現在何らかの介護を受けている」が60.5%である。

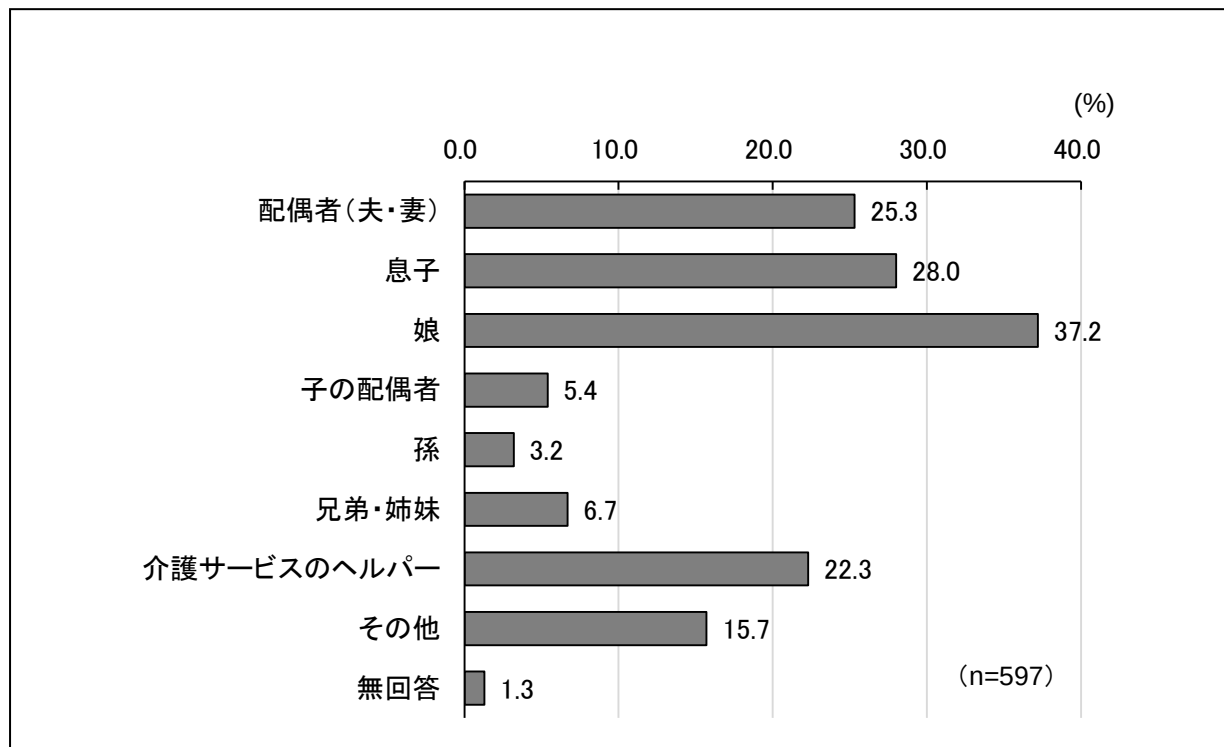
本属性
護・介助

図表-43 基
別 介
の必要性
(%)

		調 査 数 （ 人 ）	介 護 ・ 介 助 は 必 要 な い	何 ら か の 介 護 ・ 介 助 は 必 要 だ が 、 現 在 は 受 け て い な い	現 在 何 ら か の 介 護 を 受 け て い る	無 回 答
全 体		8,543	81.7	7.7	7.0	3.6
性 別	男性	3,576	85.3	7.4	4.8	2.5
	女性	4,800	79.7	7.6	8.6	4.0
年 齢 別	65～69歳	2,469	92.5	2.7	2.6	2.2
	70～74歳	2,017	89.0	4.4	3.1	3.5
	75～79歳	1,693	81.7	9.0	5.8	3.4
	80～84歳	1,279	70.3	13.5	11.8	4.4
	85～89歳	665	60.5	17.4	18.2	3.9
	90歳以上	201	44.8	12.9	38.3	4.0
圏 域 別	石嶺	523	80.9	7.3	8.2	3.6
	大名	459	83.0	7.8	6.8	2.4
	城西	516	85.7	4.5	7.6	2.3
	繁多川	415	79.5	8.9	7.5	4.1
	松川	440	82.0	8.2	6.8	3.0
	松島	476	83.0	7.6	6.1	3.4
	識名	540	77.8	10.6	7.8	3.9
	安里	439	82.0	7.3	7.5	3.2
	古波蔵	435	80.9	8.5	7.6	3.0
	国場	465	80.9	8.6	6.5	4.1
	新都心	501	83.2	7.4	6.0	3.4
	安謝	448	81.7	10.3	5.8	2.2
	泊	429	82.3	7.9	7.2	2.6
	若狭	429	84.4	5.8	6.1	3.7
	城岳	455	85.1	6.6	5.7	2.6
	かなぐすく	402	82.8	5.0	8.5	3.7
	小祿	515	82.7	5.4	7.8	4.1
	高良	477	82.6	7.5	5.7	4.2
認 定 別	一般高齢者	7,551	87.6	6.4	3.3	2.6
	要支援認定者	466	15.7	19.3	60.5	4.5

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(3) 主な介護・介助者【オプション項目】



図表－４４ 主な介護・介助者【複数回答】

「介護・介助の必要性」で「現在、何らかの介護を受けている」と回答をした人(597人)に対して、「主な介護・介助者」について尋ねた。

主な介護・介助者は「娘」が37.2%で最も高く、次いで「息子」が28.0%、「配偶者(夫・妻)」が25.3%である。

性別では、男性は「配偶者(夫・妻)」が41.6%で最も高く、次いで「娘」26.6%、「息子」26.0%である。女性は「娘」が41.9%で最も高く、次いで「息子」が28.8%、「介護サービスのヘルパー」が23.2%である。

年齢別では79歳までの年齢階級では「配偶者(夫・妻)」が約40%で最も高いものの、80歳以上では、「配偶者(夫・妻)」の割合は20%以下にまで減少し、「息子」、「娘」が占める割合が増加していく。

圏域別では、大名圏域は「配偶者(夫・妻)」、「息子」、「娘」が市平均よりも約3～10ポイント低く、「介護サービスのヘルパー」が45.2%で市平均よりも約23ポイント高い。

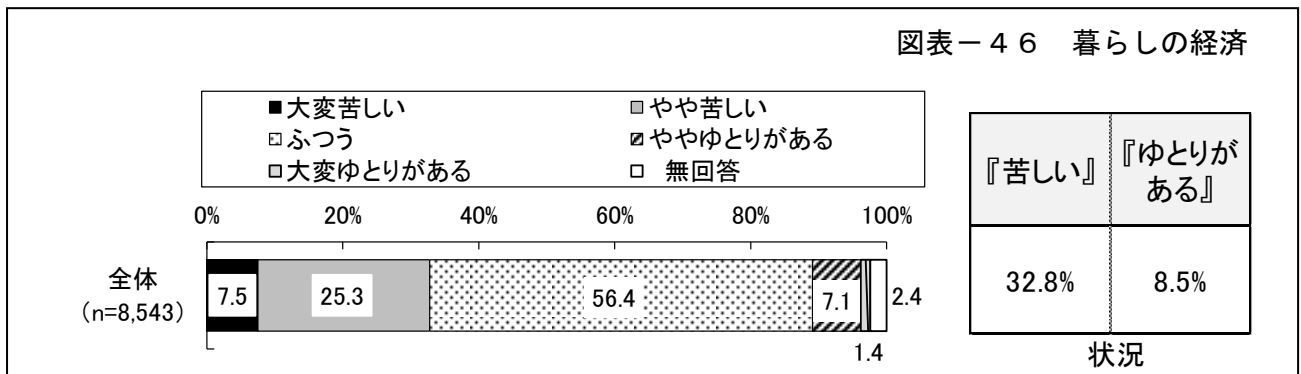
認定度別では、一般高齢者は「娘」が40.3%で最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」が32.7%である。一方、要支援認定者は「介護サービスのヘルパー」が37.9%で最も高く、次いで「娘」36.2%である。

												(%)
		調査数 (人)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ- ビスの ヘルパー	その他	無回 答	
全 体		597	25.3	28.0	37.2	5.4	3.2	6.7	22.3	15.7	1.3	
性 別	男性	173	41.6	26.0	26.6	5.2	2.3	6.4	20.8	15.6	2.3	
	女性	413	17.9	28.8	41.9	5.6	3.6	6.8	23.2	16.2	1.0	
年 齢 別	65～69歳	65	44.6	12.3	18.5	3.1	1.5	6.2	27.7	21.5	1.5	
	70～74歳	63	49.2	17.5	14.3	3.2	1.6	12.7	19.0	15.9	1.6	
	75～79歳	99	37.4	14.1	30.3	1.0	2.0	11.1	23.2	19.2	1.0	
	80～84歳	151	17.2	34.4	41.7	6.6	5.3	4.6	23.2	15.9	1.3	
	85～89歳	121	14.9	37.2	54.5	6.6	5.0	4.1	23.1	11.6	0.8	
	90歳以上	77	6.5	40.3	46.8	10.4	1.3	3.9	16.9	14.3	2.6	
圏 域 別	石嶺	43	20.9	20.9	41.9	7.0	0.0	9.3	4.7	27.9	0.0	
	大名	31	22.6	22.6	29.0	6.5	0.0	9.7	45.2	9.7	6.5	
	城西	39	33.3	25.6	41.0	7.7	2.6	7.7	12.8	10.3	0.0	
	繁多川	31	22.6	35.5	45.2	6.5	9.7	6.5	19.4	9.7	0.0	
	松川	30	23.3	36.7	46.7	0.0	3.3	0.0	16.7	10.0	0.0	
	松島	29	17.2	37.9	41.4	6.9	10.3	6.9	24.1	13.8	3.4	
	識名	42	26.2	35.7	33.3	4.8	0.0	7.1	28.6	14.3	0.0	
	安里	33	18.2	18.2	30.3	3.0	3.0	9.1	18.2	30.3	0.0	
	古波蔵	33	12.1	24.2	39.4	6.1	3.0	9.1	15.2	24.2	3.0	
	国場	30	33.3	30.0	40.0	6.7	6.7	3.3	33.3	6.7	0.0	
	新都心	30	36.7	16.7	30.0	0.0	0.0	6.7	36.7	16.7	0.0	
	安謝	26	30.8	23.1	30.8	3.8	3.8	3.8	26.9	11.5	3.8	
	泊	31	25.8	25.8	25.8	6.5	3.2	9.7	9.7	19.4	3.2	
	若狭	26	23.1	26.9	46.2	3.8	7.7	3.8	34.6	11.5	0.0	
	城岳	26	26.9	34.6	34.6	7.7	0.0	3.8	34.6	19.2	0.0	
	かなぐすく	34	29.4	41.2	41.2	2.9	0.0	5.9	17.6	8.8	2.9	
	小禄	40	22.5	30.0	40.0	12.5	2.5	10.0	15.0	22.5	2.5	
	高良	27	22.2	14.8	29.6	3.7	7.4	3.7	29.6	18.5	0.0	
認 定 別	一般高齢者	248	32.7	26.6	40.3	4.8	4.4	6.9	5.2	16.9	1.6	
	要支援認定者	282	19.5	29.8	36.2	6.7	2.5	6.4	37.9	12.8	1.1	

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

図表－４５ 基本属性別 主な介護・介助者【複数回答】

(4) 暮らしの経済状況【必須項目】



暮らしの経済状況は「ふつう」が56.4%で最も高く、次いで「やや苦しい」が25.3%である。

また、「大変苦しい」(7.5%)と「やや苦しい」(25.3%)をあわせた『苦しい』が32.8%、「ややゆとりがある」(7.1%)と「大変ゆとりがある」(1.4%)をあわせた『ゆとりがある』が8.5%となっている。

年齢別では、『苦しい』の割合は、部分的な例外もあるが、年齢階級が低いほど高い傾向にあり、70歳代以下で30%を超えている(65～69歳:35.3%、70～74歳:34.8%、75～79歳:32.5%)。

圏域別では、古波蔵圏域は「大変苦しい」10.6%と「やや苦しい」32.0%で最も高く、「ふつう」では49.2%と最も低い。一方、泊圏域は「ややゆとりがある」11.4%と「大変ゆとりがある」2.6%で最も高い。

認定度別では、要支援認定者は一般高齢者と比較して『苦しい』が43.0%と約11ポイント高く、『ゆとりがある』(「ややゆとりがある」+「大変ゆとりがある」)が3.2%と約5ポイント低い。

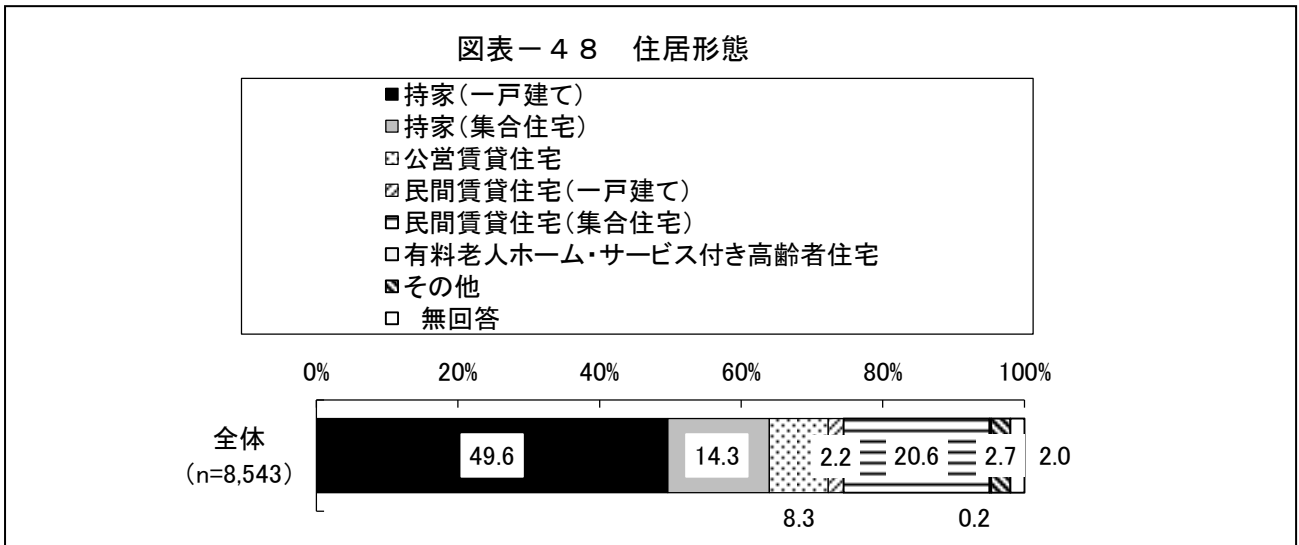
(%)

		調査数 (人)	大変 苦しい	やや 苦しい	ふつ う	やや ゆとり がある	大変 ゆとり がある	無 回 答	『再 掲 しい』	『再 掲 ゆとり がある』
全 体		8,543	7.5	25.3	56.4	7.1	1.4	2.4	32.8	8.5
性 別	男性	3,576	7.3	24.3	56.3	8.2	1.6	2.3	31.6	9.8
	女性	4,800	7.5	26.0	56.8	6.2	1.3	2.2	33.5	7.5
年 齢 別	65～69歳	2,469	8.1	27.2	54.4	7.2	1.3	1.7	35.3	8.5
	70～74歳	2,017	7.5	27.3	54.8	6.7	1.5	2.1	34.8	8.2
	75～79歳	1,693	7.9	24.6	57.4	6.9	1.0	2.3	32.5	7.9
	80～84歳	1,279	6.7	22.8	58.3	7.7	1.4	3.0	29.5	9.1
	85～89歳	665	5.4	20.9	62.9	6.5	2.1	2.3	26.3	8.6
	90歳以上	201	3.5	18.9	65.7	9.0	2.0	1.0	22.4	11.0
圏 域 別	石嶺	523	6.7	22.9	61.6	5.5	1.1	2.1	29.6	6.6
	大名	459	5.9	24.4	59.0	7.6	1.1	2.0	30.3	8.7
	城西	516	5.6	21.5	63.2	7.0	0.8	1.9	27.1	7.8
	繁多川	415	6.7	28.4	55.4	5.8	0.7	2.9	35.1	6.5
	松川	440	8.6	30.2	52.0	5.5	1.4	2.3	38.8	6.9
	松島	476	6.1	21.6	61.1	8.2	1.3	1.7	27.7	9.5
	識名	540	9.3	29.4	50.9	6.9	1.1	2.4	38.7	8.0
	安里	439	7.5	28.9	50.6	8.7	1.1	3.2	36.4	9.8
	古波蔵	435	10.6	32.0	49.2	5.7	0.9	1.6	42.6	6.6
	国場	465	9.0	28.4	55.7	4.9	0.6	1.3	37.4	5.5
	新都心	501	6.4	21.8	56.5	11.4	1.4	2.6	28.2	12.8
	安謝	448	7.8	24.3	58.5	5.1	1.3	2.9	32.1	6.4
	泊	429	4.7	23.1	56.6	11.4	2.6	1.6	27.8	14.0
	若狭	429	6.3	22.8	56.9	7.2	2.6	4.2	29.1	9.8
	城岳	455	7.7	25.1	56.7	6.8	1.8	2.0	32.8	8.6
	かなぐすく	402	6.7	24.6	58.2	8.0	2.5	0.0	31.3	10.5
	小禄	515	10.1	20.8	59.2	6.0	1.4	2.5	30.9	7.4
	高良	477	6.9	26.6	55.8	6.5	1.7	2.5	33.5	8.2
認 定 別	一般高齢者	7,551	7.1	24.7	57.3	7.4	1.5	2.1	31.8	8.9
	要支援認定者	466	11.2	31.8	51.9	3.2	0.0	1.9	43.0	3.2

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

図表－４７ 基本属性別 暮らしの経済状況

(5) 住居形態【オプション項目】



住居形態は「持家(一戸建て)」が最も高く49.6%である。次いで「民間賃貸住宅(集合住宅)」が20.6%である。

年齢別では年齢階級が上がるほど、「持家(一戸建て)」の割合が高くなる。特に75歳以上の年齢階級では「持家(一戸建て)」の割合が高く、70～74歳43.6%と75～79歳52.2%では約10ポイントの差がある。

圏域別では「持家(一戸建て)」は石嶺圏域63.7%、大名圏域60.6%、城西圏域73.6%など首里地区に位置する圏域で高い傾向にある。一方、安里圏域、新都心圏域、安謝圏域、泊圏域、若狭圏域、城岳圏域などの本庁地区に属する圏域では「持家(一戸建て)」が低く(安里圏域40.3%、新都心圏域28.1%、安謝圏域43.5%、泊圏域33.1%、若狭圏域38.2%、城岳圏域41.5%)、「持家(集合住宅)」が高い(安里圏域20.3%、新都心圏域22.2%、安謝圏域12.5%、泊圏域33.3%、若狭圏域20.3%、城岳圏域24.2%)。

認定度別では、要支援認定者は「持家(集合住宅)」が8.6%と一般高齢者15.0%より約6.5ポイント低い。一方、「公営賃貸住宅」では要支援認定者12.4%、一般高齢者8.1%と要支援認定者の方が約4.5ポイント高い。

図表－４９ 基本属性別 住居形態

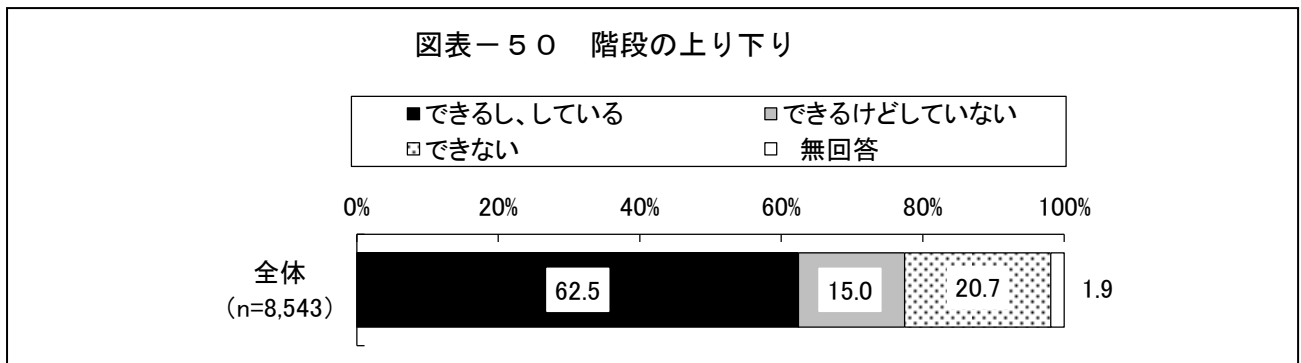
(%)

		調査数（人）	持家 （一戸建て）	持家 （集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅 （一戸建て）	民間賃貸住宅 （集合住宅）	有料老人ホーム・サ－ビ ス付き高齢者住宅	その他	無回答
全 体		8,543	49.6	14.3	8.3	2.2	20.6	0.2	2.7	2.0
性別	男性	3,576	52.4	14.6	6.3	1.8	20.5	0.1	2.3	1.9
	女性	4,800	47.6	14.3	9.9	2.4	20.7	0.3	3.0	1.9
年齢別	65～69歳	2,469	42.9	15.4	8.9	2.4	25.5	0.0	3.2	1.5
	70～74歳	2,017	43.6	16.9	9.1	2.1	23.4	0.1	2.9	1.9
	75～79歳	1,693	52.2	13.6	8.4	2.7	18.8	0.2	2.4	1.8
	80～84歳	1,279	59.2	12.4	7.4	1.7	14.2	0.5	2.3	2.3
	85～89歳	665	61.7	11.4	7.4	0.9	14.0	0.3	2.1	2.3
	90歳以上	201	71.1	6.0	3.0	1.0	13.4	2.0	2.5	1.0
圏域別	石嶺	523	63.7	4.6	14.0	1.7	11.1	0.2	2.9	1.9
	大名	459	60.6	7.4	19.2	1.5	8.3	0.0	1.3	1.7
	城西	516	73.6	9.7	3.3	1.4	7.8	0.0	2.9	1.4
	繁多川	415	61.7	8.4	6.3	2.9	15.9	0.5	1.9	2.4
	松川	440	42.3	17.3	0.5	4.5	29.1	0.5	3.9	2.0
	松島	476	61.3	12.8	1.5	2.3	17.9	0.0	2.3	1.9
	識名	540	52.8	12.0	1.5	3.5	25.7	0.2	2.4	1.9
	安里	439	40.3	20.3	0.0	2.7	31.0	0.2	3.4	2.1
	古波蔵	435	40.0	10.3	10.8	2.8	29.4	0.0	3.9	2.8
	国場	465	52.7	10.1	8.8	1.9	20.9	0.0	3.9	1.7
	新都心	501	28.1	22.2	18.8	1.0	25.3	1.0	2.0	1.6
	安謝	448	43.5	12.5	9.4	2.5	25.4	1.1	2.7	2.9
	泊	429	33.1	33.3	2.6	2.3	24.2	0.0	2.3	2.1
	若狭	429	38.2	20.3	8.9	2.3	24.5	0.0	4.0	1.9
	城岳	455	41.5	24.2	9.9	2.2	18.0	0.2	2.9	1.1
	かなぐすく	402	49.5	16.7	6.2	0.5	24.1	0.0	2.5	0.5
	小禄	515	49.5	10.7	11.7	2.3	21.6	0.0	2.9	1.4
	高良	477	56.6	9.0	14.9	0.6	15.3	0.2	1.0	2.3
認定別	一般高齢者	7,551	50.1	15.0	8.1	2.1	20.3	0.1	2.7	1.7
	要支援認定者	466	48.9	8.6	12.4	1.5	23.6	1.1	2.1	1.7

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

3. からだを動かすことについて【問2】

(1) 階段の上り下り【必須項目】



階段の上り下りは「できるし、している」が62.5%で最も高く、「できない」は20.7%、「できるけどしていない」は15.0%である。

性別では男性は「できるし、している」が71.3%であるのに対し、女性は56.4%で、約15ポイント男性の方が高い。「できない」は女性26.4%、男性12.9%で女性の方が約13ポイント高い。

年齢別では、年齢階級が上がるほど、「できるし、している」の割合が減少し、「できない」の割合が増加する。65～69歳では「できない」が8.8%、70～74歳では12.5%であるのに対し、75～79歳では21.7%と約9ポイント増加し、80～84歳では32.5%と約11ポイント増加する。その後も増加幅は拡大し、90歳以上では65.7%にも上る。

圏域別では、松川圏域では「できない」が24.8%で市平均より約4ポイント高い、次いで古波蔵圏域が23.2%、安謝圏域23.0%である。

認定度別では要支援認定者は一般高齢者に比べ、「できるし、している」13.3%と「できるけどしていない」6.0%の割合が低く、「できない」78.3%の割合が約62ポイント高い。

図表－５１ 基本属性別 階段の上り下り

(%)

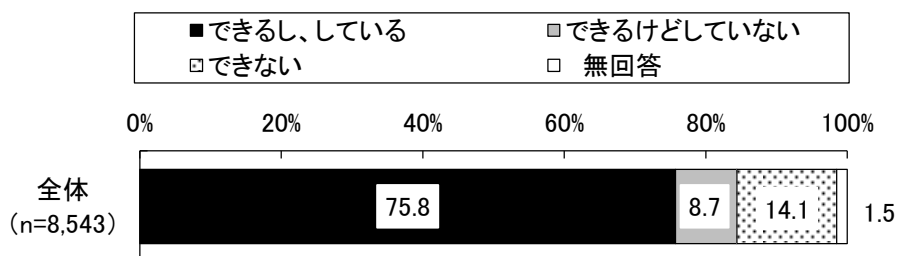
		(調査 人数)	できる し、	できる ない	できない	無 回 答
全 体		8,543	62.5	15.0	20.7	1.9
性 別	男性	3,576	71.3	14.1	12.9	1.6
	女性	4,800	56.4	15.5	26.4	1.8
年 齢 別	65～69歳	2,469	79.1	11.3	8.8	0.8
	70～74歳	2,017	71.7	14.6	12.5	1.1
	75～79歳	1,693	58.9	17.2	21.7	2.1
	80～84歳	1,279	46.1	18.7	32.5	2.7
	85～89歳	665	32.6	17.3	46.9	3.2
	90歳以上	201	18.4	12.4	65.7	3.5
圏 域 別	石嶺	523	63.5	12.8	21.2	2.5
	大名	459	63.4	17.0	18.5	1.1
	城西	516	65.7	15.7	17.8	0.8
	繁多川	415	62.2	12.8	22.4	2.7
	松川	440	58.2	15.2	24.8	1.8
	松島	476	66.4	14.1	17.9	1.7
	識名	540	60.2	16.9	21.1	1.9
	安里	439	62.4	15.5	21.4	0.7
	古波蔵	435	62.1	14.0	23.2	0.7
	国場	465	61.9	15.1	21.3	1.7
	新都心	501	62.9	15.4	19.4	2.4
	安謝	448	60.3	14.1	23.0	2.7
	泊	429	62.0	17.7	19.6	0.7
	若狭	429	66.4	13.8	18.4	1.4
	城岳	455	63.3	15.4	19.8	1.5
	かなぐすく	402	61.2	16.9	20.6	1.2
	小禄	515	63.9	13.8	20.6	1.7
	高良	477	65.6	13.2	18.4	2.7
認 定 別	一般高齢者	7,551	66.6	15.6	16.3	1.5
	要支援認定者	466	13.3	6.0	78.3	2.4

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) 椅子からの立ち上がり【必須項目】

図表-52 椅子からの立ち上がり

椅子からの立ち上がり



椅子から何もつかまらずに立ち上がれるかについては「できるし、している」が最も高く75.8%、次いで「できない」が14.1%、「できるけどしていない」が8.7%である。

性別では男性の「できるし、している」が81.2%であるのに対し、女性は72.3%で約10ポイントの差がある。「できない」は女性17.5%、男性9.3%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「できるし、している」の割合が減少し、「できない」の割合が増加する。「できない」は70～74歳では7.5%、80～84歳では22.6%、90歳以上では50.7%にも上る。

圏域別では、「できない」が最も高いのは松川圏域の17.3%で市平均よりも約3ポイント高い。次いで、安謝圏域の17.2%、古波蔵圏域の16.8%である。

認定度別では、要支援認定者は一般高齢者よりも「できない」の割合が約55ポイント高く66.1%であり、「できるし、している」と「できるけどしていない」の割合が低い。

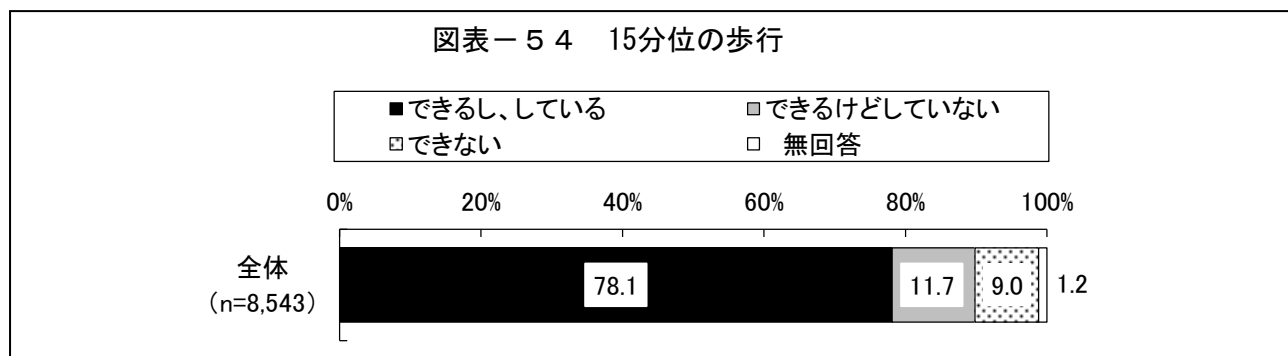
図表－５３ 基本属性別 椅子からの立ち上がり

(%)

		(調査 人数)	でき ている し、	でき ている ない けど	でき ない	無 回 答
全 体		8,543	75.8	8.7	14.1	1.5
性 別	男性	3,576	81.2	8.7	9.3	0.8
	女性	4,800	72.3	8.4	17.5	1.8
年 齢 別	65～69歳	2,469	86.7	6.8	5.8	0.6
	70～74歳	2,017	83.2	8.3	7.5	1.0
	75～79歳	1,693	74.8	9.0	14.4	1.9
	80～84歳	1,279	64.7	10.6	22.6	2.0
	85～89歳	665	53.5	11.1	34.0	1.4
	90歳以上	201	38.8	7.5	50.7	3.0
圏 域 別	石嶺	523	76.9	7.6	14.1	1.3
	大名	459	78.4	7.6	12.6	1.3
	城西	516	79.7	8.1	11.4	0.8
	繁多川	415	75.2	8.4	14.0	2.4
	松川	440	73.0	8.6	17.3	1.1
	松島	476	74.8	10.1	14.1	1.1
	識名	540	75.4	8.5	14.8	1.3
	安里	439	77.0	9.3	12.8	0.9
	古波蔵	435	71.5	10.6	16.8	1.1
	国場	465	74.8	8.4	15.1	1.7
	新都心	501	75.6	10.2	12.2	2.0
	安謝	448	71.4	8.5	17.2	2.9
	泊	429	77.4	9.1	12.8	0.7
	若狭	429	77.9	8.9	11.2	2.1
	城岳	455	79.1	6.2	13.6	1.1
	かなぐすく	402	77.6	8.2	13.7	0.5
	小禄	515	76.7	8.2	14.0	1.2
	高良	477	77.8	9.2	12.4	0.6
認 定 別	一般高齢者	7,551	79.8	8.8	10.3	1.1
	要支援認定者	466	26.4	5.4	66.1	2.1

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

(3) 15分位の歩行【必須項目】



15分位の歩行が可能かについては、「できるし、している」が最も高く78.1%、次いで「できるけどしていない」が11.7%、「できない」が9.0%である。

性別では男性の「できるけどしていない」が13.3%であるのに対し、女性は10.4%である。「できない」については男性6.9%、女性10.5%である。

年齢別では年齢階級が上がるほど、「できるし、している」の割合が減少していき、「できない」の割合が上昇していく。「できない」は70～74歳で4.9%、80～84歳で約9ポイント増加し14.0%、90歳以上で約23ポイント増加し37.8%である。

圏域別では、「できない」は安謝圏域で12.7%と最も高く、市平均よりも約4ポイント高い。

認定度別では、要支援認定者は「できるし、している」が36.5%で、一般高齢者の81.3%よりも約45ポイント低い。「できない」は要支援認定者で49.4%、一般高齢者で6.2%である。

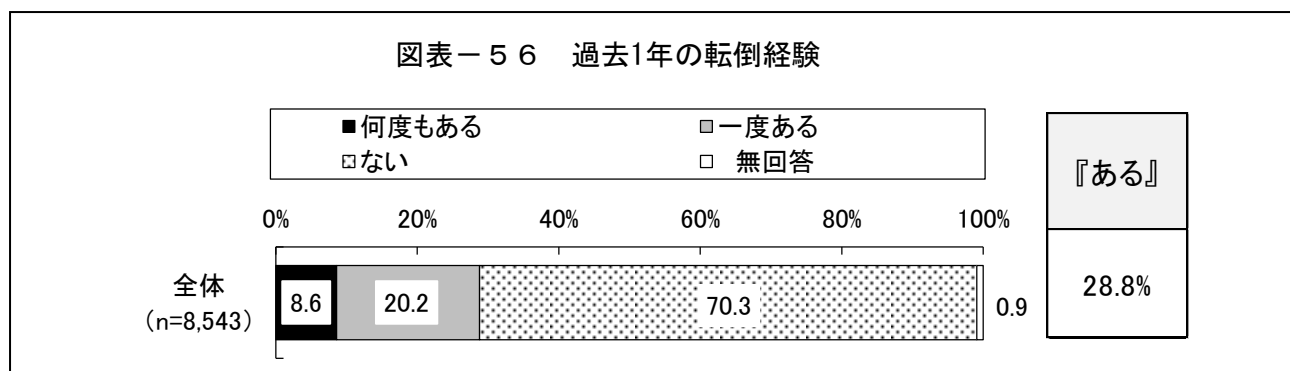
図表－５５ 基本属性別 15分位の歩行

(%)

		(調 査 人 数)	で き て い る し 、	で き て い な い	で き な い	無 回 答
全 体		8,543	78.1	11.7	9.0	1.2
性 別	男性	3,576	79.1	13.3	6.9	0.8
	女性	4,800	77.8	10.4	10.5	1.2
年 齢 別	65～69歳	2,469	84.5	11.4	3.7	0.4
	70～74歳	2,017	83.4	11.0	4.9	0.7
	75～79歳	1,693	77.6	12.6	8.6	1.2
	80～84歳	1,279	73.3	11.2	14.0	1.6
	85～89歳	665	63.2	12.8	22.4	1.7
	90歳以上	201	47.3	12.4	37.8	2.5
圏 域 別	石嶺	523	76.1	13.6	9.2	1.1
	大名	459	80.2	11.5	7.4	0.9
	城西	516	80.6	12.2	6.4	0.8
	繁多川	415	75.7	12.0	10.1	2.2
	松川	440	81.4	9.8	8.4	0.5
	松島	476	75.2	13.2	10.7	0.8
	識名	540	75.9	13.3	9.6	1.1
	安里	439	76.5	12.5	10.3	0.7
	古波蔵	435	77.2	12.0	10.1	0.7
	国場	465	77.0	12.5	9.7	0.9
	新都心	501	81.0	10.4	7.4	1.2
	安謝	448	73.7	12.1	12.7	1.6
	泊	429	85.1	8.2	6.5	0.2
	若狭	429	81.6	8.2	8.9	1.4
	城岳	455	82.4	8.8	7.7	1.1
	かなぐすく	402	80.1	10.7	9.0	0.2
	小禄	515	76.9	13.8	8.2	1.2
	高良	477	76.1	14.3	8.6	1.0
認 定 別	一般高齢者	7,551	81.3	11.7	6.2	0.8
	要支援認定者	466	36.5	11.4	49.4	2.8

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(4) 過去1年の転倒経験【必須項目】



過去1年の転倒経験については、「ない」が70.3%で最も高く、次いで「一度ある」が20.2%、「何度もある」が8.6%である。

性別では、「ない」は男性74.8%、女性67.4%であり、「一度ある」は男性16.3%、女性23.0%である。

年齢別では年齢階級が上がるほど『ある(「何度もある」+「一度ある」)』の割合が増加し、90歳以上では49.3%である。

圏域別では松川圏域12.0%、古波蔵圏域11.7%、安謝圏域11.8%において「何度もある」の割合が11%を上回り、市平均より約3ポイント高い。一方で、「ない」の割合が高いのは松島圏域75.8%、城西圏域75.2%である。

認定度別では、要支援認定者は一般高齢者よりも『ある』の割合が高く、要支援認定者58.1%、一般高齢者26.4%である。

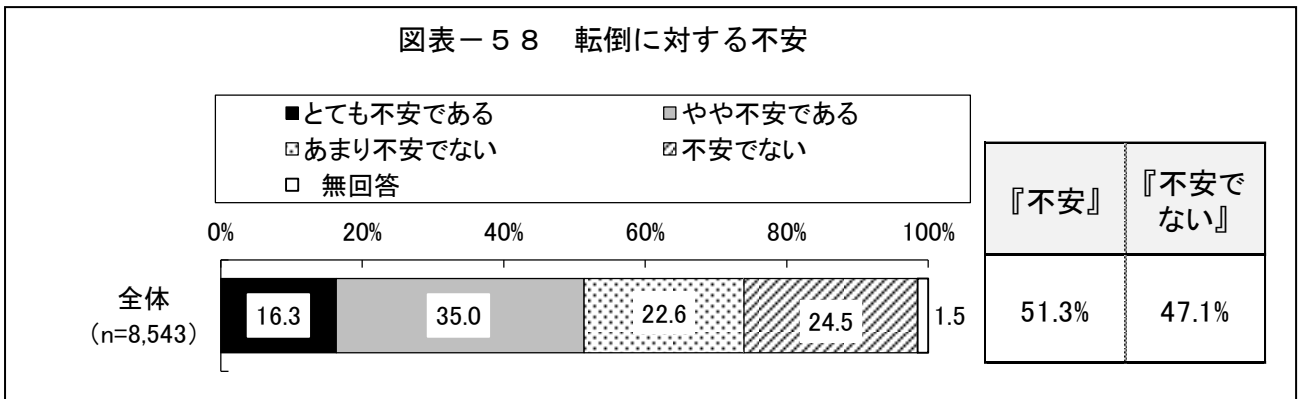
図表－５７ 基本属性別 過去1年の転倒経験

(%)

		調査数 (人)	何 度 も あ る	一 度 あ る	な い	無 回 答	【再 掲】 『あ る』
全 体		8,543	8.6	20.2	70.3	0.9	28.8
性 別	男性	3,576	8.1	16.3	74.8	0.8	24.4
	女性	4,800	8.8	23.0	67.4	0.8	31.8
年 齢 別	65～69歳	2,469	5.5	16.8	77.4	0.3	22.3
	70～74歳	2,017	7.7	18.4	73.1	0.8	26.1
	75～79歳	1,693	8.3	20.1	70.7	0.9	28.4
	80～84歳	1,279	10.6	25.2	62.9	1.3	35.8
	85～89歳	665	14.6	24.8	60.0	0.6	39.4
	90歳以上	201	19.9	29.4	49.3	1.5	49.3
圏 域 別	石嶺	523	7.8	17.6	73.6	1.0	25.4
	大名	459	6.5	22.2	70.6	0.7	28.7
	城西	516	6.4	18.0	75.2	0.4	24.4
	繁多川	415	10.1	18.8	69.6	1.4	28.9
	松川	440	12.0	20.2	66.8	0.9	32.2
	松島	476	6.3	17.4	75.8	0.4	23.7
	識名	540	10.0	19.8	69.6	0.6	29.8
	安里	439	10.5	21.6	67.4	0.5	32.1
	古波蔵	435	11.7	21.6	66.2	0.5	33.3
	国場	465	7.7	20.0	71.8	0.4	27.7
	新都心	501	5.6	20.4	73.1	1.0	26.0
	安謝	448	11.8	22.8	63.8	1.6	34.6
	泊	429	7.0	21.9	70.6	0.5	28.9
	若狭	429	8.4	22.1	69.2	0.2	30.5
	城岳	455	8.1	22.2	68.8	0.9	30.3
	かなぐすく	402	8.7	19.7	71.4	0.2	28.4
	小禄	515	7.8	18.3	72.8	1.2	26.1
	高良	477	8.6	19.7	70.9	0.8	28.3
認 定 別	一般高齢者	7,551	6.9	19.5	73.0	0.5	26.4
	要支援認定者	466	28.5	29.6	40.3	1.5	58.1

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(5) 転倒に対する不安【必須項目】



転倒に対する不安の程度については「やや不安」が35.0%で最も高く、次いで「不安でない」が24.5%、「あまり不安でない」22.6%、「とても不安である」が16.3%である。

性別では、女性は男性よりも『不安(「とても不安である」+「やや不安である」)』の割合が高く、女性61.1%、男性38.1%である。

年齢別では年齢階級が上がるほど『不安』の割合も高くなり、年齢階級が上がるごとに約5～10ポイント上昇していく。

圏域別では、古波蔵圏域で「とても不安である」が21.4%と最も高く、市平均よりも約5ポイント高い。一方、城西圏域は12.4%で市平均よりも約4ポイント低い。

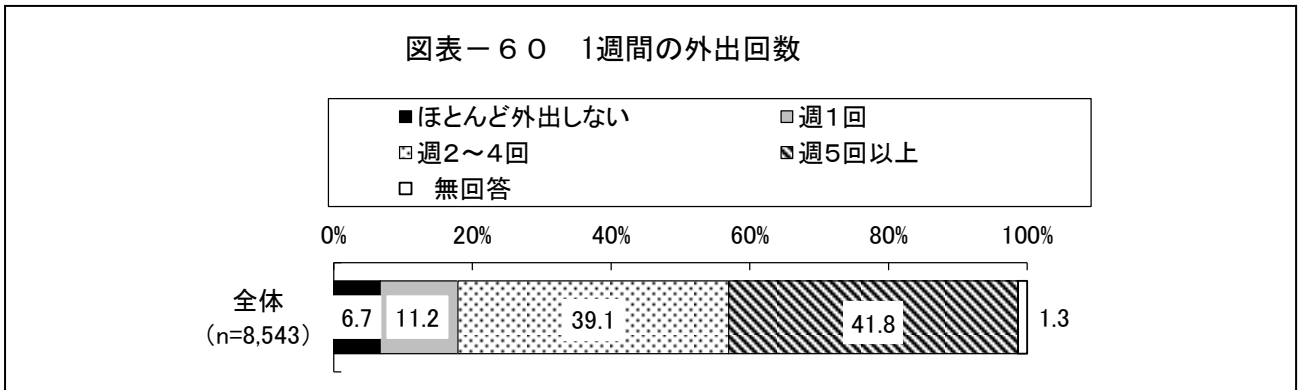
認定度別では、要支援認定者は一般高齢者よりも「とても不安である」が高く、要支援認定者59.2%、一般高齢者13.2%である。

図表－５９ 基本属性別 転倒に対する不安

		調 査 数 （人）	と と も 不 安 で あ る	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無 回 答	「再掲不安」	「再掲不安でない」	(%)
全 体		8,543	16.3	35.0	22.6	24.5	1.5	51.3	47.1	
性別	男性	3,576	9.8	28.3	24.9	35.7	1.3	38.1	60.6	
	女性	4,800	21.0	40.1	20.9	16.6	1.3	61.1	37.5	
年 齢 別	65～69歳	2,469	9.0	30.3	25.2	34.7	0.8	39.3	59.9	
	70～74歳	2,017	11.8	33.7	26.5	26.9	1.2	45.5	53.4	
	75～79歳	1,693	17.8	37.2	22.0	21.4	1.7	55.0	43.4	
	80～84歳	1,279	23.8	39.7	18.2	16.4	1.9	63.5	34.6	
	85～89歳	665	29.8	41.2	15.2	12.6	1.2	71.0	27.8	
	90歳以上	201	38.8	40.3	12.4	7.0	1.5	79.1	19.4	
圏 域 別	石嶺	523	15.1	32.7	24.3	25.8	2.1	47.8	50.1	
	大名	459	15.9	36.8	23.3	22.7	1.3	52.7	46.0	
	城西	516	12.4	37.4	22.7	26.4	1.2	49.8	49.1	
	繁多川	415	16.9	36.1	21.0	24.6	1.4	53.0	45.6	
	松川	440	18.9	33.6	20.9	25.0	1.6	52.5	45.9	
	松島	476	16.6	31.5	26.1	24.4	1.5	48.1	50.5	
	識名	540	17.6	37.6	22.8	21.1	0.9	55.2	43.9	
	安里	439	17.5	31.2	26.0	24.1	1.1	48.7	50.1	
	古波蔵	435	21.4	35.4	20.0	22.1	1.1	56.8	42.1	
	国場	465	17.4	32.9	23.4	25.2	1.1	50.3	48.6	
	新都心	501	13.2	33.9	23.4	27.5	2.0	47.1	50.9	
	安謝	448	18.3	31.5	24.3	24.1	1.8	49.8	48.4	
	泊	429	14.9	36.4	23.5	24.9	0.2	51.3	48.4	
	若狭	429	14.7	37.3	21.9	24.9	1.2	52.0	46.8	
	城岳	455	15.4	37.1	19.3	26.6	1.5	52.5	45.9	
	かなぐすく	402	16.9	36.3	22.9	23.6	0.2	53.2	46.5	
	小禄	515	15.3	37.1	19.0	26.4	2.1	52.4	45.4	
	高良	477	15.9	34.8	23.1	25.8	0.4	50.7	48.9	
認 定 別	一般高齢者	7,551	13.2	35.0	24.2	26.5	1.1	48.2	50.7	
	要支援認定者	466	59.2	33.0	3.0	2.4	2.4	92.2	5.4	

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(6) 1週間の外出回数【必須項目】



週に1回以上は外出しているかについては、「週5回以上」が41.8%で最も高く、次いで「週2～4回」が39.1%、「週1回」が11.2%、「ほとんど外出しない」が6.7%である。

性別では男性は「週5回以上」49.8%が最も高く、女性は「週2～4回」43.3%が最も高い。「ほとんど外出しない」については男性6.5%、女性6.8%で大きな差はみられない。「週1回」は女性の方が高く、女性12.4%、男性9.3%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど、外出回数が減少していく傾向がある。80歳以上の年齢階級では「ほとんど外出しない」が市平均を超え、80～84歳では8.5%、85～89歳では約6ポイント増加し14.3%、90才以上では約15ポイント増加し29.4%である。

圏域別では新都心圏域と城岳圏域は「週5回以上」が50%を超え、市平均よりも約10ポイント高い(新都心圏域:51.5%、城岳圏域:51.0%)。一方、「ほとんど外出しない」は国場圏域が9.0%で最も高く、次いで繁多川圏域が8.4%、安謝圏域が8.3%、松川圏域、高良圏域が8.2%である。

認定度別では、要支援認定者は一般高齢者に比べ「ほとんど外出しない」の割合が高く、要支援認定者22.7%、一般高齢者5.4%である。

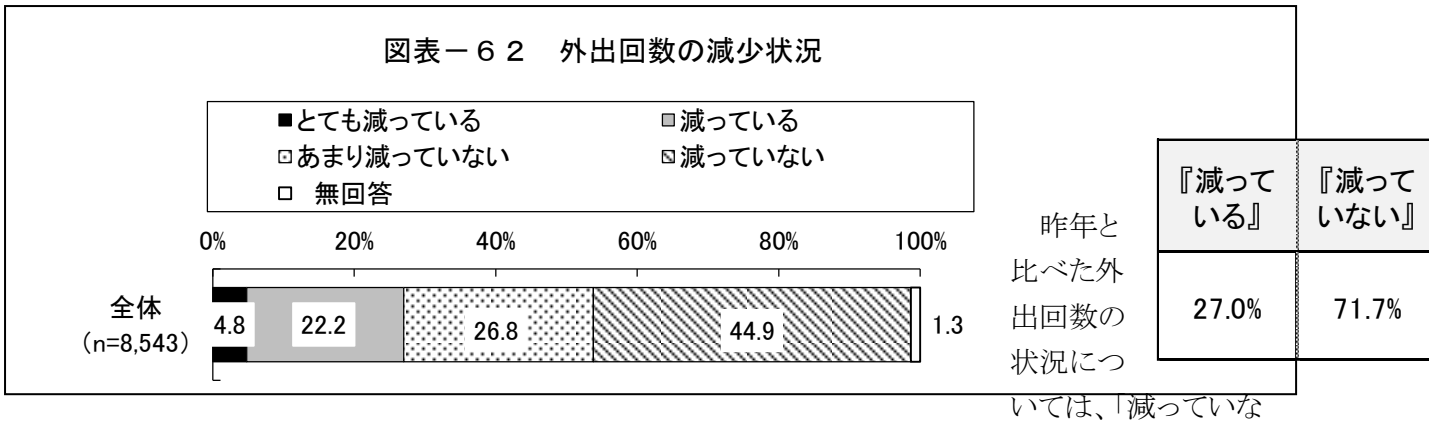
図表－6 1 基本属性別 1週間の外出回数

(%)

		調査数 (人)	ほとんど 外出しない	週 1 回	週 2 ～ 4 回	週 5 回 以上	無 回 答
全 体		8,543	6.7	11.2	39.1	41.8	1.3
性 別	男性	3,576	6.5	9.3	33.4	49.8	0.9
	女性	4,800	6.8	12.4	43.3	36.2	1.3
年 齢 別	65～69歳	2,469	4.4	8.0	32.9	54.2	0.6
	70～74歳	2,017	4.2	8.3	39.0	47.2	1.3
	75～79歳	1,693	5.8	12.0	42.1	38.8	1.2
	80～84歳	1,279	8.5	14.2	45.6	30.4	1.3
	85～89歳	665	14.3	18.6	43.6	22.4	1.1
	90歳以上	201	29.4	22.4	36.8	9.5	2.0
圏 域 別	石嶺	523	6.3	11.3	37.1	43.2	2.1
	大名	459	6.3	13.3	39.4	40.1	0.9
	城西	516	4.5	9.9	39.9	45.5	0.2
	繁多川	415	8.4	10.4	44.3	34.7	2.2
	松川	440	8.2	13.4	38.4	38.9	1.1
	松島	476	7.6	9.2	38.7	43.1	1.5
	識名	540	5.2	11.3	44.6	37.6	1.3
	安里	439	6.8	11.4	37.4	43.3	1.1
	古波蔵	435	7.8	12.9	39.5	38.6	1.1
	国場	465	9.0	12.0	39.6	38.5	0.9
	新都心	501	5.4	8.4	33.3	51.5	1.4
	安謝	448	8.3	12.7	36.2	41.1	1.8
	泊	429	5.6	11.0	35.2	47.3	0.9
	若狭	429	7.0	12.4	38.0	42.0	0.7
	城岳	455	5.1	7.9	35.4	51.0	0.7
	かなぐすく	402	7.2	10.9	45.5	36.1	0.2
	小禄	515	4.3	10.9	40.6	43.9	0.4
	高良	477	8.2	11.5	41.7	37.9	0.6
認 定 別	一般高齢者	7,551	5.4	10.0	39.1	44.7	0.9
	要支援認定者	466	22.7	25.5	43.6	6.2	1.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(7) 外出回数の減少状況【必須項目】



い」が44.9%で最も高く、次いで「あまり減っていない」26.8%、「減っている」22.2%、「とても減っている」4.8%である。

性別では、男女ともに「減っていない」が最も多く回答されているものの、男性51.1%、女性40.6%と男性の方が約10ポイント高い。『減っている(「とても減っている」+「減っている」)』は女性30.1、男性22.8%で女性の方が約7ポイント高い。

年齢別では年齢階級が上がるほど、『減っている』の割合が高く、90歳以上では52.7%が『減っている』と回答している。

圏域別では、安里圏域、古波蔵圏域は「とても減っている」が市平均よりも約2ポイント高く、安里圏域7.1%、古波蔵圏域7.6%である。一方、「減っていない」は城西圏域が50.6%、城岳圏域が52.1%で市平均よりも約6～8ポイント高い。

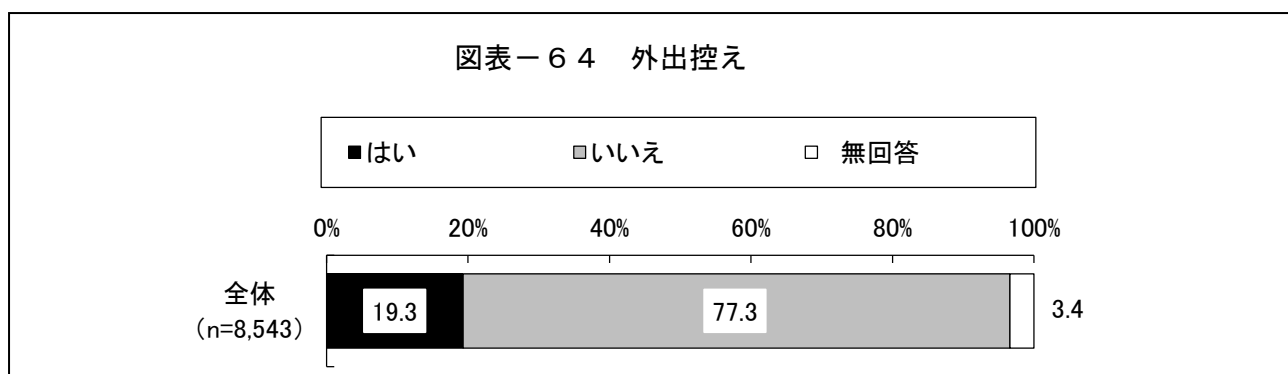
認定度別では、要支援認定者は一般高齢者と比較して『減っている』の割合が高く、一般高齢者の『減っている』が24.1%であるのに対し、要支援認定者は64.8%である。

図表－６３ 基本属性別 外出回数の減少状況

		(%)							
		調査数 (人)	とても減 っている	減 っている	あまり減 っていない	減 っていない	無 回 答	『減 っている』 『再掲』	『減 っていない』 『再掲』
全 体		8,543	4.8	22.2	26.8	44.9	1.3	27.0	71.7
性 別	男性	3,576	4.1	18.7	25.0	51.1	1.1	22.8	76.1
	女性	4,800	5.2	24.9	28.1	40.6	1.3	30.1	68.7
年 齢 別	65～69歳	2,469	2.8	16.3	23.9	56.3	0.6	19.1	80.2
	70～74歳	2,017	2.7	18.9	26.9	50.2	1.3	21.6	77.1
	75～79歳	1,693	5.3	22.4	29.4	41.8	1.1	27.7	71.2
	80～84歳	1,279	7.0	28.2	29.6	34.0	1.3	35.2	63.6
	85～89歳	665	9.8	36.4	26.8	26.0	1.1	46.2	52.8
	90歳以上	201	12.4	40.3	22.9	19.9	4.5	52.7	42.8
圏 域 別	石嶺	523	4.2	21.4	26.6	46.1	1.7	25.6	72.7
	大名	459	4.8	19.2	30.9	44.2	0.9	24.0	75.1
	城西	516	4.3	18.0	26.7	50.6	0.4	22.3	77.3
	繁多川	415	6.0	22.7	27.2	42.2	1.9	28.7	69.4
	松川	440	6.1	23.0	27.7	42.3	0.9	29.1	70.0
	松島	476	4.8	21.2	24.8	48.1	1.1	26.0	72.9
	識名	540	3.9	26.3	28.9	39.6	1.3	30.2	68.5
	安里	439	7.1	22.1	25.3	44.9	0.7	29.2	70.2
	古波蔵	435	7.6	25.3	28.7	37.2	1.1	32.9	65.9
	国場	465	5.4	20.4	29.2	44.1	0.9	25.8	73.3
	新都心	501	4.2	21.6	25.5	47.5	1.2	25.8	73.0
	安謝	448	4.0	25.4	26.3	42.0	2.2	29.4	68.3
	泊	429	3.3	20.5	26.1	49.2	0.9	23.8	75.3
	若狭	429	3.0	22.6	28.2	45.7	0.5	25.6	73.9
	城岳	455	2.4	21.3	23.3	52.1	0.9	23.7	75.4
	かなぐすく	402	5.7	21.6	28.4	43.5	0.7	27.3	71.9
	小禄	515	2.9	26.2	23.3	46.0	1.6	29.1	69.3
	高良	477	6.3	20.5	27.0	44.9	1.3	26.8	71.9
認 定 別	一般高齢者	7,551	3.5	20.6	27.4	47.7	0.9	24.1	75.1
	要支援認定者	466	21.5	43.3	19.3	13.5	2.4	64.8	32.8

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

(8) 外出控え【オプション項目】



外出を控えているかについては「いいえ(外出を控えていない)」が77.3%で最も高い。「はい(外出を控えている)」は19.3%である。

性別では女性は男性よりも「はい(外出を控えている)」の割合が高く、女性22.3%、男性15.0%である。

年齢別では年齢階級が上がるほど、「はい(外出を控えている)」の割合が高くなる。特に80歳以上と90歳以上で急激に増加する傾向にある(75～79歳19.8%、80～84歳28.6%、85～89歳34.1%、90歳以上54.7%)。90歳以上では「はい(外出を控えている)」54.7%が、「いいえ(外出を控えていない)」41.8%を上回っている。

認定度別では、要支援認定者において「はい(外出を控えている)」が64.4%と高く、一般高齢者15.7%より約49ポイント高い。

図表－６５ 基本属性別 外出控え

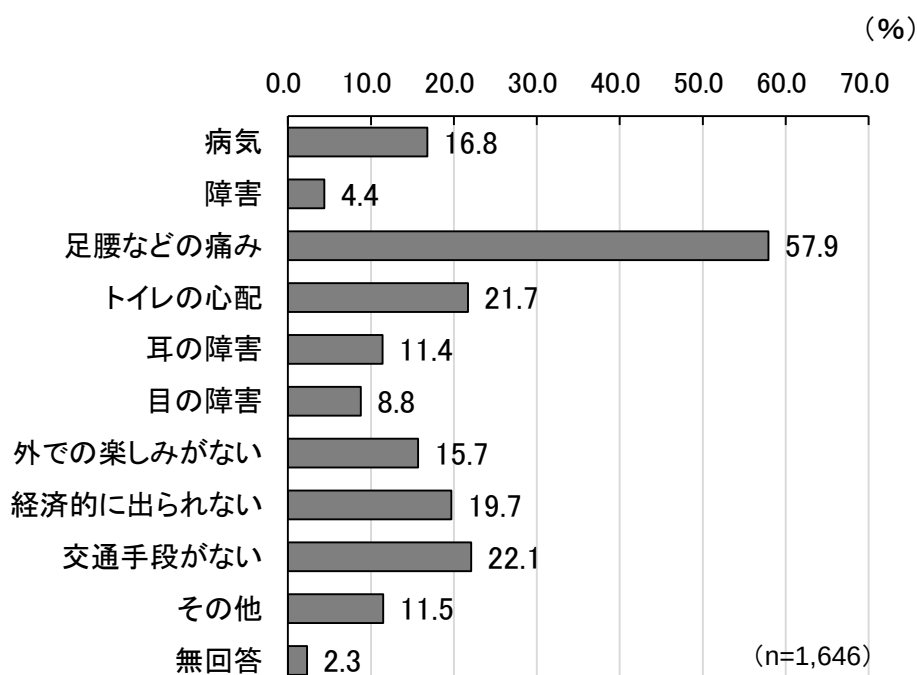
(%)

		(調 査 人 数)	はい	いいえ	無 回 答
全 体		8,543	19.3	77.3	3.4
性 別	男性	3,576	15.0	81.4	3.6
	女性	4,800	22.3	74.8	2.9
年 齢 別	65～69歳	2,469	11.1	86.3	2.6
	70～74歳	2,017	13.5	83.5	3.0
	75～79歳	1,693	19.8	77.3	2.9
	80～84歳	1,279	28.6	67.2	4.2
	85～89歳	665	34.1	61.5	4.4
	90歳以上	201	54.7	41.8	3.5
圏 域 別	石嶺	523	22.0	75.9	2.1
	大名	459	17.4	78.4	4.1
	城西	516	14.9	81.4	3.7
	繁多川	415	20.5	77.3	2.2
	松川	440	19.8	78.2	2.0
	松島	476	18.1	79.2	2.7
	識名	540	21.7	75.0	3.3
	安里	439	21.0	76.3	2.7
	古波蔵	435	20.9	74.5	4.6
	国場	465	18.9	78.1	3.0
	新都心	501	19.2	76.6	4.2
	安謝	448	21.9	73.2	4.9
	泊	429	16.1	81.8	2.1
	若狭	429	17.9	80.0	2.1
	城岳	455	15.8	79.6	4.6
	かなぐすく	402	20.6	77.1	2.2
	小禄	515	18.3	78.3	3.5
	高良	477	19.7	77.1	3.1
認 定 別	一般高齢者	7,551	15.7	81.2	3.1
	要支援認定者	466	64.4	33.7	1.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(9) 外出控えの理由【オプション項目】

図表－66 外出控えの理由【複数回答】



「外出控え」で「1. はい」と回答をした人(1,646人)に対して、「外出控えの理由」について尋ねた。

外出を控えている理由については「足などの痛み」が57.9%で最も高い。次いで「交通手段がない」が22.1%、「トイレの心配」が21.7%である。

性別では、男性は「足腰などの痛み」が48.4%で最も高く、次いで「外での楽しみがない」が22.4%である。女性は「足腰などの痛み」が62.9%、次いで「交通手段がない」が23.1%である。

年齢別では、「足腰などの痛み」は年齢階級が上がるほど、割合が高くなる傾向にある(65～69歳47.4%、75～79歳60.0%、85～89歳67.8%)。「経済的に出られない」は一部の例外はあるものの、年齢階級が上がると減少していく(65～69歳25.9%、75～79歳20.0%、85～89歳14.1%)。

圏域別では、繁多川圏域は「目の障害」が18.8%で市平均よりも約10ポイント高く、若狭圏域は「トイレの心配」が31.2%で市平均より約9ポイント高い。泊圏域は「障害」10.1%で全圏域中唯一10ポイントを超え高くなっている。一方、「足腰などの痛み」は44.9%で市平均よりも約13ポイント低い。

認定度別では、多くの項目において要支援認定者は一般高齢者よりも高い。一般高齢者の方が要支援認定者よりも割合が高いのは「外での楽しみがない」(一般高齢者16.8%、要支援認定者11.0%)、「経済的に出られない」(一般高齢者:21.0%、要支援認定者:14.3%)などである。

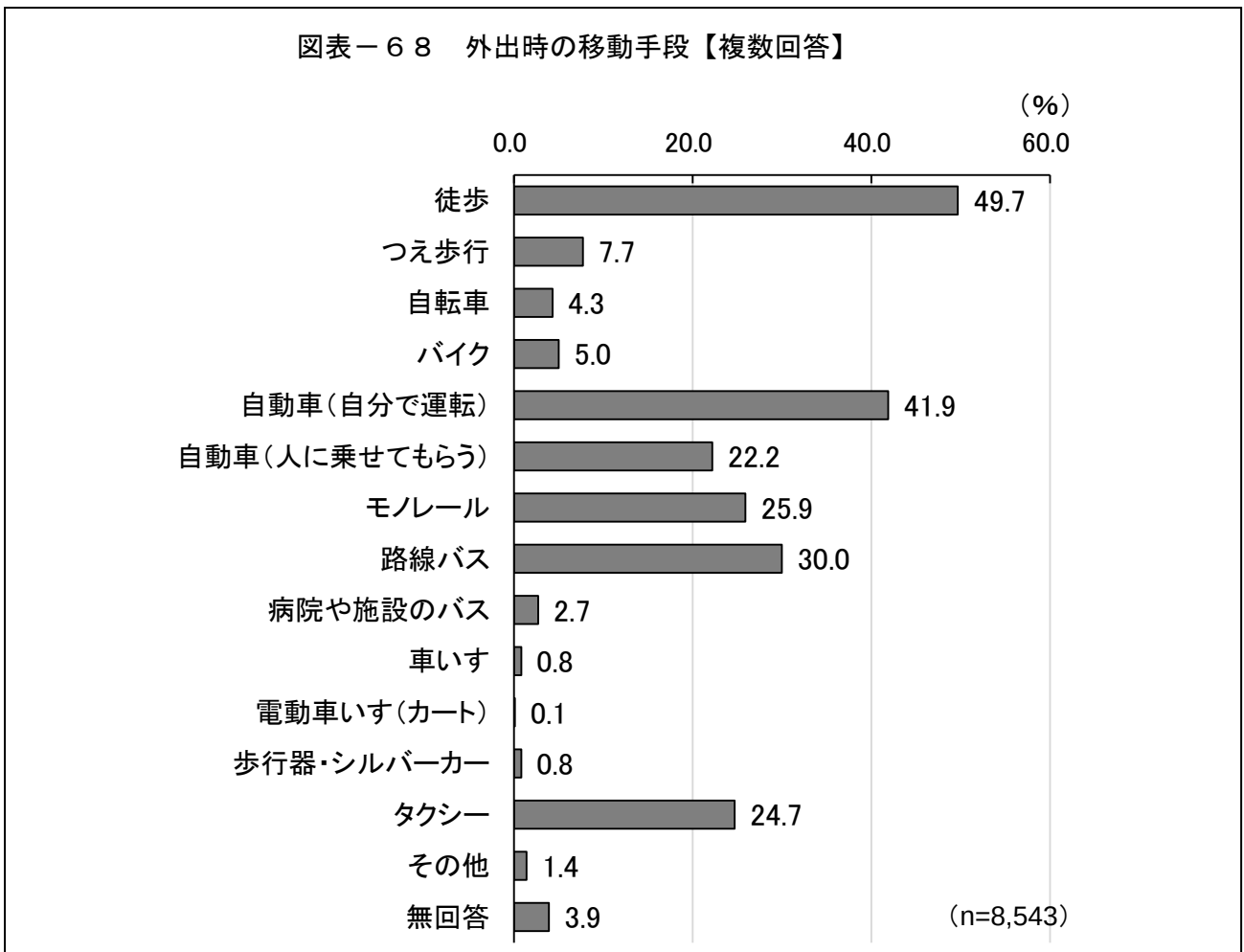
図表－６７ 基本属性別 外出控えの理由【複数回答】

(%)

	調査数（人）	病気	障害	足腰などの痛み	トイレの心配	耳の障害	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答
全 体	1,646	16.8	4.4	57.9	21.7	11.4	8.8	15.7	19.7	22.1	11.5	2.3
性別												
男性	535	20.0	7.7	48.4	21.5	14.2	10.1	22.4	18.7	19.6	9.9	1.7
女性	1,071	15.2	2.8	62.9	21.7	10.0	8.3	12.1	19.9	23.1	12.5	2.1
年齢別												
65～69歳	274	16.1	6.6	47.4	16.8	4.4	9.9	21.2	25.9	15.3	14.6	0.4
70～74歳	272	22.4	5.5	49.3	17.3	5.5	7.4	19.1	27.6	20.2	11.8	2.6
75～79歳	335	17.6	3.6	60.0	22.7	10.7	6.3	14.3	20.0	21.5	13.7	3.0
80～84歳	366	13.7	4.4	62.8	25.1	13.4	11.5	13.1	16.4	27.3	10.4	2.7
85～89歳	227	18.5	2.6	67.8	24.2	17.6	10.1	12.8	14.1	26.4	7.0	0.9
90歳以上	110	11.8	2.7	68.2	21.8	24.5	7.3	10.0	5.5	14.5	11.8	4.5
圏域別												
石嶺	115	23.5	5.2	65.2	22.6	8.7	7.8	19.1	16.5	24.3	12.2	1.7
大名	80	18.8	2.5	66.3	21.3	10.0	6.3	17.5	22.5	21.3	12.5	2.5
城西	77	11.7	3.9	58.4	19.5	11.7	7.8	14.3	13.0	19.5	16.9	3.9
繁多川	85	18.8	7.1	52.9	23.5	10.6	18.8	17.6	20.0	30.6	5.9	5.9
松川	87	20.7	5.7	60.9	27.6	8.0	8.0	12.6	25.3	18.4	9.2	1.1
松島	86	17.4	2.3	60.5	20.9	11.6	3.5	19.8	15.1	22.1	11.6	1.2
識名	117	13.7	4.3	53.8	18.8	10.3	8.5	17.9	25.6	22.2	11.1	1.7
安里	92	14.1	4.3	51.1	26.1	7.6	9.8	17.4	22.8	19.6	14.1	1.1
古波蔵	91	16.5	5.5	58.2	23.1	11.0	7.7	14.3	18.7	24.2	11.0	2.2
国場	88	15.9	4.5	53.4	15.9	8.0	11.4	18.2	23.9	21.6	13.6	1.1
新都心	96	18.8	3.1	64.6	18.8	8.3	7.3	12.5	20.8	18.8	10.4	2.1
安謝	98	14.3	3.1	57.1	15.3	19.4	5.1	14.3	19.4	25.5	8.2	2.0
泊	69	17.4	10.1	44.9	15.9	10.1	10.1	11.6	17.4	15.9	10.1	0.0
若狭	77	14.3	0.0	68.8	31.2	16.9	5.2	16.9	18.2	22.1	10.4	2.6
城岳	72	18.1	2.8	61.1	20.8	9.7	11.1	9.7	18.1	18.1	12.5	1.4
かなぐすく	83	21.7	8.4	59.0	27.7	16.9	10.8	13.3	15.7	14.5	8.4	1.2
小禄	94	8.5	3.2	50.0	21.3	12.8	9.6	17.0	22.3	25.5	12.8	2.1
高良	94	19.1	4.3	58.5	21.3	13.8	10.6	14.9	18.1	29.8	11.7	5.3
認定別												
一般高齢者	1,188	14.3	2.9	56.0	19.2	10.0	8.1	16.8	21.0	19.3	12.7	1.8
要支援認定者	300	26.0	10.0	69.0	33.3	14.3	11.3	11.0	14.3	31.7	8.7	1.7

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

(10) 外出時の移動手段【オプション項目】



外出時の移動手段については、「徒歩」49.7%が最も高い。次いで「自動車(自分で運転)」41.3%、「路線バス」30.0%である。

性別では、男性は「自動車(自分で運転)」が最も高く 60.3%、次いで「徒歩」49.2%、「モノレール」22.2%である。女性は「徒歩」50.6%が最も高く、次いで「路線バス」37.5%、「自動車(人に乗せてもらう)」30.3%である。

年齢別では「徒歩」、「自動車(自分で運転)」、「モノレール」、「路線バス」などは年齢階級が上がるほど割合が減少する傾向にある。一方、「つえ歩行」、「自動車(人に乗せてもらう)」、「タクシー」などは年齢階級が上がるとう高くなる傾向にある。

圏域別では、本庁地区に属する安里圏域、新都心圏域、泊圏域、若狭圏域、城岳圏域などの圏域において「徒歩」の割合が高く、安里圏域 59.0%、新都心圏域 54.3%、泊圏域 60.4%、若狭圏域 59.2%、城岳圏域 63.5%で市平均を約 5～13 ポイント上回っている。本庁地区の中では安謝圏域が唯一、44.6%で市平均よりも約 5 ポイント低い。

認定度別では、要支援認定者は一般高齢者に比べ「つえ歩行」40.8%、「自動車(人に乗せてもらう)」50.6%、「タクシー」46.8%などの項目で約 20～35 ポイント高い。

図表－６９ 基本属性別 外出時の移動手段【複数回答】

(%)

	調査数（人）	徒歩	つえ歩行	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	モノレール	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全 体	8,543	49.7	7.7	4.3	5.0	41.9	22.2	25.9	30.0	2.7	0.8	0.1	0.8	24.7	1.4	3.9
性別 男性	3,576	49.2	5.2	7.4	9.9	60.3	11.5	22.2	20.4	1.3	0.4	0.1	0.3	19.4	1.0	3.9
性別 女性	4,800	50.6	9.6	1.9	1.3	28.7	30.3	29.1	37.5	3.8	1.1	0.1	1.2	28.8	1.7	3.8
年齢別 65～69歳	2,469	54.9	2.3	5.3	7.7	55.4	17.1	28.8	28.5	1.1	0.2	0.0	0.2	17.2	0.8	4.4
70～74歳	2,017	51.4	3.3	5.4	6.7	51.3	17.6	28.1	30.7	1.8	0.2	0.0	0.2	19.8	0.8	3.9
75～79歳	1,693	51.4	8.3	3.5	3.7	38.3	21.7	27.9	33.7	3.2	0.7	0.0	1.1	26.8	1.5	3.4
80～84歳	1,279	47.0	12.9	3.1	1.9	27.5	28.0	23.4	32.7	5.6	1.0	0.3	1.4	33.9	2.0	3.3
85～89歳	665	38.9	23.2	1.5	0.5	18.0	35.9	16.2	26.2	4.1	2.1	0.6	2.1	39.7	3.2	2.7
90歳以上	201	25.4	27.9	3.5	0.0	3.5	50.2	12.4	16.9	5.0	7.0	0.0	4.0	43.3	2.5	4.0
圏域別 石嶺	523	41.9	6.7	2.3	4.6	53.2	22.9	33.5	29.3	1.5	0.8	0.0	0.6	18.5	1.7	3.3
大名	459	47.7	6.3	1.3	3.3	46.4	22.4	39.4	28.1	2.2	0.7	0.4	1.1	24.4	1.5	5.0
城西	516	49.2	5.8	1.4	3.7	51.0	23.1	37.8	29.5	1.6	0.0	0.4	0.8	21.1	0.8	4.3
繁多川	415	43.9	6.7	1.4	8.2	39.0	25.3	11.8	34.7	2.2	1.7	0.0	1.0	27.0	1.7	5.8
松川	440	54.3	9.8	5.9	6.6	35.7	18.9	30.2	31.8	1.8	1.1	0.2	1.1	25.0	0.7	2.0
松島	476	46.6	7.4	4.0	3.6	50.6	20.6	36.8	17.9	0.6	0.8	0.0	0.4	17.9	0.6	2.9
識名	540	47.0	9.1	1.7	8.3	39.6	19.8	6.1	35.6	4.4	0.7	0.0	0.4	26.1	1.7	3.5
安里	439	59.0	10.7	5.2	5.0	29.4	21.4	34.6	29.4	3.2	0.2	0.0	1.1	32.8	1.1	3.9
古波蔵	435	50.3	7.4	4.1	6.0	32.4	21.1	13.3	30.8	3.9	0.5	0.0	0.2	26.2	1.8	3.9
国場	465	41.3	7.3	3.9	6.9	43.9	23.9	5.4	32.5	2.6	0.6	0.0	1.1	21.1	1.7	3.0
新都心	501	54.3	5.8	6.2	5.6	44.1	20.4	30.5	26.9	2.4	1.4	0.0	0.2	25.3	0.8	4.8
安謝	448	44.6	8.3	6.7	4.9	39.1	23.9	9.6	35.3	3.1	0.2	0.4	1.3	24.1	2.2	3.8
泊	429	60.4	9.8	4.7	4.2	39.9	20.3	34.5	31.5	3.3	1.4	0.0	0.7	32.9	1.9	3.5
若狭	429	59.2	7.5	9.6	4.7	36.1	22.1	30.3	37.1	4.4	0.5	0.0	0.7	31.5	1.2	2.1
城岳	455	63.5	9.7	6.4	4.4	36.9	18.5	30.3	32.5	1.8	0.4	0.0	2.0	25.1	1.1	4.0
かなぐすく	402	51.0	7.5	4.7	3.0	43.5	25.1	39.1	24.1	2.7	1.2	0.0	1.0	24.9	1.2	3.0
小禄	515	49.1	8.2	4.7	4.1	43.9	25.2	28.3	29.3	2.9	0.8	0.4	0.8	25.8	1.7	4.3
高良	477	41.1	6.1	4.0	2.7	51.4	24.7	20.1	28.9	4.2	0.4	0.0	0.4	20.5	1.3	4.6
認定別 一般高齢者	7,551	52.7	5.5	4.4	5.3	45.7	20.7	27.6	31.2	2.0	0.2	0.1	0.3	23.3	1.2	3.7
要支援認定者	466	18.7	40.8	1.9	0.9	3.2	50.6	8.6	13.5	13.5	7.7	0.4	9.2	46.8	3.4	1.9

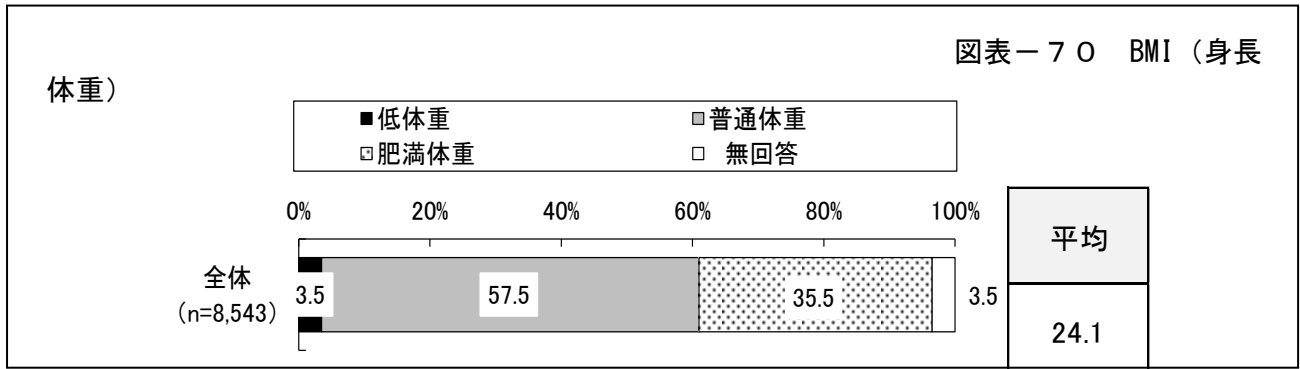
※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

4. 食べることについて【問3】

(1) BMI（身長・体重）【必須項目】

※BMI＝体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)}

BMI が18.5未満の場合を「低体重」、18.5～25未満の場合を「普通体重」、25以上を「肥満体重」として評価（日本肥満学会による）



BMIに基づく肥満度判定については、「普通体重」が57.5%、次いで「肥満体重」が35.5%、「低体重」が3.5%である。

性別では、男性は市平均と比較し「肥満体重」が37.5%と2ポイント高く、「低体重」が2.3%と約1ポイント低い。女性は「低体重」が4.4%と男性2.3%と比較し高い。

年齢別では、70～74歳で「肥満体重」が38.5%と市平均より3ポイント高い。また、85歳以上の年齢階級では「肥満体重」の割合が減少している。90歳以上では、「肥満体重」が24.4%と市平均より約10ポイント低くなることに加え、「低体重」が6.5%と市平均よりも3ポイント高い。

圏域別では、繁多川圏域とかなぐすく圏域で「肥満体重」が市平均より約3.5ポイント高く、繁多川圏域39.3%、かなぐすく圏域39.1%である。また、「低体重」は松川圏域と安里圏域で市平均より約1.5ポイント高く、松川圏域5.2%、安里圏域5.0%である。

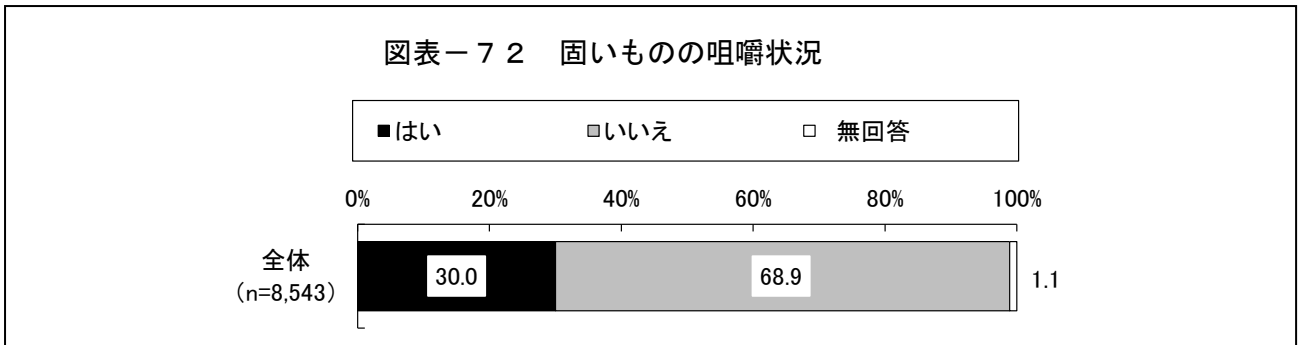
認定度別では、要支援認定者は市平均よりも「普通体重」が51.3%と約6ポイント低く、「低体重」が6.7%と約3ポイント高い。

図表－ 7 1 基本属性別 BMI（身長・体重）

		(%)					
		調 査 数 (人)	低 体 重	普 通 体 重	肥 満 体 重	無 回 答	(平 均 M I 値)
全 体		8,543	3.5	57.5	35.5	3.5	24.1
性 別	男性	3,576	2.3	57.5	37.5	2.7	24.3
	女性	4,800	4.4	57.7	34.3	3.7	24.0
年 齢 別	65～69歳	2,469	3.8	59.6	34.8	1.8	24.0
	70～74歳	2,017	3.2	56.1	38.5	2.2	24.3
	75～79歳	1,693	3.5	57.0	36.1	3.4	24.3
	80～84歳	1,279	3.2	56.0	36.4	4.4	24.3
	85～89歳	665	3.0	59.1	30.8	7.1	23.9
	90歳以上	201	6.5	59.2	24.4	10.0	23.2
圏 域 別	石嶺	523	2.7	57.4	35.4	4.6	24.1
	大名	459	4.6	57.5	34.2	3.7	24.1
	城西	516	1.7	61.0	33.1	4.1	24.1
	繁多川	415	3.6	53.0	39.3	4.1	24.4
	松川	440	5.2	57.0	35.2	2.5	24.1
	松島	476	2.9	60.3	34.7	2.1	24.2
	識名	540	3.1	55.4	36.5	5.0	24.2
	安里	439	5.0	61.0	31.7	2.3	23.8
	古波蔵	435	3.4	57.5	34.9	4.1	24.1
	国場	465	2.6	55.3	38.7	3.4	24.5
	新都心	501	4.0	58.1	35.5	2.4	23.9
	安謝	448	3.1	59.4	34.4	3.1	24.0
	泊	429	4.2	60.6	33.6	1.6	23.8
	若狭	429	4.2	57.1	35.9	2.8	24.1
	城岳	455	5.1	58.7	32.5	3.7	24.0
	かなぐすく	402	3.5	54.5	39.1	3.0	24.3
	小禄	515	2.9	57.3	36.5	3.3	24.3
	高良	477	2.5	57.4	38.2	1.9	24.4
認 定 別	一般高齢者	7,551	3.3	58.1	35.8	2.8	24.1
	要支援認定者	466	6.7	51.3	36.1	6.0	24.3

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

(2) 半年前と比較した固いものの咀嚼状況【必須項目】



半年前と比較した固いものの食べにくさについては「いいえ(食べにくくなっていない)」が68.9%、「はい(食べにくくなった)」が30.0%である。

年齢別では年齢階級が上がるほど、「いいえ(食べにくくなっていない)」の割合が減少し、「はい(食べにくくなった)」の割合が増加している。「はい(食べにくくなった)」は特に80歳以上の年齢階級で増加傾向にあり、80～84歳では35.7%、85～89歳では約7ポイント増加し43.0%、90歳以上では約13ポイント増加し56.2%である。

圏域別では城西圏域において「いいえ(食べにくくなっていない)」の割合が74.6%と、市平均と比べて約5.5ポイント高い。「はい(食べにくくなった)」は安謝圏域で市平均よりも約5ポイント高く35.3%である。

認定度別では、要支援認定者は一般高齢者に比べて「はい(食べにくくなった)」の割合が約30ポイント高く56.7%である。

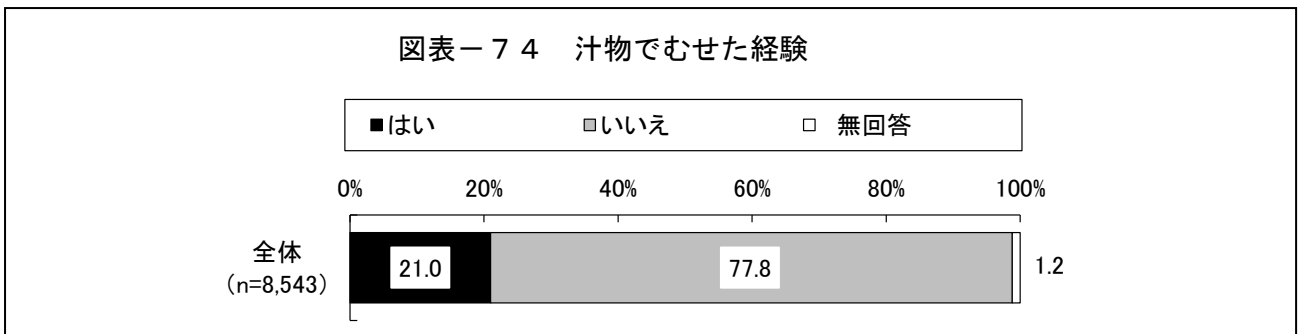
図表－７３ 基本属性別 固いものの咀嚼状況

(%)

		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全 体		8,543	30.0	68.9	1.1
性 別	男性	3,576	30.2	68.8	1.0
	女性	4,800	29.7	69.4	0.9
年 齢 別	65～69歳	2,469	23.0	76.6	0.4
	70～74歳	2,017	26.3	73.0	0.6
	75～79歳	1,693	31.1	67.5	1.4
	80～84歳	1,279	35.7	63.2	1.2
	85～89歳	665	43.0	55.5	1.5
	90歳以上	201	56.2	42.3	1.5
圏 域 別	石嶺	523	30.8	68.8	0.4
	大名	459	28.8	69.3	2.0
	城西	516	24.2	74.6	1.2
	繁多川	415	28.2	70.4	1.4
	松川	440	33.9	65.2	0.9
	松島	476	28.2	70.8	1.1
	識名	540	33.5	65.4	1.1
	安里	439	32.8	66.7	0.5
	古波蔵	435	32.2	66.4	1.4
	国場	465	31.4	68.0	0.6
	新都心	501	28.3	71.1	0.6
	安謝	448	35.3	63.8	0.9
	泊	429	29.6	69.7	0.7
	若狭	429	28.7	70.9	0.5
	城岳	455	28.4	71.0	0.7
	かなぐすく	402	30.8	68.4	0.7
	小禄	515	27.4	71.7	1.0
	高良	477	29.4	70.2	0.4
認 定 別	一般高齢者	7,551	27.9	71.4	0.8
	要支援認定者	466	56.7	41.8	1.5

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(3) 汁物でむせた経験【オプション項目】



お茶や汁物でむせることがあるかについては、「いいえ(むせた経験がない)」が77.8%で、「はい(むせた経験がある)」21.0%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「はい(むせた経験がある)」の割合が増加する傾向にあり、90歳以上では、85～89歳よりも約6ポイント増加し32.8%である。

圏域別では、「はい(むせた経験がある)」は安里圏域が最も高く24.8%と市平均よりも約4ポイント高い。次いで、新都心圏域の24.0%、繁多川圏域の23.9%と続く。

認定度別では、要支援認定者は一般高齢者に比べ「はい(むせた経験がある)」の割合が約20ポイント高く40.6%である。

図表－７５ 基本属性別 汁物でむせた経験

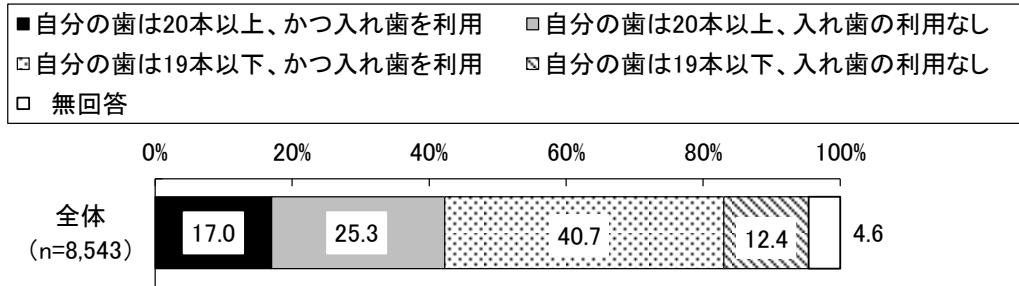
(%)

		調査数 (人)	はい	いいえ	無回答
全 体		8,543	21.0	77.8	1.2
性別	男性	3,576	20.1	78.7	1.2
	女性	4,800	21.6	77.4	1.0
年齢別	65～69歳	2,469	16.7	82.8	0.5
	70～74歳	2,017	20.0	79.3	0.7
	75～79歳	1,693	22.4	76.0	1.5
	80～84歳	1,279	23.5	75.1	1.4
	85～89歳	665	26.2	71.9	2.0
	90歳以上	201	32.8	65.2	2.0
圏域別	石嶺	523	19.3	79.7	1.0
	大名	459	22.2	75.8	2.0
	城西	516	17.4	81.2	1.4
	繁多川	415	23.9	74.5	1.7
	松川	440	20.5	79.1	0.5
	松島	476	16.8	81.7	1.5
	識名	540	22.6	76.3	1.1
	安里	439	24.8	75.2	0.0
	古波蔵	435	20.5	77.9	1.6
	国場	465	18.1	80.6	1.3
	新都心	501	24.0	74.7	1.4
	安謝	448	21.2	77.5	1.3
	泊	429	23.5	76.2	0.2
	若狭	429	21.4	78.3	0.2
	城岳	455	23.3	76.0	0.7
	かなぐすく	402	21.9	76.4	1.7
	小禄	515	17.9	81.2	1.0
	高良	477	20.1	79.2	0.6
認定別	一般高齢者	7,551	19.7	79.4	0.9
	要支援認定者	466	40.6	57.9	1.5

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

(4) 歯の本数と入れ歯の利用状況【必須項目】

図表－76 歯の本数と入れ歯の利用状況



歯の本数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が40.7%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が25.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.0%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が12.4%である。

性別では、女性は「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」で男性よりも高く、女性42.9%、男性37.8%である。

年齢別では年齢階級が上がるほど「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が増加していく(65～69歳29.7%、75～79歳46.7%、85～89歳54.0%)。

圏域別では、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」は松川圏域で最も高く17.0%、次いで安里圏域の15.5%である。

認定度別では、一般高齢者は要支援認定者と比べて「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯の利用なし」の割合が高い(一般高齢者26.6%、要支援認定者12.9%)。また、要支援認定者は「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が54.7%と一般高齢者40.1%より、約14ポイント高い。

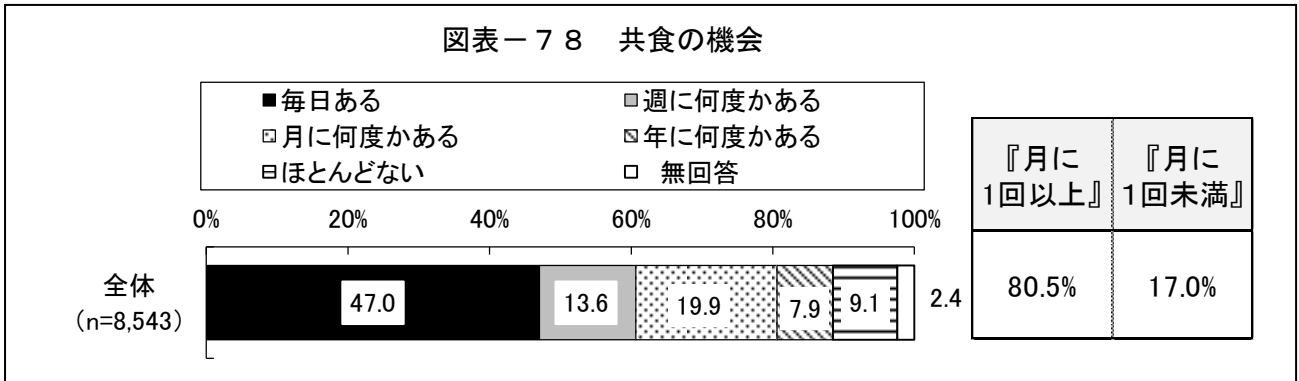
図表－７７ 基本属性別 歯の本数と入れ歯の利用状況

(%)

		調査数 (人)	自分の歯は20本以上、 かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、 入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、 かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、 入れ歯の利用なし	無回答
全 体		8,543	17.0	25.3	40.7	12.4	4.6
性別	男性	3,576	17.2	27.1	37.8	13.9	4.0
	女性	4,800	17.0	24.2	42.9	11.2	4.6
年齢別	65～69歳	2,469	17.5	35.0	29.7	15.5	2.3
	70～74歳	2,017	17.3	27.2	39.3	13.0	3.2
	75～79歳	1,693	17.9	21.0	46.7	10.3	4.1
	80～84歳	1,279	18.3	19.8	47.0	9.2	5.7
	85～89歳	665	14.0	12.6	54.0	10.2	9.2
	90歳以上	201	7.5	9.0	58.7	10.4	14.4
圏域別	石嶺	523	19.1	27.9	38.2	10.9	3.8
	大名	459	19.0	23.7	41.2	11.8	4.4
	城西	516	17.1	27.7	41.1	9.9	4.3
	繁多川	415	17.1	25.3	37.6	13.7	6.3
	松川	440	15.7	23.4	38.0	17.0	5.9
	松島	476	15.5	25.0	44.7	11.8	2.9
	識名	540	14.6	22.6	41.9	14.1	6.9
	安里	439	18.2	24.1	38.3	15.5	3.9
	古波蔵	435	14.5	22.5	42.8	15.2	5.1
	国場	465	15.3	22.2	44.5	14.6	3.4
	新都心	501	18.8	29.1	36.9	10.6	4.6
	安謝	448	19.0	25.0	39.5	11.4	5.1
	泊	429	17.7	28.2	40.1	10.3	3.7
	若狭	429	16.6	26.3	42.7	11.0	3.5
	城岳	455	16.5	27.0	40.9	11.4	4.2
	かなぐすく	402	15.7	25.4	46.0	10.9	2.0
	小禄	515	18.1	26.6	40.4	11.8	3.1
	高良	477	18.9	24.9	41.3	10.9	4.0
認定別	一般高齢者	7,551	17.4	26.6	40.1	12.2	3.6
	要支援認定者	466	12.0	12.9	54.7	12.2	8.2

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(5) 共食の機会【必須項目】



人と食事をともにする機会については、「毎日ある」が47.0%で最も高く、次いで「月に何度かある」19.9%、「週に何度かある」13.6%、「ほとんどない」9.1%、「年に何度かある」7.9%である。

性別では、男性は「毎日ある」が51.0%で最も高く、次いで「月に何度かある」16.0%、「ほとんどない」11.8%である。女性は「毎日ある」が44.9%で最も高く、次いで「月に何度かある」22.8%、「週に何度かある」15.8%である。「ほとんどない」は男性11.8%、女性6.7%で男性の方が約5ポイント高い。

年齢別では、一部例外があるものの、年齢階級が上がるほど「毎日ある」の割合が減少する傾向にある。「ほとんどない」は85歳以降の年代で微増し、80～84歳では8.7%であるのに対し、85～89歳では10.7%、90歳以上で10.4%である。

圏域別では、松島圏域53.4%とかなぐすく圏域53.5%は「毎日ある」の割合が市平均よりも約6ポイント高い。識名圏域14.4%、安里圏域13.7%、古波蔵圏域14.3%は「ほとんどない」が市平均よりも約4～5ポイント高い。

認定度別では、要支援認定者は「ほとんどない」が14.2%で市平均よりも約5ポイント高い。

図表－７９ 基本属性別 共食の機会

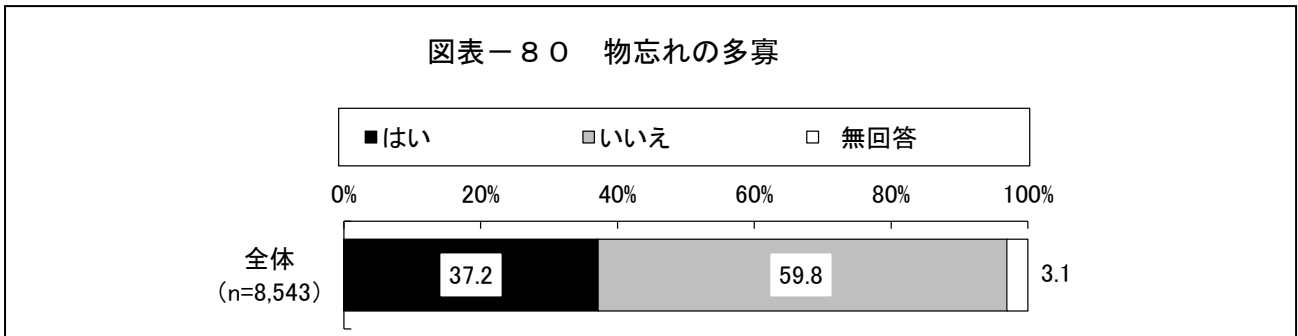
(%)

	調査数（人）	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答	「再掲」 「月に1回以上」	「再掲」 「月に1回未満」
全 体	8,543	47.0	13.6	19.9	7.9	9.1	2.4	80.5	17.0
性別									
男性	3,576	51.0	10.8	16.0	8.4	11.8	2.0	77.8	20.2
女性	4,800	44.9	15.8	22.8	7.5	6.7	2.3	83.5	14.2
年齢別									
65～69歳	2,469	53.7	15.0	15.0	6.2	9.0	1.0	83.7	15.2
70～74歳	2,017	48.5	13.3	19.9	8.0	8.9	1.4	81.7	16.9
75～79歳	1,693	44.9	11.1	23.9	9.0	8.0	3.0	79.9	17.0
80～84歳	1,279	41.5	13.9	24.6	8.3	8.7	3.0	80.0	17.0
85～89歳	665	42.0	15.2	19.7	9.0	10.7	3.5	76.9	19.7
90歳以上	201	40.3	17.4	18.9	9.0	10.4	4.0	76.6	19.4
圏域別									
石嶺	523	51.2	12.8	20.3	6.1	5.9	3.6	84.3	12.0
大名	459	47.9	12.9	21.1	7.4	7.2	3.5	81.9	14.6
城西	516	50.4	13.2	19.4	7.9	6.8	2.3	83.0	14.7
繁多川	415	48.7	13.5	15.4	8.2	10.1	4.1	77.6	18.3
松川	440	42.3	13.9	19.8	10.9	12.0	1.1	76.0	22.9
松島	476	53.4	14.1	17.9	7.4	5.0	2.3	85.4	12.4
識名	540	40.9	12.2	21.5	8.7	14.4	2.2	74.6	23.1
安里	439	43.3	13.0	21.0	8.0	13.7	1.1	77.3	21.7
古波蔵	435	44.4	12.6	19.3	7.4	14.3	2.1	76.3	21.7
国場	465	47.5	13.8	17.6	8.8	10.8	1.5	78.9	19.6
新都心	501	50.3	14.4	20.8	6.0	6.6	2.0	85.5	12.6
安謝	448	46.0	11.4	22.8	9.2	8.0	2.7	80.2	17.2
泊	429	44.8	18.4	20.3	8.2	7.2	1.2	83.5	15.4
若狭	429	45.0	16.8	21.7	7.5	8.4	0.7	83.5	15.9
城岳	455	46.6	14.5	22.2	6.8	7.5	2.4	83.3	14.3
かなぐすく	402	53.5	12.4	18.9	7.0	6.5	1.7	84.8	13.5
小禄	515	47.6	13.2	20.0	7.6	8.7	2.9	80.8	16.3
高良	477	48.6	13.0	18.0	9.6	9.2	1.5	79.6	18.8
認定別									
一般高齢者	7,551	49.1	13.3	20.0	7.5	8.3	1.8	82.4	15.8
要支援認定者	466	33.0	20.4	17.6	11.2	14.2	3.6	71.0	25.4

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

5. 毎日の生活について【問4】

(1) 物忘れの多寡【必須項目】



物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ(多いと感じない)」が59.8%、「はい(多いと感じる)」が37.2%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「はい(多いと感じる)」が高くなり、85歳以上の年齢階級では47%を超え、市平均よりも約10ポイント以上高くなっている。

圏域別では、安謝圏域は「はい(多いと感じる)」が43.8%で市平均よりも約6ポイント高い。一方、松島圏域は32.4%、小緑圏域では32.6%で市平均よりも約5ポイント低い。

認定度別では、要支援認定者は「はい(多いと感じる)」が54.7%で、一般高齢者の35.9%よりも約19ポイント高い。

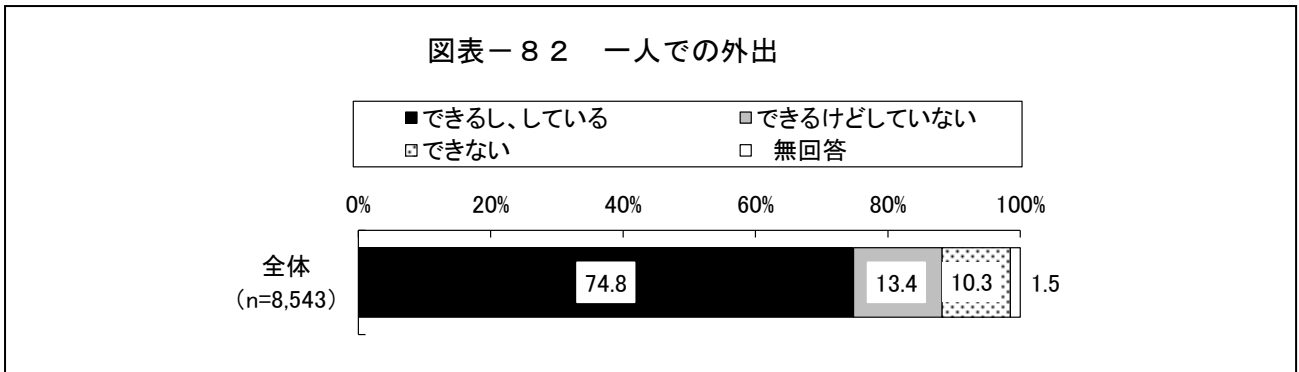
図表－８１ 基本属性別 物忘れの多寡

(%)

		(調 査 人 数)	はい	いいえ	無 回 答
全 体		8,543	37.2	59.8	3.1
性 別	男性	3,576	34.2	63.5	2.3
	女性	4,800	39.4	57.3	3.3
年 齢 別	65～69歳	2,469	30.5	68.3	1.2
	70～74歳	2,017	32.8	64.7	2.5
	75～79歳	1,693	40.3	55.0	4.7
	80～84歳	1,279	44.3	52.4	3.3
	85～89歳	665	47.2	48.4	4.4
	90歳以上	201	51.7	43.3	5.0
圏 域 別	石嶺	523	34.6	62.1	3.3
	大名	459	38.8	58.2	3.1
	城西	516	37.8	59.1	3.1
	繁多川	415	38.3	56.6	5.1
	松川	440	36.6	61.8	1.6
	松島	476	32.4	65.3	2.3
	識名	540	41.1	56.1	2.8
	安里	439	34.6	63.1	2.3
	古波蔵	435	36.6	59.8	3.7
	国場	465	37.8	59.4	2.8
	新都心	501	38.9	57.7	3.4
	安謝	448	43.8	53.1	3.1
	泊	429	35.7	62.0	2.3
	若狭	429	38.2	59.9	1.9
	城岳	455	36.3	61.3	2.4
	かなぐすく	402	38.6	58.7	2.7
	小禄	515	32.6	64.1	3.3
	高良	477	37.9	60.0	2.1
認 定 別	一般高齢者	7,551	35.9	61.4	2.7
	要支援認定者	466	54.7	41.6	3.6

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) 一人での外出【必須項目】



バスやモノレールを使い一人で外出しているかについては、「できるし、している」が74.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.4%、「できない」が10.3%である。

性別では、女性は「できない」の割合が12.4%で男性7.6%より約5ポイント高い。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「できるし、している」の割合が減少し、「できない」の割合が増加している。「できない」は、75～79歳が8.9%であるのに対し、80～84歳では15.3%と約6ポイント増加し、さらに85～89歳では30.1%、90歳以上では54.2%である。

圏域別では、「できない」は松川圏域が13.9%、古波蔵圏域、国場圏域が13.1%であり、市平均よりも約3ポイント高い。

認定度別では、要支援認定者は「できない」の割合が高く、一般高齢者の「できない」が6.7%であるのに対し、要支援認定者は63.7%である。

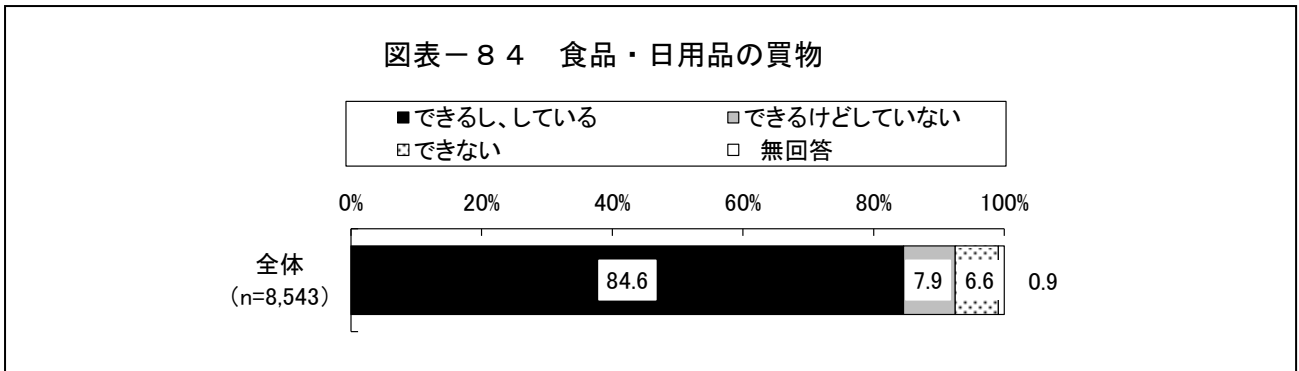
図表－８３ 基本属性別 一人での外出

(%)

		（調 査 数）	で て い る し 、	で て い る け い ど	で き な い	無 回 答
全 体		8,543	74.8	13.4	10.3	1.5
性 別	男性	3,576	75.8	15.0	7.6	1.5
	女性	4,800	74.3	12.1	12.4	1.2
年 齢 別	65～69歳	2,469	83.5	11.7	4.0	0.8
	70～74歳	2,017	82.3	12.1	4.7	0.8
	75～79歳	1,693	75.6	13.5	8.9	1.9
	80～84歳	1,279	66.6	16.6	15.3	1.5
	85～89歳	665	51.4	15.8	30.1	2.7
	90歳以上	201	32.3	11.4	54.2	2.0
圏 域 別	石嶺	523	77.1	12.0	9.2	1.7
	大名	459	77.8	12.4	8.3	1.5
	城西	516	81.6	9.7	7.9	0.8
	繁多川	415	74.0	13.5	11.3	1.2
	松川	440	72.0	13.0	13.9	1.1
	松島	476	75.4	14.1	9.0	1.5
	識名	540	71.1	15.4	12.0	1.5
	安里	439	72.9	15.9	10.5	0.7
	古波蔵	435	67.6	17.2	13.1	2.1
	国場	465	71.2	14.6	13.1	1.1
	新都心	501	78.4	12.8	7.6	1.2
	安謝	448	71.4	14.5	12.9	1.1
	泊	429	80.0	11.2	7.7	1.2
	若狭	429	76.0	12.8	10.5	0.7
	城岳	455	76.3	12.1	10.1	1.5
	かなぐすく	402	77.4	12.2	9.2	1.2
	小禄	515	75.1	12.4	10.3	2.1
	高良	477	75.1	14.7	9.2	1.0
認 定 別	一般高齢者	7,551	78.8	13.4	6.7	1.1
	要支援認定者	466	21.9	12.2	63.7	2.1

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

(3) 食品・日用品の買物【必須項目】



自分で食品・日用品の買物を行っているかについては、「できるし、している」が84.6%で最も高く、「できるけどしていない」が7.9%、「できない」6.6%である。

年齢別では年齢階級が上がるほど、「できるし、している」の割合が減少し、「できるけどしていない」、「できない」の割合が増加している。特に80歳以上の年齢階級では顕著な増加傾向が見られ、80～84歳では10.2%、85～89歳では20.2%、90歳以上では37.3%である。

圏域別では、繁多川圏域と安里圏域は「できない」が8.2%であり、市平均よりも約1.5ポイント高い。

認定度別では、要支援認定者は「できない」が48.1%と、一般高齢者3.7%より高い。

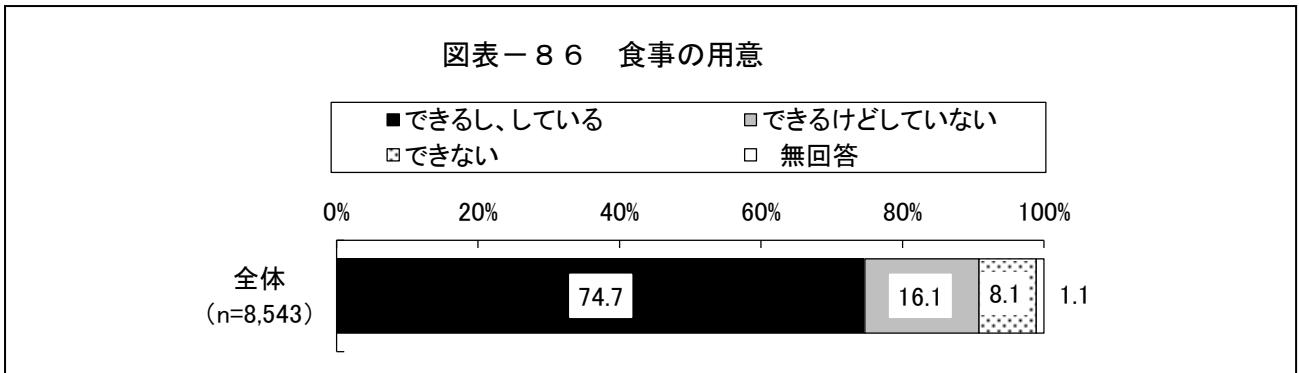
図表－８５ 基本属性別 食品・日用品の買物

(%)

		(調 査 数)	で き る し 、	で き る け ど	で き な い	無 回 答
全 体		8,543	84.6	7.9	6.6	0.9
性 別	男性	3,576	80.9	13.1	5.1	1.0
	女性	4,800	87.6	4.0	7.8	0.6
年 齢 別	65～69歳	2,469	92.9	4.4	2.3	0.4
	70～74歳	2,017	89.4	7.5	2.6	0.4
	75～79歳	1,693	83.6	9.5	5.8	1.1
	80～84歳	1,279	78.8	10.1	10.2	0.9
	85～89歳	665	66.2	12.2	20.2	1.5
	90歳以上	201	48.3	12.9	37.3	1.5
圏 域 別	石嶺	523	84.7	7.6	6.7	1.0
	大名	459	84.7	7.8	6.3	1.1
	城西	516	84.1	9.7	5.6	0.6
	繁多川	415	83.4	7.2	8.2	1.2
	松川	440	84.3	7.7	7.5	0.5
	松島	476	83.2	8.4	7.1	1.3
	識名	540	84.6	7.8	7.0	0.6
	安里	439	85.6	5.9	8.2	0.2
	古波蔵	435	82.5	9.0	7.6	0.9
	国場	465	84.3	9.2	6.0	0.4
	新都心	501	85.8	8.0	5.6	0.6
	安謝	448	83.3	8.7	7.1	0.9
	泊	429	87.2	7.2	5.1	0.5
	若狭	429	86.7	5.6	7.5	0.2
	城岳	455	86.6	7.5	5.1	0.9
	かなぐすく	402	82.6	9.0	7.5	1.0
	小禄	515	85.6	7.4	6.0	1.0
	高良	477	85.3	8.4	5.9	0.4
認 定 別	一般高齢者	7,551	88.0	7.7	3.7	0.6
	要支援認定者	466	38.2	12.4	48.1	1.3

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(4) 食事の用意【必須項目】



自分で食事の用意をしているかについては「できるし、している」が74.7%で最も高く、「できるけどしていない」が16.1%、「できない」が8.1%である。

性別では男性は女性より「できない」の割合が高く、男性13.4%、女性4.3%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど、「できるし、している」の割合は減少し、「できない」の割合は増加している。「できない」は80～84歳で10.9%、85～89歳では約6ポイント増加し17.4%、90歳以上では約14ポイント増加し31.3%である。

圏域別では、「できない」は石嶺圏域、安里圏域、古波蔵圏域において市平均よりも約2.5ポイント高く、石嶺圏域10.5%、安里圏域10.9%、古波蔵圏域10.6%である。

認定度別では、「できない」は一般高齢者6.1%、要支援認定者は38.2%である。

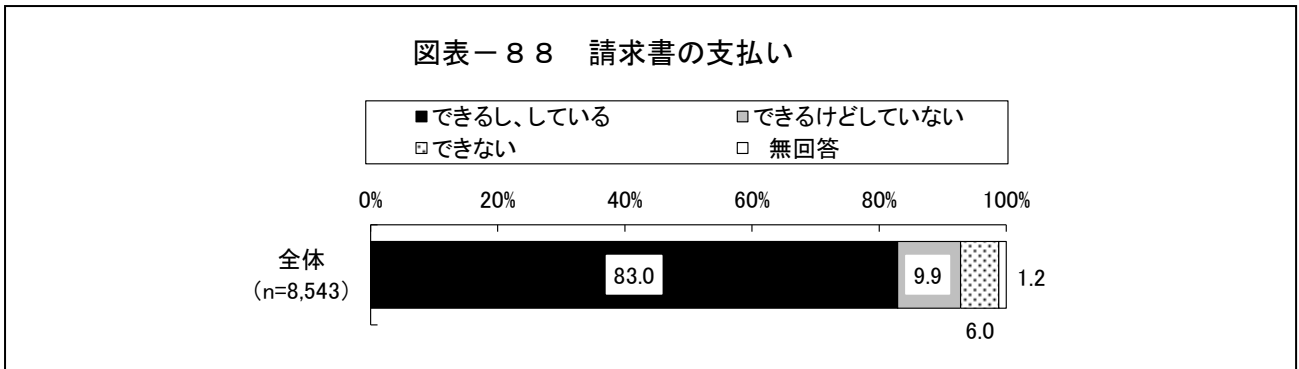
図表－８７ 基本属性別 食事の用意

(%)

		(調 査 人 数)	し て 可 い る し 、	し て 可 い る け い ど	で き な い	無 回 答
全 体		8,543	74.7	16.1	8.1	1.1
性 別	男性	3,576	53.2	32.4	13.4	1.0
	女性	4,800	90.8	4.1	4.3	0.8
年 齢 別	65～69歳	2,469	79.0	15.9	4.6	0.4
	70～74歳	2,017	77.5	16.7	5.3	0.5
	75～79歳	1,693	75.5	15.5	7.9	1.1
	80～84歳	1,279	71.2	16.2	10.9	1.7
	85～89歳	665	63.2	18.2	17.4	1.2
	90歳以上	201	50.7	16.4	31.3	1.5
圏 域 別	石嶺	523	72.7	16.1	10.5	0.8
	大名	459	73.6	18.7	6.8	0.9
	城西	516	72.7	18.2	8.1	1.0
	繁多川	415	75.4	14.5	8.7	1.4
	松川	440	76.6	14.5	8.2	0.7
	松島	476	71.4	21.2	6.1	1.3
	識名	540	74.8	14.6	9.6	0.9
	安里	439	73.8	14.8	10.9	0.5
	古波蔵	435	73.3	15.2	10.6	0.9
	国場	465	73.8	18.3	6.9	1.1
	新都心	501	74.9	16.2	8.4	0.6
	安謝	448	76.6	14.7	7.6	1.1
	泊	429	76.2	15.4	7.9	0.5
	若狭	429	79.5	13.5	6.8	0.2
	城岳	455	74.7	18.0	6.4	0.9
	かなぐすく	402	74.4	16.2	8.5	1.0
	小禄	515	76.7	15.7	6.2	1.4
	高良	477	75.1	15.7	8.6	0.6
認 定 別	一般高齢者	7,551	76.6	16.6	6.1	0.7
	要支援認定者	466	45.9	14.4	38.2	1.5

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(5) 請求書の支払い【必須項目】



自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が83.0%、「できるけどしていない」が9.9%、「できない」が6.0%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど、「できるし、している」の割合が減少し、「できない」の割合が増加している。「できない」は80歳以上の年齢階級で増加傾向が顕著にみられ、80～84歳では9.7%、85～89歳では約7.5ポイント増加し17.3%、90歳以上では約16.5ポイント増加し33.8%である。

圏域別では、かなぐすく圏域において「できるし、している」の割合が78.1%と市平均と比べて約5ポイント低い。

認定度別では、「できない」は一般高齢者3.9%、要支援認定者は36.1%である。

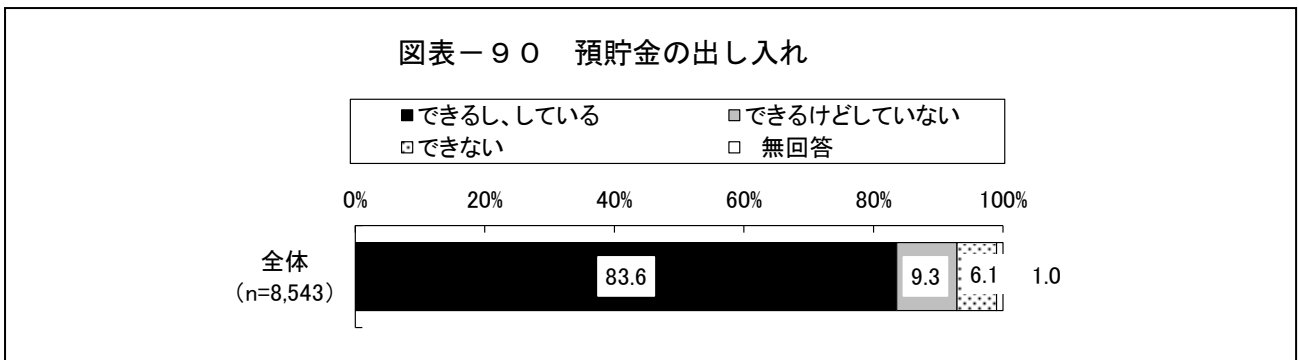
図表－８９ 基本属性別 請求書の支払い

(%)

		(人 調査 数)	し で て い る し 、	し で て い る け い ど	で き な い	無 回 答
全 体		8,543	83.0	9.9	6.0	1.2
性 別	男性	3,576	76.6	16.2	6.2	1.1
	女性	4,800	87.9	5.2	6.0	0.9
年 齢 別	65～69歳	2,469	89.2	8.2	2.3	0.4
	70～74歳	2,017	87.4	9.3	2.6	0.8
	75～79歳	1,693	83.8	9.7	4.9	1.7
	80～84歳	1,279	77.3	11.6	9.7	1.4
	85～89歳	665	68.4	13.1	17.3	1.2
	90歳以上	201	48.8	15.9	33.8	1.5
圏 域 別	石嶺	523	82.4	10.1	6.7	0.8
	大名	459	81.0	11.8	5.7	1.5
	城西	516	86.2	8.3	4.5	1.0
	繁多川	415	81.0	8.2	8.9	1.9
	松川	440	83.4	8.2	7.5	0.9
	松島	476	84.2	9.2	5.7	0.8
	識名	540	85.2	8.1	5.6	1.1
	安里	439	84.3	9.3	6.2	0.2
	古波蔵	435	79.8	12.4	6.7	1.1
	国場	465	82.4	9.7	7.1	0.9
	新都心	501	83.8	9.2	6.0	1.0
	安謝	448	83.7	9.4	5.6	1.3
	泊	429	85.8	9.8	4.2	0.2
	若狭	429	84.4	9.8	5.6	0.2
	城岳	455	80.9	12.3	5.3	1.5
	かなぐすく	402	78.1	13.4	7.7	0.7
	小禄	515	83.7	10.7	3.9	1.7
	高良	477	82.8	9.4	7.1	0.6
認 定 別	一般高齢者	7,551	85.6	9.7	3.9	0.9
	要支援認定者	466	50.4	12.7	36.1	0.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(6) 預貯金の出し入れ【必須項目】



自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が83.6%、「できるけどしていない」9.3%、「できない」が6.1%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど、「できるし、している」の割合が減少し、「できない」の割合が増加している。「できない」は80歳以上の年齢階級で増加傾向が顕著にみられ、80～84歳では10.3%、85～89歳では約7ポイント増加し17.6%、90歳以上では約17ポイント増加し34.3%である。

圏域別では、城西圏域は「できるし、している」が88.0%で市平均よりも約4.5ポイント高い、次いで泊圏域が87.6%、若狭圏域が87.2%である。

認定度別では、「できない」は一般高齢者4.0%、要支援認定者は34.8%である。

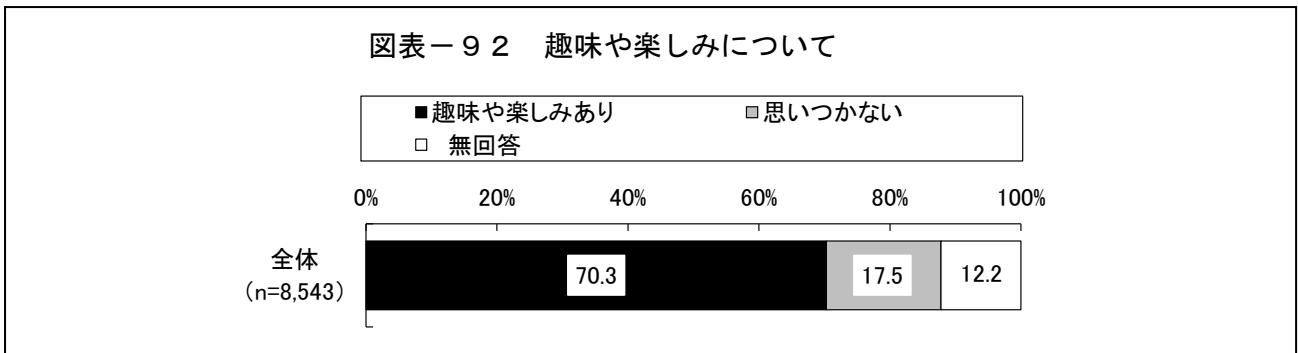
図表－９１ 基本属性別 預貯金の出し入れ

(%)

		(調 査 人 数)	し で て き る し 、	し で き る け い ど	で き な い	無 回 答
	全 体	8,543	83.6	9.3	6.1	1.0
性 別	男性	3,576	78.0	14.6	6.5	0.8
	女性	4,800	87.9	5.4	5.9	0.8
年 齢 別	65～69歳	2,469	90.2	6.7	2.7	0.4
	70～74歳	2,017	88.8	8.1	2.4	0.6
	75～79歳	1,693	85.0	9.5	4.3	1.2
	80～84歳	1,279	76.7	12.0	10.3	1.0
	85～89歳	665	65.4	15.6	17.6	1.4
	90歳以上	201	48.8	15.4	34.3	1.5
圏 域 別	石嶺	523	83.4	9.0	7.1	0.6
	大名	459	84.1	9.4	5.7	0.9
	城西	516	88.0	7.0	4.5	0.6
	繁多川	415	81.9	9.2	8.0	1.0
	松川	440	84.5	8.9	5.5	1.1
	松島	476	83.0	9.0	6.7	1.3
	識名	540	84.4	8.1	6.3	1.1
	安里	439	84.5	9.1	6.2	0.2
	古波蔵	435	79.3	12.6	7.1	0.9
	国場	465	81.5	10.3	7.5	0.6
	新都心	501	85.0	8.6	5.6	0.8
	安謝	448	83.5	9.2	6.7	0.7
	泊	429	87.6	8.4	4.0	0.0
	若狭	429	87.2	7.0	5.6	0.2
	城岳	455	83.7	9.9	5.5	0.9
	かなぐすく	402	77.4	13.4	7.7	1.5
	小禄	515	83.3	10.9	4.9	1.0
	高良	477	83.9	9.2	6.1	0.8
認 定 別	一般高齢者	7,551	86.3	9.0	4.0	0.7
	要支援認定者	466	47.0	17.0	34.8	1.3

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

(7) 趣味や楽しみについて【オプション項目】



趣味や楽しみの有無については、「趣味や楽しみあり」が70.3%、「思いつかない」が17.5%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「趣味や楽しみあり」が減少する傾向にあり、65～69歳では74.8%、90歳以上では60.2%である。「思いつかない」は90歳以上の年代で最も高く24.9%である。

圏域別では、古波蔵圏域と国場圏域において「趣味や楽しみあり」の割合が市平均から約5ポイント低く、古波蔵圏域64.4%、国場圏域64.7%である。「思いつかない」についても古波蔵圏域と国場圏域が高く、古波蔵圏域21.4%、国場圏域23.4%である。

認定度別では、一般高齢者は「趣味や楽しみあり」が72.7%であるのに対し、要支援認定者は52.6%である。「思いつかない」は要支援認定者が31.8%、一般高齢者が16.7%である。

図表－９３ 基本属性別 趣味や楽しみについて

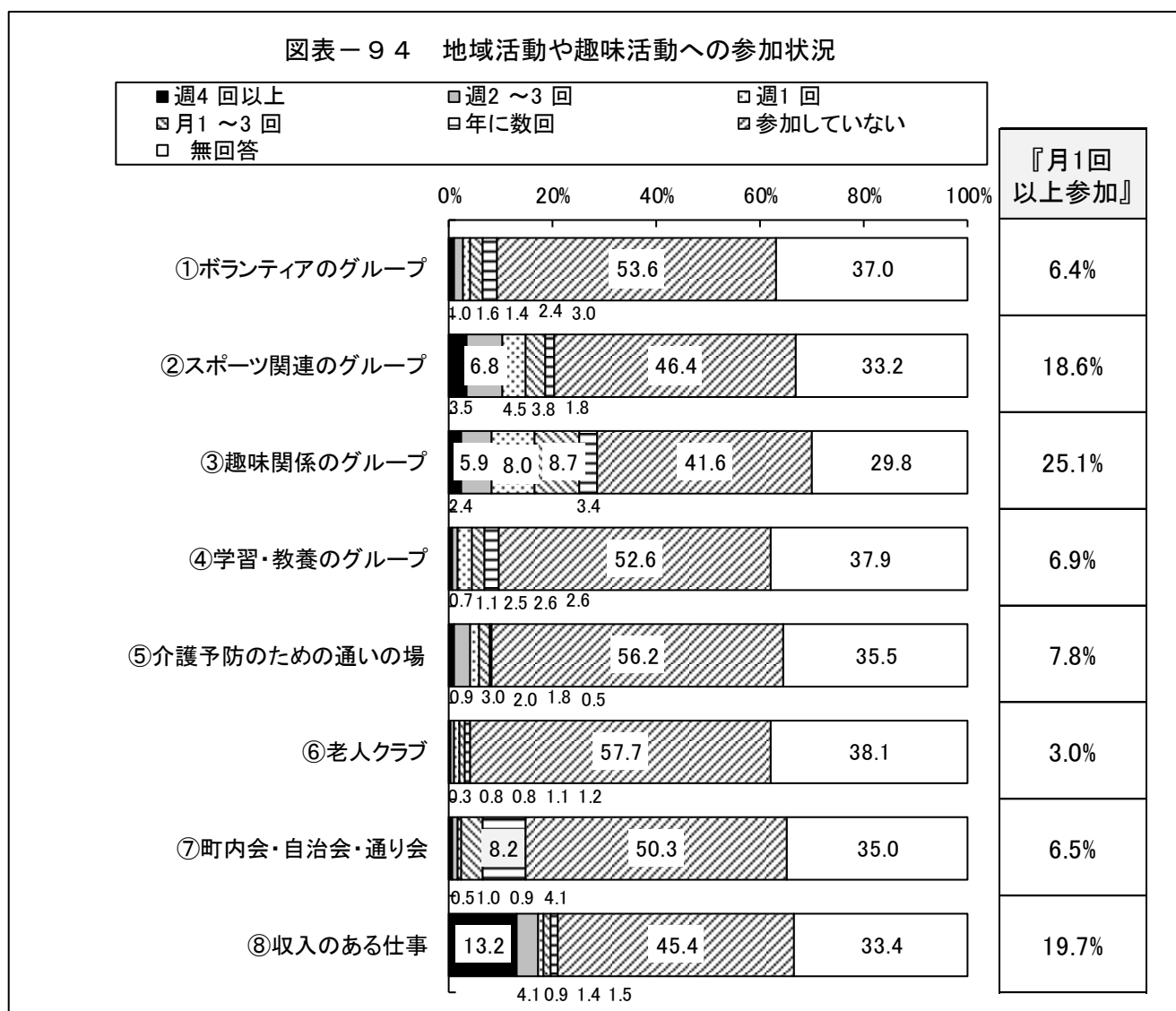
(%)

		調査数 (人)	趣味や楽しみ	思いつかない	無回答
全 体		8,543	70.3	17.5	12.2
性別	男性	3,576	71.9	17.7	10.5
	女性	4,800	69.7	17.5	12.8
年齢別	65～69歳	2,469	74.8	17.7	7.5
	70～74歳	2,017	72.9	16.9	10.3
	75～79歳	1,693	72.1	14.5	13.4
	80～84歳	1,279	64.8	19.5	15.7
	85～89歳	665	61.2	20.0	18.8
	90歳以上	201	60.2	24.9	14.9
圏域別	石嶺	523	69.6	15.7	14.7
	大名	459	75.2	15.0	9.8
	城西	516	76.6	13.0	10.5
	繁多川	415	66.3	21.2	12.5
	松川	440	70.2	20.2	9.5
	松島	476	71.0	15.8	13.2
	識名	540	68.3	19.1	12.6
	安里	439	69.0	17.1	13.9
	古波蔵	435	64.4	21.4	14.3
	国場	465	64.7	23.4	11.8
	新都心	501	74.9	16.0	9.2
	安謝	448	68.5	19.4	12.1
	泊	429	70.9	18.4	10.7
	若狭	429	69.7	18.4	11.9
	城岳	455	71.2	17.6	11.2
	かなぐすく	402	72.4	15.9	11.7
	小禄	515	72.8	14.8	12.4
	高良	477	74.6	15.3	10.1
認定別	一般高齢者	7,551	72.7	16.7	10.6
	要支援認定者	466	52.6	31.8	15.7

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

6. 地域での活動について【問5】

(1) 地域活動や趣味活動について【必須項目】



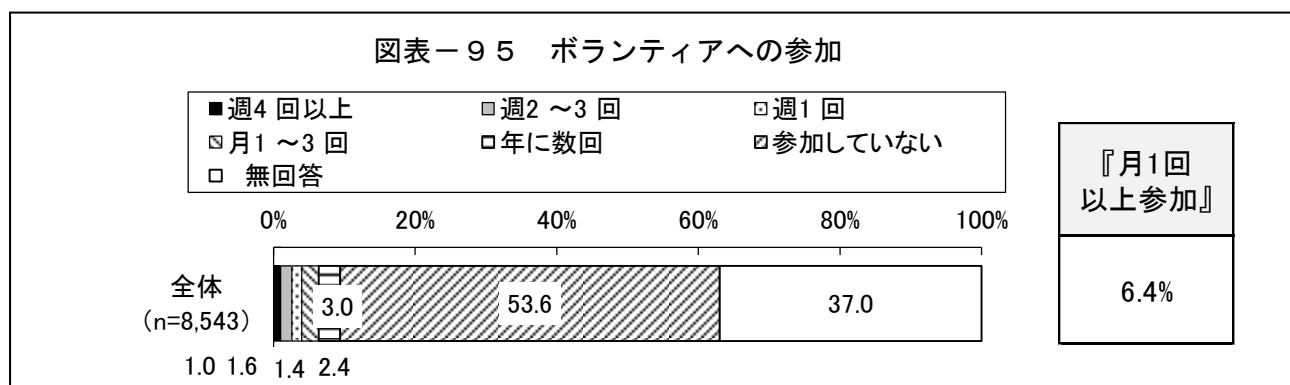
地域活動や趣味活動への参加状況として、①ボランティアのグループ～⑧収入のある仕事までの8つの活動への参加状況をたずねた。

このうち、『月1回以上参加』の割合が最も高いのは、③趣味関係のグループで25.1%であり、次いで⑧収入のある仕事が19.7%、②スポーツ関係のグループが18.6%である。一方、最も低いのは⑥老人クラブで3.0%である。

「週4回以上」の高頻度で参加が行われているのは⑧収入のある仕事が13.2%で最も高く、8項目中唯一1割を超えている。このほかは②スポーツ関連のグループが3.5%、③趣味関係のグループが2.4%などいずれも5%以下に留まる。

以降は、①ボランティアのグループ～⑧収入のある仕事までの8つの活動ごとに、属性別傾向の分析を行う。

(2) ボランティアのグループへの参加【必須項目】



ボランティアのグループへの参加状況は、「参加していない」が53.6%で最も高く、次いで「年に数回」が3.0%である。

性別では、男性は「参加していない」が57.0%で、女性の51.7%より約5ポイント高い。

年齢別では、70～74歳、また75～79歳で『月1回以上参加(「週4回以上」～「月1～3回」)』が市平均よりも約1ポイント高く、70～74歳で7.5%、75～79歳で7.7%である。

圏域別では、大名圏域8.8%や、城西圏域8.9%など首里地区に属する圏域で『月1回以上参加』が高い。具体的には、大名圏域は「月1～3回」が4.6%で市平均の2.4%より約2ポイント高く、城西圏域は「週2～3回」が2.7%で全圏域の中で最も高い。一方、「参加していない」が最も高いのは松川圏域の57.5%で、市平均よりも約4ポイント高い。

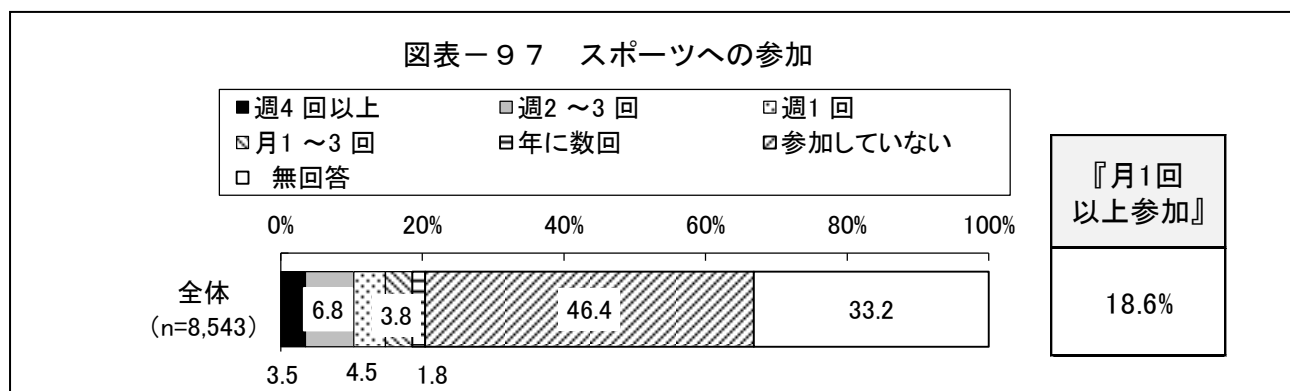
図表－96 基本属性別 ボランティアへの参加

(%)

	調査数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	『再掲』 月1回以上参加
全 体	8,543	1.0	1.6	1.4	2.4	3.0	53.6	37.0	6.4
性別									
男性	3,576	1.0	1.3	1.0	2.2	3.7	57.0	33.8	5.5
女性	4,800	1.1	1.8	1.6	2.6	2.6	51.7	38.5	7.1
年齢別									
65～69歳	2,469	1.1	1.3	1.5	2.0	3.6	64.6	25.9	5.9
70～74歳	2,017	1.2	1.9	1.5	2.9	4.1	55.9	32.4	7.5
75～79歳	1,693	0.9	1.9	1.5	3.4	3.0	47.1	42.2	7.7
80～84歳	1,279	0.9	2.0	1.0	2.0	2.3	44.8	46.9	5.9
85～89歳	665	0.9	0.9	1.1	1.5	0.8	44.8	50.1	4.4
90歳以上	201	1.0	0.5	1.0	1.0	1.0	51.7	43.8	3.5
圏域別									
石嶺	523	0.8	1.1	1.5	2.7	2.9	51.4	39.6	6.1
大名	459	0.7	2.4	1.1	4.6	3.3	52.9	35.1	8.8
城西	516	0.8	2.7	2.1	3.3	2.7	56.8	31.6	8.9
繁多川	415	0.7	1.7	1.7	3.4	2.2	53.5	36.9	7.5
松川	440	1.1	0.7	0.2	1.8	3.6	57.5	35.0	3.8
松島	476	0.8	1.9	1.5	1.5	3.6	54.8	35.9	5.7
識名	540	0.6	1.3	1.3	3.5	3.3	49.3	40.7	6.7
安里	439	1.4	1.1	0.9	1.8	3.0	56.0	35.8	5.2
古波蔵	435	1.1	0.7	1.1	2.5	2.5	54.0	37.9	5.4
国場	465	0.6	1.1	1.7	1.1	3.2	56.1	36.1	4.5
新都心	501	0.8	2.6	1.0	3.0	3.0	54.9	34.7	7.4
安謝	448	1.3	1.8	0.9	1.8	3.3	55.8	35.0	5.8
泊	429	0.9	1.4	2.1	3.7	3.0	53.6	35.2	8.1
若狭	429	1.9	2.3	0.9	1.4	3.7	55.5	34.3	6.5
城岳	455	0.9	0.9	1.5	3.1	2.0	54.7	36.9	6.4
かなぐすく	402	1.2	1.5	1.0	1.2	3.0	55.2	36.8	4.9
小禄	515	1.6	1.7	2.3	1.9	3.7	50.5	38.3	7.5
高良	477	1.9	1.5	1.3	1.3	3.6	51.6	39.0	6.0
認定別									
一般高齢者	7,551	1.1	1.7	1.4	2.6	3.4	54.9	34.9	6.8
要支援認定者	466	0.2	1.1	0.6	1.1	0.2	54.3	42.5	3.0

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(3) スポーツ関連グループへの参加【必須項目】



スポーツ関連のグループへの参加状況は、「参加していない」が46.4%で最も高く、次いで「週2～3回」が6.8%である。

性別では、「週4回以上」から「週1回」までの項目では女性の方が男性よりも高い。一方、「月1～3回」から「参加していない」までの項目では男性の方が女性よりも高い。「参加していない」を除くと、女性は「週2～3回」で7.9%と最も高くなり、男性は「月1～3回」で6.4%と最も高くなる。

年齢別では、年齢階級が上がるほど『月1回以上参加』の割合は低くなる。特に80～84歳と85～89歳の年齢階級間の差は大きく、80～84歳では16.7%であるのに対し、85～89歳では9.2%であり、約7ポイント減少している。

圏域別では、松島圏域は『月1回以上参加』が26.9%と最も高い（「週2～3回」9.9%、「週1回」8.0%）。一方、松島圏域と同様の中圏域に属する他圏域は市平均よりも低い傾向にある（繁多川圏域12.1%、松川圏域15.0%、識名圏域17.4%、古波蔵圏域14.2%、国場圏域14.0%）。また、高良圏域も『月1回以上参加』が高く23.0%、「週1回」が7.1%である。

認定度別では、要支援認定者は『月1回以上参加』が低く3.0%である。

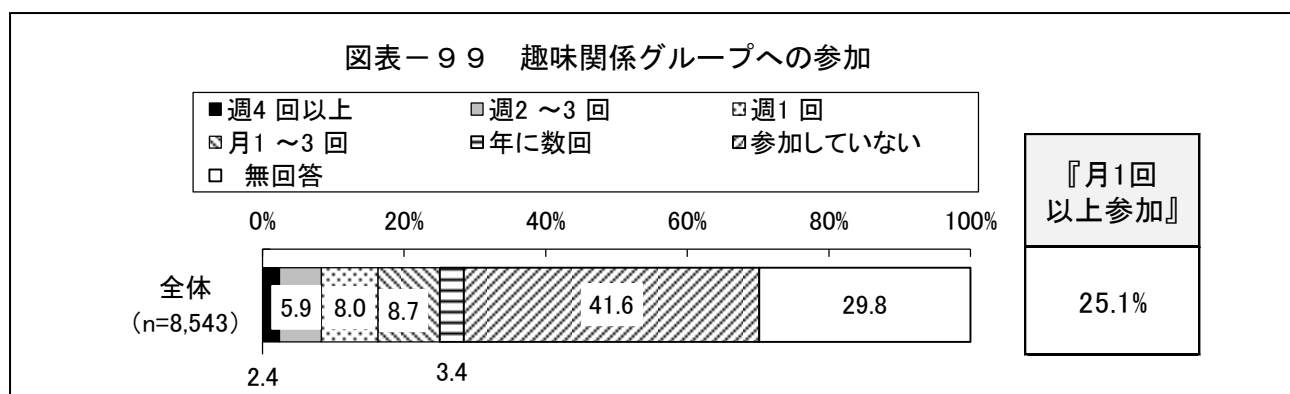
図表－98 基本属性別 スポーツへの参加

(%)

	調査数 (人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	『再掲』 『月1回以上参加』
全 体	8,543	3.5	6.8	4.5	3.8	1.8	46.4	33.2	18.6
性別									
男性	3,576	3.4	5.5	4.3	6.4	3.0	48.4	29.0	19.6
女性	4,800	3.5	7.9	4.7	1.9	1.0	45.5	35.4	18.0
年齢別									
65～69歳	2,469	3.8	8.2	5.5	4.6	2.6	53.8	21.5	22.1
70～74歳	2,017	4.1	7.2	4.6	4.5	1.9	48.4	29.3	20.4
75～79歳	1,693	3.1	7.7	4.6	3.9	1.4	40.8	38.5	19.3
80～84歳	1,279	3.4	5.4	4.9	3.0	1.9	39.9	41.6	16.7
85～89歳	665	2.4	3.8	1.4	1.7	0.6	42.4	47.8	9.3
90歳以上	201	3.0	1.0	2.5	1.5	0.5	49.8	41.8	8.0
圏域別									
石嶺	523	2.1	8.6	4.4	3.6	1.7	43.6	35.9	18.7
大名	459	5.4	7.2	5.9	3.3	2.0	45.8	30.5	21.8
城西	516	3.7	7.6	5.8	4.1	2.5	48.4	27.9	21.2
繁多川	415	1.7	4.8	2.2	3.4	1.0	49.9	37.1	12.1
松川	440	2.5	5.2	3.9	3.4	3.2	51.1	30.7	15.0
松島	476	4.2	9.9	8.0	4.8	1.5	43.9	27.7	26.9
識名	540	2.0	5.4	5.0	5.0	1.5	43.3	37.8	17.4
安里	439	3.9	8.0	2.1	2.7	1.4	46.5	35.5	16.7
古波蔵	435	2.3	4.8	4.1	3.0	0.9	50.1	34.7	14.2
国場	465	1.9	5.4	2.8	3.9	2.4	50.3	33.3	14.0
新都心	501	3.6	7.8	6.2	4.2	2.2	47.7	28.3	21.8
安謝	448	2.2	7.8	3.3	3.3	1.8	48.2	33.3	16.6
泊	429	3.7	6.5	6.3	4.9	2.3	47.1	29.1	21.4
若狭	429	5.1	6.5	4.2	3.0	3.0	47.3	30.8	18.8
城岳	455	4.6	4.6	3.5	4.6	1.1	46.6	34.9	17.3
かなぐすく	402	4.7	8.2	4.2	3.7	1.0	46.3	31.8	20.8
小禄	515	4.7	8.0	2.3	3.7	1.9	44.9	34.6	18.7
高良	477	4.6	6.7	7.1	4.6	2.1	42.8	32.1	23.0
認定別									
一般高齢者	7,551	3.7	7.4	4.8	4.2	2.0	47.1	30.8	20.1
要支援認定者	466	0.0	1.1	1.5	0.4	0.2	53.9	42.9	3.0

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(4) 趣味関係のグループへの参加【必須項目】



趣味関係のグループへの参加状況は、「参加していない」が41.6%で最も高く、次いで「月1～3回」が8.7%、「週1回」が8.0%である。

性別では女性は『月1回以上参加』が26.5%で男性の23.5%より3ポイント高い。また、「参加していない」を除けば男性は「月1～3回」が10.1%で最も高く、女性は「週1回」が9.7%で最も高い。

年齢別では、『月1回以上参加』は75～79歳が30.6%で最も高い。一部の例外はあるものの、『月1回以上参加』は80歳以降の年齢階級では減少していき、80～84歳では25.3%、85～89歳では17.3%と最も低くなり、90歳以上では若干上昇し18.0%である。75～79歳では、「週4回以上」が4.0%、「週2～3回」が8.7%で市平均より高い。

圏域別では、首里地区に属する石嶺圏域、大名圏域、城西圏域で『月1回以上参加』が市平均よりも約3～5ポイント高い(石嶺圏域28.1%、大名圏域28.8%、城西圏域30.4%)。また、繁多川圏域、松川圏域、松島圏域、識名圏域、古波蔵圏域、国場圏域など真和志地区に属する圏域では『月1回以上参加』が低い傾向にあり、松島圏域26.2%を除くすべての圏域で市平均を下回っている(繁多川圏域21.6%、松川圏域21.9%、識名圏域25.0%、古波蔵圏域23.0%、国場圏域21.9%)。

認定度別では、要支援認定者は『月1回以上参加』が低く、要支援認定者8.3%、一般高齢者26.9%である。

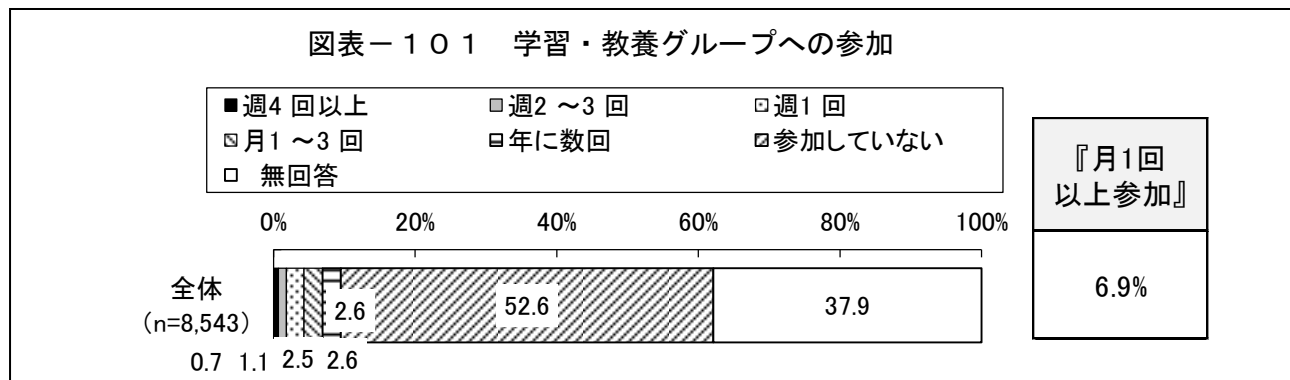
図表－１００ 基本属性別 趣味関係グループへの参加

(%)

	調査数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参加 して い ない	無 回 答	『再掲』 『月1回以上参加』
全 体	8,543	2.4	5.9	8.0	8.7	3.4	41.6	29.8	25.0
性別									
男性	3,576	2.3	5.2	5.9	10.1	4.6	44.6	27.2	23.5
女性	4,800	2.4	6.5	9.7	7.9	2.6	39.8	31.0	26.5
年齢別									
65～69歳	2,469	1.5	5.2	8.5	8.7	4.4	50.3	21.4	23.9
70～74歳	2,017	2.4	5.7	9.0	9.2	3.9	43.6	26.2	26.3
75～79歳	1,693	4.0	8.7	8.1	9.8	2.8	34.4	32.2	30.6
80～84歳	1,279	2.3	5.9	8.2	8.9	3.1	34.4	37.1	25.3
85～89歳	665	1.8	4.1	4.8	6.6	2.4	37.0	43.3	17.3
90歳以上	201	2.5	3.0	4.0	8.5	0.5	46.3	35.3	18.0
圏域別									
石嶺	523	2.7	6.7	8.8	9.9	3.1	38.0	30.8	28.1
大名	459	2.0	6.1	10.9	9.8	5.4	39.7	26.1	28.8
城西	516	2.3	8.1	9.3	10.7	3.7	40.1	25.8	30.4
繁多川	415	3.1	5.3	6.7	6.5	2.9	43.4	32.0	21.6
松川	440	2.5	6.6	5.5	7.3	5.0	43.6	29.5	21.9
松島	476	1.3	6.5	7.1	11.3	2.7	42.6	28.4	26.2
識名	540	2.0	5.6	8.7	8.7	3.9	37.6	33.5	25.0
安里	439	2.7	5.2	8.7	9.3	2.1	42.4	29.6	25.9
古波蔵	435	2.5	6.2	6.0	8.3	1.4	44.8	30.8	23.0
国場	465	1.5	4.1	7.1	9.2	4.1	44.9	29.0	21.9
新都心	501	2.0	7.2	9.0	8.0	3.8	40.3	29.7	26.2
安謝	448	2.2	4.2	10.5	7.4	2.5	45.1	28.1	24.3
泊	429	2.1	5.8	9.3	10.5	3.0	43.1	26.1	27.7
若狭	429	3.0	5.1	7.0	7.9	4.0	43.1	29.8	23.0
城岳	455	2.6	7.0	8.6	7.7	5.1	42.0	27.0	25.9
かなぐすく	402	2.0	4.0	6.0	9.2	3.2	45.0	30.6	21.2
小祿	515	2.5	5.6	7.8	9.3	3.3	40.6	30.9	25.2
高良	477	4.0	7.3	6.9	7.8	3.8	41.1	29.1	26.0
認定別									
一般高齢者	7,551	2.5	6.4	8.6	9.4	3.7	42.0	27.5	26.9
要支援認定者	466	1.3	2.1	2.1	2.8	1.3	50.9	39.5	8.3

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(5) 学習・教養のグループへの参加【必須項目】



学習・教養グループへの参加状況は、「参加していない」が52.6%で最も高く、「年に数回」、「月1～3回」が2.6%、「週1回」が2.5%である。

性別では、「参加していない」を除くすべての項目で女性は男性よりも高い(『月1回以上参加』女性8.5%、男性4.9%)。学習・教養グループへ参加している女性は、「週1回」で最も多くなり3.3%である。男性では「月1～3回」、「年に数回」で2.4%と最も高い。

圏域別では、泊圏域は「年に数回」から「週2～3回」のすべての項目で市平均を上回っており、『月1回以上参加』でも8.9%と市平均より約2ポイント高い。また城西圏域で「週1回」が4.7%と市平均よりも約2ポイント高い。

認定度別では、要支援認定者は『月1回以上参加』が2.8%で、一般高齢者7.5%より約5ポイント低い。

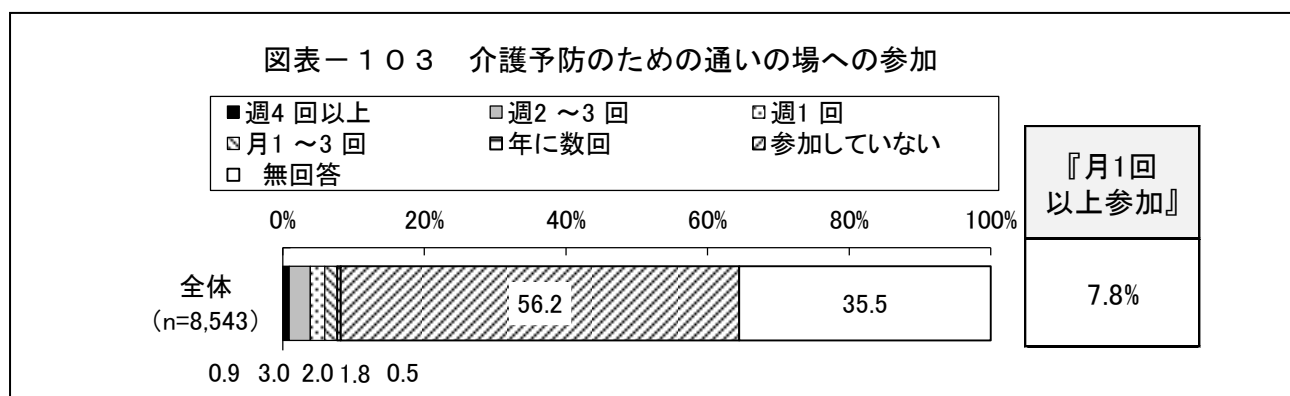
図表－１０２ 基本属性別 学習・教養グループへの参加

(%)

	調査数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参加 して いない	無 回 答	『再掲』 『月1回以上参加』
全 体	8,543	0.7	1.1	2.5	2.6	2.6	52.6	37.9	6.9
性別 男性	3,576	0.4	0.7	1.4	2.4	2.4	58.2	34.4	4.9
性別 女性	4,800	0.8	1.5	3.3	2.9	2.8	49.1	39.6	8.5
年齢別 65～69歳	2,469	0.6	0.9	3.1	2.8	3.5	62.4	26.7	7.4
年齢別 70～74歳	2,017	0.6	1.1	2.8	2.7	3.0	56.0	33.6	7.2
年齢別 75～79歳	1,693	0.6	1.4	2.2	3.7	2.4	46.1	43.5	7.9
年齢別 80～84歳	1,279	0.9	1.5	1.8	2.1	2.0	44.3	47.5	6.3
年齢別 85～89歳	665	0.6	1.1	1.5	1.4	1.1	44.2	50.2	4.6
年齢別 90歳以上	201	1.0	1.5	2.0	1.0	0.5	50.2	43.8	5.5
圏域別 石嶺	523	0.8	1.5	1.5	3.3	2.9	49.7	40.3	7.1
圏域別 大名	459	0.4	0.4	2.0	4.1	2.8	52.7	37.5	6.9
圏域別 城西	516	0.6	0.6	4.7	2.3	3.5	55.0	33.3	8.2
圏域別 繁多川	415	0.7	1.2	1.9	2.2	1.4	51.3	41.2	6.0
圏域別 松川	440	1.1	1.1	1.6	3.6	2.0	56.1	34.3	7.4
圏域別 松島	476	1.1	1.1	2.9	2.1	3.4	53.4	36.1	7.2
圏域別 識名	540	0.4	1.1	2.8	1.5	2.2	50.6	41.5	5.8
圏域別 安里	439	0.2	2.1	2.1	2.3	2.3	54.4	36.7	6.7
圏域別 古波蔵	435	0.9	1.6	2.5	2.5	0.9	54.0	37.5	7.5
圏域別 国場	465	0.2	1.3	1.9	1.9	2.8	55.1	36.8	5.3
圏域別 新都心	501	0.2	0.2	2.8	3.8	4.2	52.1	36.7	7.0
圏域別 安謝	448	0.9	1.1	2.9	2.5	2.0	55.4	35.3	7.4
圏域別 泊	429	0.5	1.4	3.5	3.5	4.4	51.7	35.0	8.9
圏域別 若狭	429	1.2	0.7	1.2	3.3	2.6	54.8	36.4	6.4
圏域別 城岳	455	1.1	1.5	2.6	2.9	3.3	52.1	36.5	8.1
圏域別 かなぐすく	402	0.7	1.2	2.5	1.5	1.2	56.5	36.3	5.9
圏域別 小禄	515	0.6	2.1	3.1	2.5	2.5	50.1	39.0	8.3
圏域別 高良	477	0.6	0.8	1.9	2.3	2.3	52.2	39.8	5.6
認定別 一般高齢者	7,551	0.7	1.2	2.7	2.9	2.8	54.0	35.8	7.5
認定別 要支援認定者	466	0.2	0.6	1.1	0.9	1.3	52.8	43.1	2.8

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

(6) 介護予防のための通いの場への参加【必須項目】



地域ふれあいデイサービスなどの介護予防のための通いの場への参加状況は「参加していない」が56.2%で最も高く、次いで「週2～3回」3.0%である。

性別では、「週4回以上」から「月1～3回」までの項目において、女性は男性よりも高く、『月1回以上参加』では女性10.6%、男性3.6%である。また、「参加していない」は男性61.7%、女性52.9%である。

年齢別では、概ね年齢階級があがるほど参加率も上がる傾向にあり、75歳以上の年齢階級で一度、急激に参加率が高まり(70～74歳『月1回以上参加』3.4%、75～79歳『月1回以上参加』10.4%)、90歳以上の年齢階級で再び参加率が高まる(85～89歳『月1回以上参加』18.5%、90歳以上『月1回以上参加』26.9%)。

圏域別では、かなぐすく圏域と高良圏域の小禄地区に属する2つの圏域において『月1回以上参加』の割合が市平均よりも約3ポイント高く、かなぐすく圏域10.6%、高良圏域10.2%である。

認定度別では、要支援認定者は「参加していない」と「年に数回」を除くすべての項目で一般高齢者よりも高く、特に「週2～3回」では29.0%で一般高齢者1.4%よりも約27ポイント高い。

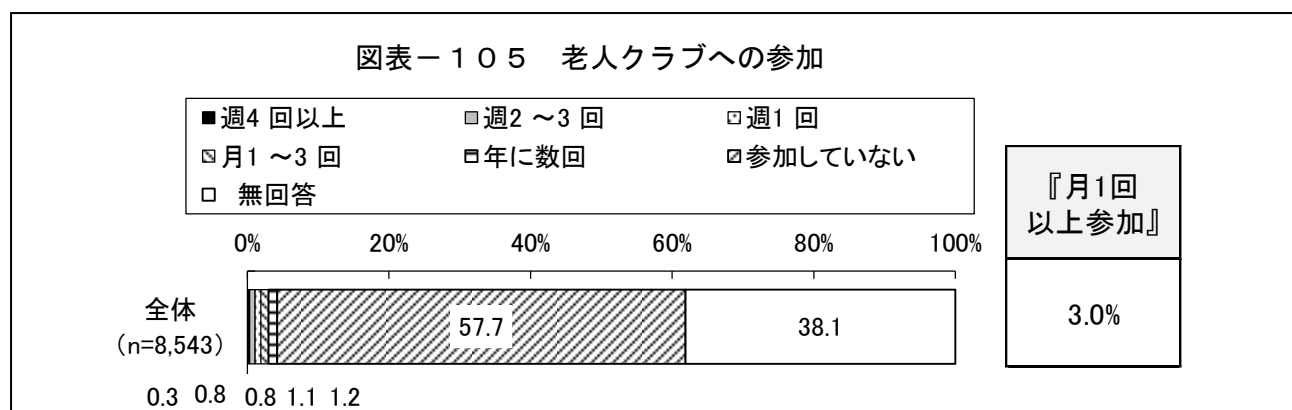
図表－104 基本属性別 介護予防のための通いの場への参加

(%)

		調査数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参加 して い ない	無 回 答	『再掲』 月1回以上参加
全 体		8,543	0.9	3.0	2.0	1.8	0.5	56.2	35.5	7.7
性 別	男性	3,576	0.4	1.6	1.1	0.5	0.5	61.7	34.1	3.6
	女性	4,800	1.2	4.0	2.7	2.7	0.5	52.9	35.9	10.6
年 齢 別	65～69歳	2,469	0.4	0.8	0.5	0.6	0.4	70.4	27.0	2.3
	70～74歳	2,017	0.3	1.3	0.9	0.9	0.6	62.2	33.8	3.4
	75～79歳	1,693	1.1	3.8	2.2	3.3	0.4	49.0	40.2	10.4
	80～84歳	1,279	2.1	4.1	3.7	2.8	0.7	43.9	42.7	12.7
	85～89歳	665	1.4	9.2	5.6	2.3	0.5	39.1	42.1	18.5
	90歳以上	201	1.5	12.4	8.5	4.5	1.0	40.8	31.3	26.9
圏 域 別	石嶺	523	0.4	2.5	1.5	2.5	0.2	55.4	37.5	6.9
	大名	459	1.3	4.1	2.0	2.4	0.4	54.2	35.5	9.8
	城西	516	0.6	2.9	0.8	1.6	0.4	61.6	32.2	5.9
	繁多川	415	1.4	2.9	1.4	2.2	0.2	52.5	39.3	7.9
	松川	440	0.5	3.4	0.9	0.9	0.2	60.7	33.4	5.7
	松島	476	0.2	2.9	1.9	0.8	0.4	58.0	35.7	5.8
	識名	540	1.3	3.0	2.8	0.9	0.7	53.9	37.4	8.0
	安里	439	0.5	2.3	1.6	1.4	0.0	57.9	36.4	5.8
	古波蔵	435	1.8	2.3	2.3	1.4	0.7	57.0	34.5	7.8
	国場	465	1.3	2.6	2.6	2.6	0.9	58.1	32.0	9.1
	新都心	501	1.4	2.8	1.2	1.4	1.4	57.9	33.9	6.8
	安謝	448	0.4	2.9	3.3	2.2	0.7	58.5	31.9	8.8
	泊	429	0.5	1.9	2.6	1.4	0.7	59.7	33.3	6.4
	若狭	429	0.5	2.8	2.3	3.3	0.5	56.9	33.8	8.9
	城岳	455	0.4	2.9	2.6	2.0	0.4	56.9	34.7	7.9
	かなぐすく	402	1.2	4.2	2.5	2.7	0.2	56.0	33.1	10.6
	小禄	515	1.0	3.5	1.7	0.8	0.6	53.4	39.0	7.0
	高良	477	1.0	4.0	2.5	2.7	0.4	53.2	36.1	10.2
認 定 別	一般高齢者	7,551	0.7	1.4	1.4	1.7	0.5	59.3	35.0	5.2
	要支援認定者	466	3.4	29.0	12.4	2.6	0.4	34.1	18.0	47.4

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(7) 老人クラブへの参加【必須項目】



老人クラブへの参加状況は、「参加していない」が57.7%で最も高く、次いで「年に数回」1.2%、「月1～3回」1.1%である。

性別では、男性は女性よりも「参加していない」が高く、男性61.9%、女性55.5%である。『月1回以上参加』では男性2.5%、女性3.4%であり、男女間で約1ポイントの差がある。

年齢別では、『月1回以上参加』は75歳と85歳を境に参加率が上昇しており、約3ポイント増加している(70～74歳1.74%、75～79歳4.5%、80～84歳4.6%、85～89歳7.5%)。また、90歳以上では5.5%とやや減少している。

圏域別では、小禄地区に属するかなぐすく圏域、小禄圏域、高良圏域において『月1回以上参加』の割合が市平均よりも約2ポイント高く、かなぐすく圏域4.4%、小禄圏域5.1%、高良圏域5.1%である。一方、本庁地区に属する安里圏域、新都心圏域、安謝圏域、泊圏域、若狭圏域、城岳圏域は『月1回以上参加』が低い傾向にあり、安里圏域1.2%、新都心圏域1.8%、安謝圏域1.8%、泊圏域1.6%、若狭圏域2.8%、城岳圏域2.6%である。

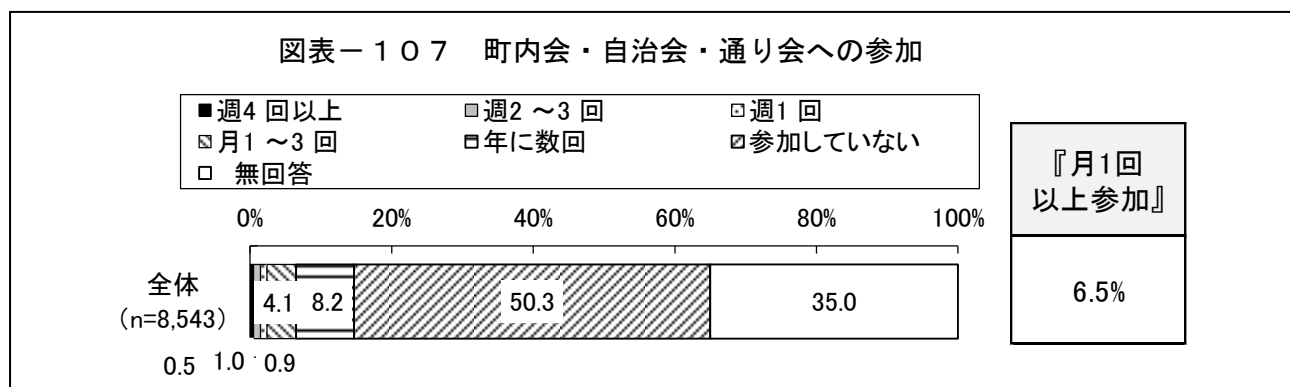
図表－106 基本属性別 老人クラブへの参加

(%)

		調査数 (人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	『再掲』 『月1回以上参加』
全 体		8,543	0.3	0.8	0.8	1.1	1.2	57.7	38.1	3.0
性別	男性	3,576	0.4	0.6	0.5	1.0	1.1	61.9	34.5	2.5
	女性	4,800	0.3	0.9	0.9	1.3	1.2	55.5	39.9	3.4
年齢別	65～69歳	2,469	0.2	0.0	0.4	0.3	0.2	71.0	27.9	0.9
	70～74歳	2,017	0.0	0.6	0.5	0.6	0.7	62.7	34.7	1.7
	75～79歳	1,693	0.4	1.4	0.9	1.8	2.0	50.4	43.1	4.5
	80～84歳	1,279	0.4	1.3	1.2	1.7	2.0	46.1	47.3	4.6
	85～89歳	665	1.1	1.5	2.0	2.9	1.5	43.6	47.5	7.5
	90歳以上	201	1.0	2.0	1.0	1.5	3.5	50.2	40.8	5.5
圏域別	石嶺	523	0.0	0.4	0.4	0.4	0.6	57.2	41.1	1.2
	大名	459	0.2	1.3	1.3	1.7	1.1	57.7	36.6	4.5
	城西	516	0.0	0.8	0.6	2.1	1.0	61.4	34.1	3.5
	繁多川	415	0.0	1.7	1.0	1.2	1.0	55.2	40.0	3.9
	松川	440	0.2	0.5	0.0	0.5	0.2	62.3	36.4	1.2
	松島	476	1.1	1.3	1.3	1.1	1.3	57.6	36.6	4.8
	識名	540	0.7	1.3	0.9	1.3	0.6	54.1	41.1	4.2
	安里	439	0.2	0.0	0.5	0.5	0.5	58.8	39.6	1.2
	古波蔵	435	0.0	0.7	0.9	1.1	0.7	58.4	38.2	2.7
	国場	465	0.0	0.6	0.4	1.7	2.8	60.0	34.4	2.7
	新都心	501	0.0	0.6	0.4	0.8	0.8	60.7	36.7	1.8
	安謝	448	0.7	0.0	0.0	1.1	0.4	60.9	36.8	1.8
	泊	429	0.2	0.2	0.0	1.2	1.6	60.8	35.9	1.6
	若狭	429	0.7	0.0	1.6	0.5	0.2	59.9	37.1	2.8
	城岳	455	0.2	0.9	1.1	0.4	0.0	59.8	37.6	2.6
	かなぐすく	402	0.7	1.5	1.0	1.2	2.2	57.5	35.8	4.4
	小禄	515	0.4	1.6	1.4	1.7	1.4	54.6	39.0	5.1
	高良	477	0.2	1.3	1.5	2.1	4.8	53.7	36.5	5.1
認定別	一般高齢者	7,551	0.3	0.8	0.7	1.2	1.2	59.6	36.0	3.0
	要支援認定者	466	0.0	0.6	1.3	0.4	0.4	54.1	43.1	2.3

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(8) 町内会・自治会・通り会への参加【必須項目】



町内会・自治会・通り会への参加状況は、「参加していない」が50.3%で最も高く、次いで「年に数回」が8.2%、「月1～3回」が4.1%である。

性別では、男性は女性よりも「年に数回」、「参加していない」が高い（「年に数回」は男性9.3%、女性7.5%、「参加していない」は男性53.0%、女性49.0%）。

年齢別では、『月1回以上参加』は75歳以上で参加率が高く、90歳以上ではやや減少する（75～79歳7.8%、80～84歳8.5%、85～89歳8.3%、90歳以上6.5%）。また、80歳以上の年齢階級では、80歳未満の年齢階級に比べ、「週1回」以上の割合がやや高い。

圏域別では、『月1回以上参加』は首里地区に属する石嶺圏域7.2%、大名圏域11.3%、城西圏域9.6%、また、小禄地区に属するかなぐすく圏域10.7%、小禄圏域6.7%、高良圏域9.2%で高い。大名圏域と城西圏域は「月1～3回」で約3ポイント、「年に数回」で約3～5ポイント他圏域よりも高い。かなぐすく圏域は「週4回以上」1.2%、「週2～3回」2.5%で他圏域と比較し最も高く、高良圏域は「週2～3回」で2.3%とかなぐすく圏域に次いで高い。

認定度別では、要支援認定者は『月1回以上参加』が5.1%で、一般高齢者6.7%より低い。

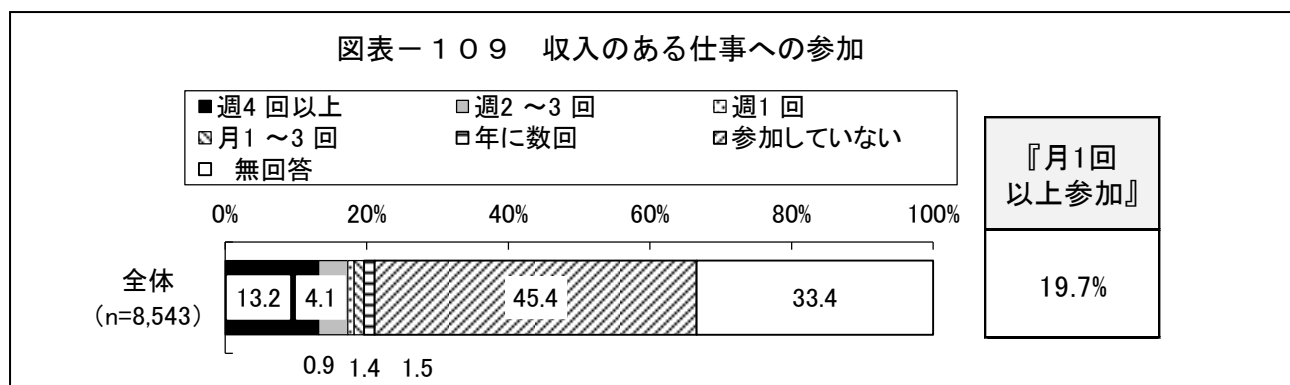
図表－１０８ 基本属性別 町内会・自治会・通り会への参加

(%)

		調査数 (人)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	「再掲」 「月1回以上参加」
全 体		8,543	0.5	1.0	0.9	4.1	8.2	50.3	35.0	6.5
性 別	男性	3,576	0.5	0.7	0.6	4.3	9.3	53.0	31.5	6.1
	女性	4,800	0.5	1.2	1.1	4.0	7.5	49.0	36.7	6.8
年 齢 別	65～69歳	2,469	0.3	0.5	0.3	3.4	7.7	62.4	25.4	4.5
	70～74歳	2,017	0.3	0.8	0.7	4.4	8.2	54.2	31.3	6.2
	75～79歳	1,693	0.6	1.5	0.9	4.8	8.6	43.4	40.1	7.8
	80～84歳	1,279	0.8	1.5	1.5	4.7	9.8	39.6	42.1	8.5
	85～89歳	665	1.1	1.2	1.8	4.2	7.8	39.2	44.7	8.3
	90歳以上	201	0.5	1.5	3.5	1.0	6.0	44.8	42.8	6.5
圏 域 別	石嶺	523	0.4	0.6	0.8	5.4	9.2	47.0	36.7	7.2
	大名	459	1.1	1.5	1.7	7.0	13.5	43.8	31.4	11.3
	城西	516	0.6	1.2	1.0	6.8	11.4	50.0	29.1	9.6
	繁多川	415	0.7	0.2	0.7	3.1	9.9	47.5	37.8	4.7
	松川	440	0.5	0.7	0.2	1.6	4.5	57.7	34.8	3.0
	松島	476	0.2	1.1	1.5	3.2	8.0	50.8	35.3	6.0
	識名	540	0.4	0.4	1.1	4.1	6.3	48.5	39.3	6.0
	安里	439	0.5	0.7	0.5	2.1	5.0	54.4	36.9	3.8
	古波蔵	435	0.2	1.4	1.4	3.0	6.0	52.9	35.2	6.0
	国場	465	0.6	0.9	0.9	4.7	9.0	52.3	31.6	7.1
	新都心	501	0.6	1.0	0.4	2.4	6.4	55.1	34.1	4.4
	安謝	448	0.4	0.2	0.9	3.3	10.0	52.9	32.1	4.8
	泊	429	0.5	0.7	0.7	2.8	3.5	56.4	35.4	4.7
	若狭	429	0.7	1.6	0.7	4.4	6.8	52.7	33.1	7.4
	城岳	455	0.0	0.9	0.4	4.0	5.1	53.4	36.3	5.3
	かなぐすく	402	1.2	2.5	1.5	5.5	10.0	48.5	30.8	10.7
	小禄	515	0.4	0.8	0.6	4.9	10.7	46.4	36.3	6.7
	高良	477	0.4	2.3	1.3	5.2	13.2	45.7	31.9	9.2
認 定 別	一般高齢者	7,551	0.5	1.0	0.8	4.4	8.7	51.7	32.9	6.7
	要支援認定者	466	0.6	1.5	1.1	1.9	3.2	51.3	40.3	5.1

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(9) 収入のある仕事への参加【必須項目】



収入のある仕事への参加状況は「参加していない」が45.4%で最も高く、次いで「週4回以上」が13.2%、「週2～3回」が4.1%である。

性別では、『月1回以上参加』は男性23.8%、女性17.0%で男性の方が約7ポイント高い。また、男性は「週1回」と「参加していない」を除くすべての項目で女性より高く、特に「週4回以上」では男性16.7%、女性10.8%で約6ポイントの差がある。

年齢別では、年齢階級が低いほど『月1回以上参加』が高く、その後、年齢階級が上がるごとに大きく減少し、80歳を超えたところから減少幅が小さくなる(65～69歳36.7%、70～74歳24.4%、75～79歳10.1%)。

圏域別では、『月1回以上参加』は本庁地区に属する安里圏域22.6%、新都心圏域23.8%、泊圏域24.4%、若狭圏域21.4%、城岳圏域23.6%などで市平均よりも高い。また、城岳圏域は「週4回以上」が市平均よりも約3ポイント高く16.5%である。一方、城西圏域は「参加していない」が51.4%と市平均よりも約6ポイント高い。

認定度別では、要支援認定者は『月1回以上』が1.0%と、一般高齢者21.5%よりも約20ポイント低い。

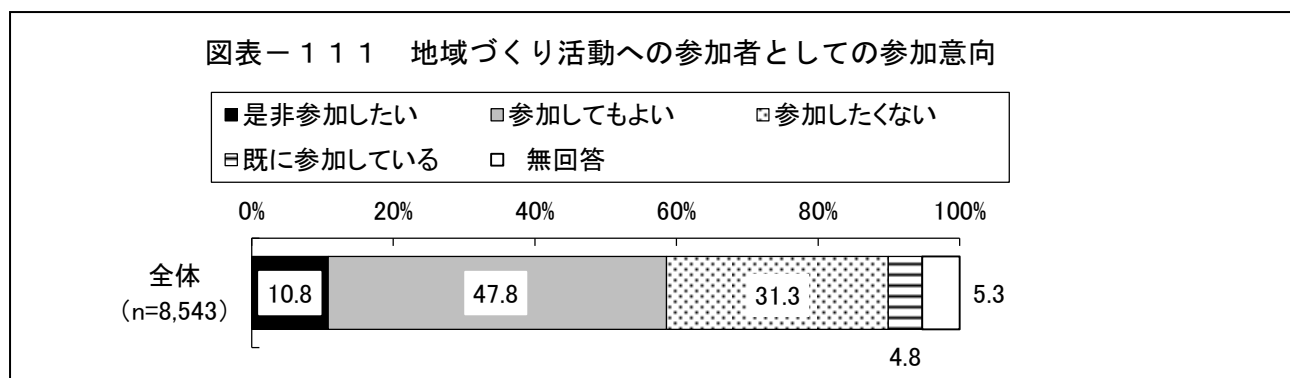
図表－110 基本属性別 収入のある仕事への参加

(%)

		調査数 (人)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	『月1回以上参加』 『再掲』
全 体		8,543	13.2	4.1	0.9	1.4	1.5	45.4	33.4	19.6
性別	男性	3,576	16.7	4.4	0.9	1.8	2.0	44.1	30.0	23.8
	女性	4,800	10.8	4.0	1.0	1.2	1.1	47.0	35.0	17.0
年齢別	65～69歳	2,469	26.8	7.1	1.3	1.5	2.0	43.4	17.9	36.7
	70～74歳	2,017	15.2	6.0	0.9	2.3	1.7	46.2	27.7	24.4
	75～79歳	1,693	5.7	2.4	0.9	1.1	1.4	47.5	41.1	10.1
	80～84歳	1,279	2.2	0.8	0.8	0.8	1.1	47.1	47.3	4.6
	85～89歳	665	2.3	0.6	0.5	0.9	0.6	44.1	51.1	4.3
	90歳以上	201	0.0	0.5	0.5	0.0	0.0	54.2	44.8	1.0
圏域別	石嶺	523	13.2	2.9	1.0	1.1	1.9	43.8	36.1	18.2
	大名	459	11.3	4.4	1.5	1.1	2.0	47.3	32.5	18.3
	城西	516	10.3	4.5	1.4	2.1	1.4	51.4	29.1	18.3
	繁多川	415	10.8	4.6	1.2	1.4	1.2	45.1	35.7	18.0
	松川	440	12.0	4.3	0.7	1.1	2.0	48.9	30.9	18.1
	松島	476	15.3	3.4	0.6	1.3	0.8	46.0	32.6	20.6
	識名	540	15.2	3.5	0.7	1.5	0.7	41.9	36.5	20.9
	安里	439	15.0	3.9	1.6	2.1	1.1	45.3	31.0	22.6
	古波蔵	435	12.9	2.8	0.7	2.1	2.3	43.4	35.9	18.5
	国場	465	12.0	5.2	0.4	0.9	1.5	48.0	32.0	18.5
	新都心	501	15.4	4.8	1.2	2.4	1.8	43.9	30.5	23.8
	安謝	448	13.2	2.9	0.7	1.6	1.8	48.7	31.3	18.4
	泊	429	15.6	5.8	1.4	1.6	2.3	42.7	30.5	24.4
	若狭	429	14.2	4.9	0.7	1.6	1.4	47.1	30.1	21.4
	城岳	455	16.5	4.0	1.1	2.0	1.1	43.7	31.6	23.6
	かなぐすく	402	12.2	4.2	0.2	0.7	1.2	46.3	35.1	17.3
	小禄	515	12.4	5.4	0.6	1.0	0.8	44.5	35.3	19.4
	高良	477	11.9	4.2	1.3	0.4	1.9	47.4	32.9	17.8
認定別	一般高齢者	7,551	14.4	4.6	1.0	1.5	1.6	45.9	31.0	21.5
	要支援認定者	466	0.4	0.4	0.0	0.2	0.2	54.5	44.2	1.0

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(10) 地域づくり活動への参加者としての参加意向【必須項目】



地域づくり活動への参加者としての参加意向は「参加してもよい」が 47.8%で最も高く、次いで「参加したくない」が 31.3%である。

性別では、「是非参加したい」は女性 13.0%、男性 8.0%で女性の方が高い。また、「参加したくない」については男性 35.0%、女性 28.7%で男性の方が高い。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「参加してもよい」の割合は減少する。また、「参加したくない」については 90 歳以上で大きく増加する傾向にあり、85～89 歳では 34.1%であるのに対し、90 歳以上では 49.3%と約 15 ポイント増加している。

圏域別では、「参加したくない」は松川圏域 38.9%で最も高く、市平均よりも約 7 ポイント高い。次いで安里圏域の 35.8%である。「既に参加している」は大名圏域の 7.6%が最も高く、市平均よりも約 3 ポイント高い。

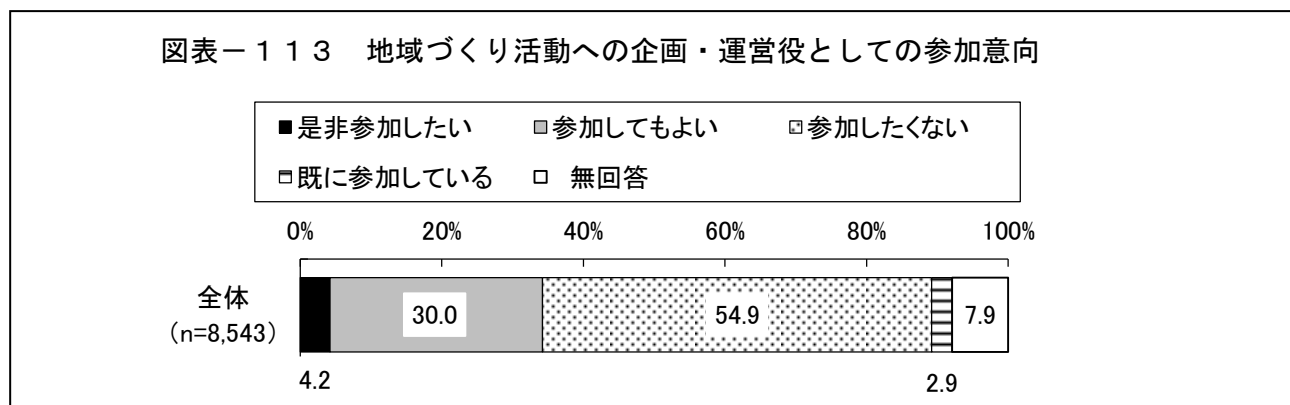
認定度別では、要支援認定者は「参加したくない」が 44.4%と、市平均よりも約 12 ポイント高い。

図表－112 基本属性別 地域づくり活動への参加者としての参加意向
(%)

		調査 数 (人)	是非 参加 したい	参加 しても よい	参加 した くない	既 に 参加 して いる	無 回 答
全 体		8,543	10.8	47.8	31.3	4.8	5.3
性別	男性	3,576	8.0	48.5	35.0	4.3	4.3
	女性	4,800	13.0	47.6	28.7	5.1	5.6
年齢別	65～69歳	2,469	9.8	52.2	31.6	3.2	3.2
	70～74歳	2,017	10.9	51.3	30.8	3.5	3.6
	75～79歳	1,693	13.1	46.8	28.8	6.0	5.3
	80～84歳	1,279	11.3	44.3	30.7	7.1	6.6
	85～89歳	665	9.0	41.1	34.1	6.2	9.6
	90歳以上	201	7.5	24.9	49.3	9.0	9.5
圏域別	石嶺	523	13.4	48.4	29.8	3.3	5.2
	大名	459	11.8	49.0	27.2	7.6	4.4
	城西	516	9.3	47.7	34.1	4.8	4.1
	繁多川	415	9.2	44.6	33.7	4.3	8.2
	松川	440	8.6	43.2	38.9	5.0	4.3
	松島	476	9.2	50.4	29.6	6.1	4.6
	識名	540	10.4	45.9	32.6	5.4	5.7
	安里	439	10.9	46.9	35.8	3.2	3.2
	古波蔵	435	9.7	48.5	31.7	5.3	4.8
	国場	465	11.4	47.7	31.6	3.7	5.6
	新都心	501	11.6	51.9	29.1	2.6	4.8
	安謝	448	11.8	47.5	30.6	4.7	5.4
	泊	429	10.5	50.1	31.5	3.7	4.2
	若狭	429	10.7	47.1	31.2	5.4	5.6
	城岳	455	12.1	47.3	32.1	3.1	5.5
	かなぐすく	402	11.4	47.3	29.6	5.0	6.7
	小禄	515	10.5	49.7	27.8	6.2	5.8
	高良	477	12.6	49.9	27.9	6.5	3.1
認定別	一般高齢者	7,551	11.0	49.3	30.6	4.9	4.2
	要支援認定者	466	9.7	34.1	44.4	3.2	8.6

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(11) 地域づくり活動への企画・運営役としての参加意向【必須項目】



地域づくり活動への企画・運営(お世話役)としての参加意向は、「参加したくない」が 54.9%で最も高い。次いで、「参加してもよい」が 30.0%である。

性別では、「参加してもよい」は男性で 32.8%、女性 28.0%で男性の方が高い。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「参加してもよい」の割合が減少していく。「参加したくない」については 90 歳以上で大きく増加し、85～89 歳では 56.8%であるのに対し、90 歳以上では 69.7%と約 13 ポイント増加している。

圏域別では、「是非参加したい」は安謝圏域の 6.7%が最も高く、市平均よりも約 2.5 ポイント高い。次いで若狭圏域の 6.3%である。「参加したくない」は松川圏域の 61.6%が最も高く、市平均よりも約 6.5 ポイント高い。

認定度別では、要支援認定者は市平均と比較し「参加したくない」が 66.5%と約 11 ポイント高い。

図表－114 基本属性別 地域づくり活動への企画・運営役としての参加意向

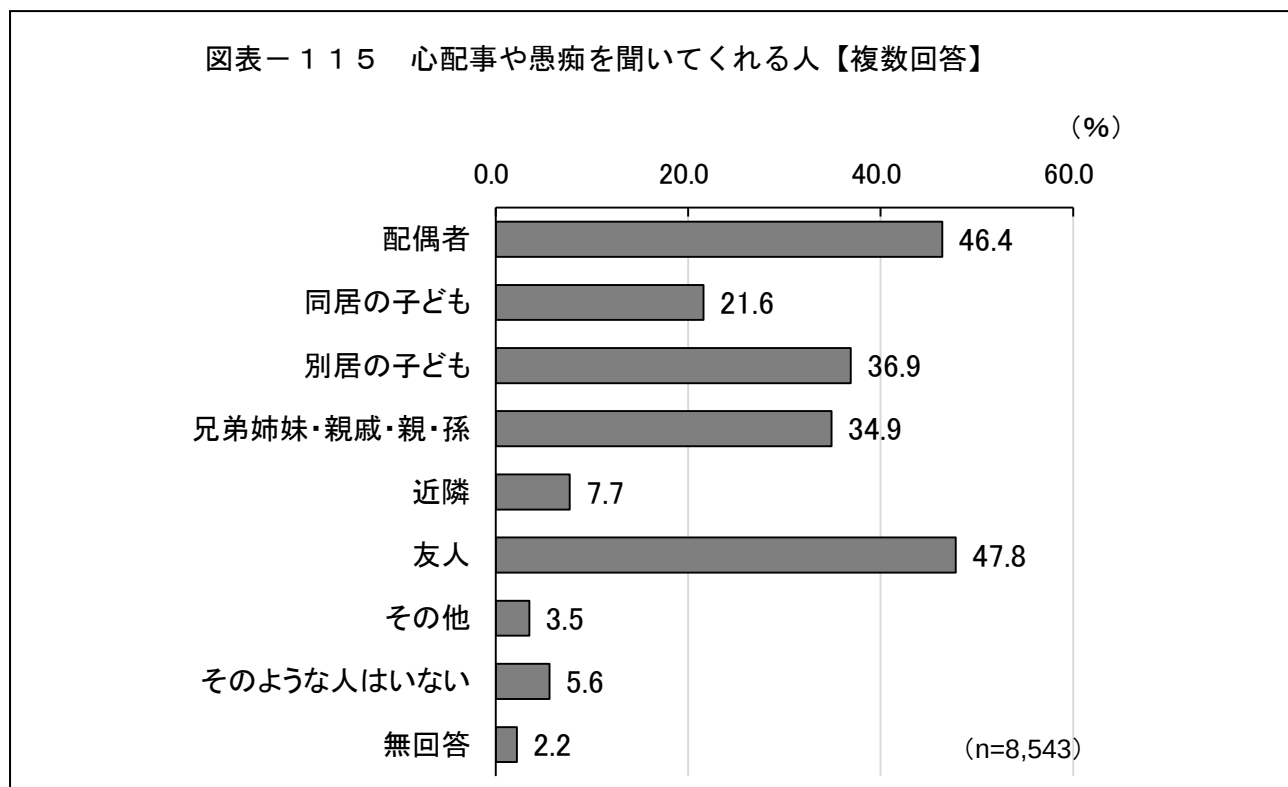
(%)

		調査数 (人)	是非 参加した	参加 してもよい	参加 したくない	既 に参加 している	無 回答
全 体		8,543	4.2	30.0	54.9	2.9	7.9
性 別	男性	3,576	4.0	32.8	54.7	3.1	5.3
	女性	4,800	4.3	28.0	55.5	2.8	9.4
年 齢 別	65～69歳	2,469	4.1	33.7	55.6	2.0	4.6
	70～74歳	2,017	4.6	33.1	54.7	2.2	5.5
	75～79歳	1,693	4.3	29.4	53.5	4.5	8.3
	80～84歳	1,279	3.4	27.8	53.8	3.8	11.2
	85～89歳	665	4.5	21.4	56.8	3.2	14.1
	90歳以上	201	3.5	10.9	69.7	2.5	13.4
圏 域 別	石嶺	523	5.7	31.2	52.8	1.9	8.4
	大名	459	5.7	29.4	54.2	4.1	6.5
	城西	516	1.9	32.2	56.4	2.9	6.6
	繁多川	415	1.9	28.0	58.1	1.9	10.1
	松川	440	4.1	25.7	61.6	3.0	5.7
	松島	476	2.1	31.5	55.9	4.2	6.3
	識名	540	3.3	29.4	54.8	3.0	9.4
	安里	439	3.2	32.1	56.5	1.8	6.4
	古波蔵	435	3.0	32.6	53.3	2.5	8.5
	国場	465	3.9	24.7	60.2	2.8	8.4
	新都心	501	5.2	29.1	55.3	2.4	8.0
	安謝	448	6.7	30.4	52.2	2.5	8.3
	泊	429	4.7	28.4	58.0	2.6	6.3
	若狭	429	6.3	28.9	54.1	4.0	6.8
	城岳	455	4.8	31.6	54.1	1.3	8.1
	かなぐすく	402	4.0	30.3	53.7	3.0	9.0
	小祿	515	4.3	32.2	50.5	3.7	9.3
	高良	477	4.4	33.3	52.0	4.6	5.7
認 定 別	一般高齢者	7,551	4.3	31.0	54.8	3.1	6.8
	要支援認定者	466	2.8	21.5	66.5	1.5	7.7

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

7. たすけあいについて【問6】

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人【必須項目】



心配事や愚痴を聞いてくれる人については「友人」が47.8%で最も高く、次いで「配偶者」が46.4%、「別居の子ども」36.9%である。

性別では、男性は「配偶者」63.4%が最も高く、次いで「友人」35.6%、「別居の子ども」26.8%である。女性は「友人」57.3%が最も高く、次いで「別居の子ども」44.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」44.3%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「配偶者」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」の割合が減少する傾向にある。一方、「同居の子ども」、「別居の子ども」については年齢階級が上がるほど、増加していく。

圏域別では、石嶺圏域、大名圏域、城西圏域などの首里地区の圏域は「配偶者」が市平均よりも約5ポイント高く、石嶺圏域52.0%、大名圏域52.5%、城西圏域51.9%である。一方、松川圏域、識名圏域、古波蔵圏域などの真和志地区に属するいくつかの圏域は「配偶者」が約7ポイント低く、松川圏域40.9%、識名圏域37.0%、古波蔵圏域38.9%である。

認定度別では、要支援認定者は「別居の子ども」で市平均よりも約5ポイント高く、「配偶者」、「友人」の項目で市平均より約20ポイント低い。

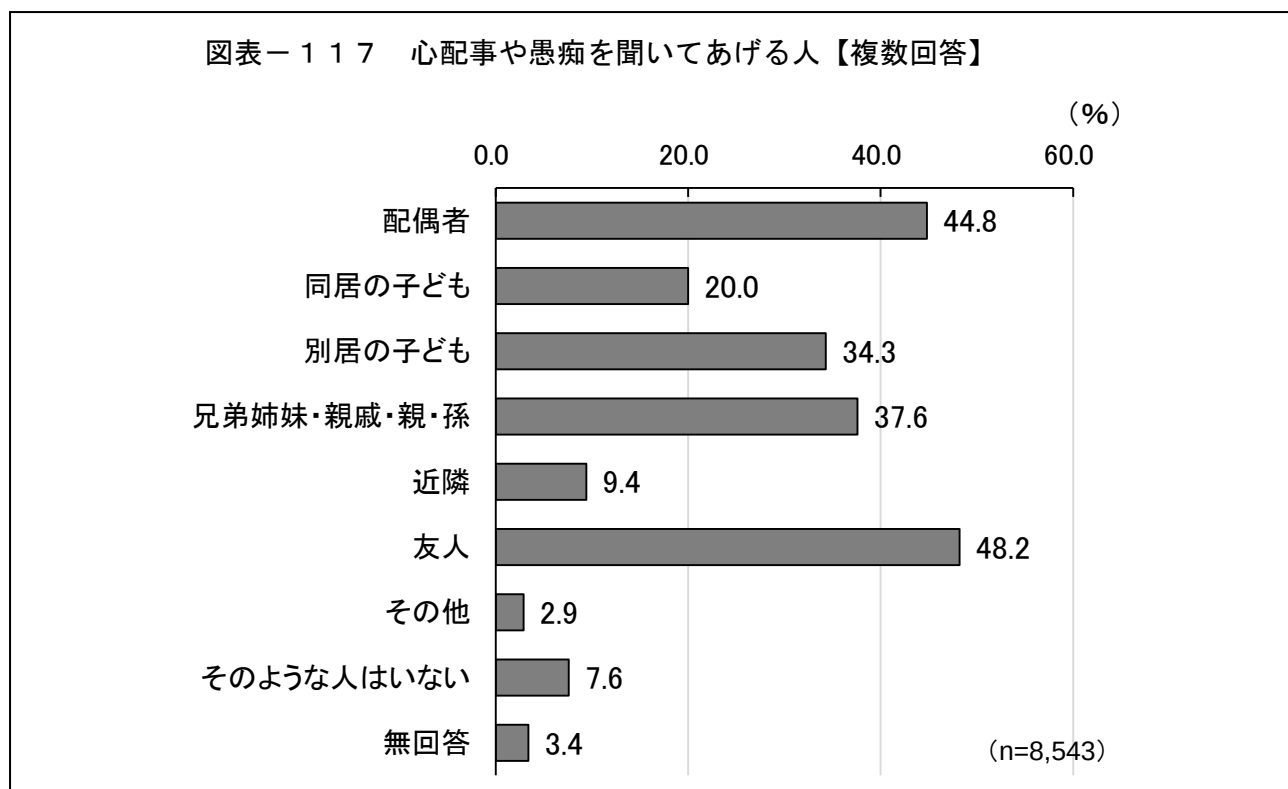
図表－１１６ 基本属性別 心配事や愚痴を聞いてくれる人【複数回答】

(%)

		調査数 (人)	配偶者	同居の 子ども	別居の 子ども	戚・兄弟姉妹・親 ・親・孫	近隣	友人	その他	は い な い よ う な 人	無 回 答
全 体		8,543	46.4	21.6	36.9	34.9	7.7	47.8	3.5	5.6	2.2
性 別	男性	3,576	63.4	15.7	26.8	22.8	3.8	35.6	3.2	8.6	2.3
	女性	4,800	34.2	26.2	44.8	44.3	10.7	57.3	3.7	3.3	1.6
年 齢 別	65～69歳	2,469	51.3	18.9	32.9	39.8	5.8	54.9	3.6	6.0	0.9
	70～74歳	2,017	48.7	17.0	34.8	34.7	6.7	53.8	3.7	6.4	1.5
	75～79歳	1,693	46.4	21.0	39.2	34.8	10.0	49.1	3.2	4.8	2.1
	80～84歳	1,279	45.7	25.0	41.2	31.7	9.1	38.7	3.0	4.7	3.2
	85～89歳	665	36.1	34.3	44.2	30.4	8.9	30.4	3.6	4.7	2.9
	90歳以上	201	15.9	43.3	49.3	24.4	9.0	17.9	5.5	4.5	4.5
圏 域 別	石嶺	523	52.0	23.3	40.5	33.5	9.9	45.9	4.8	3.4	2.1
	大名	459	52.5	22.7	39.7	35.9	11.8	48.6	3.7	5.4	1.1
	城西	516	51.9	24.8	40.7	36.6	5.8	49.6	1.9	4.8	1.7
	繁多川	415	49.4	21.0	42.9	36.1	8.0	41.4	3.1	5.1	2.4
	松川	440	40.9	19.1	28.9	35.7	8.9	46.6	4.1	7.5	0.9
	松島	476	51.5	27.3	39.9	36.8	5.0	49.2	1.9	3.2	1.9
	識名	540	37.0	20.7	38.0	34.6	8.0	48.9	3.1	6.3	2.4
	安里	439	42.8	21.0	30.8	32.3	7.7	43.7	5.5	9.1	1.4
	古波蔵	435	38.9	21.1	34.7	31.7	8.7	46.7	3.9	7.1	2.5
	国場	465	47.1	21.7	38.7	34.0	9.0	44.1	3.7	6.5	3.4
	新都心	501	50.1	20.4	36.9	31.5	5.0	51.1	3.4	6.4	2.2
	安謝	448	42.6	15.2	36.6	33.9	7.8	48.0	3.8	5.6	0.9
	泊	429	43.8	18.2	38.9	37.1	5.1	53.4	3.7	5.1	1.4
	若狭	429	40.1	22.8	31.2	34.7	7.9	50.6	4.0	6.8	2.1
	城岳	455	46.6	18.0	31.6	31.6	7.5	49.2	3.7	5.3	2.6
	かなぐすく	402	54.0	26.4	38.6	40.5	6.7	47.5	3.0	3.7	1.0
	小禄	515	47.4	24.5	37.1	35.1	7.0	48.5	3.7	4.5	2.3
	高良	477	49.9	21.0	42.1	39.6	8.6	49.9	2.5	4.6	1.5
認 定 別	一般高齢者	7,551	48.7	21.7	37.0	35.6	7.7	49.8	3.3	5.5	1.6
	要支援認定者	466	24.2	25.3	42.1	32.0	7.7	26.0	6.2	5.6	3.0

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人【必須項目】



心配事や愚痴を聞いてあげる人については「友人」が48.2%で最も高く、次いで「配偶者」44.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」37.6%である。

性別では、男性は「配偶者」62.1%が最も高く、次いで「友人」35.2%、「別居の子ども」26.5%である。女性は「友人」の58.3%が最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」46.6%、「別居の子ども」40.5%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「配偶者」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」の割合が減少し、「別居の子ども」、「そのような人はいない」の割合が増加する。

圏域別では、識名圏域と安里圏域で「そのような人はいない」が市平均よりも約3ポイント高く、識名圏域で10.4%、安里圏域で11.2%である。石嶺圏域と大名圏域は「配偶者」と「近隣」が高く、石嶺圏域「配偶者」51.8%、「近隣」13.0%、大名圏域「配偶者」51.6%、「近隣」13.9%である。「配偶者」に関してはかなぐすく圏域においても高く51.5%である。

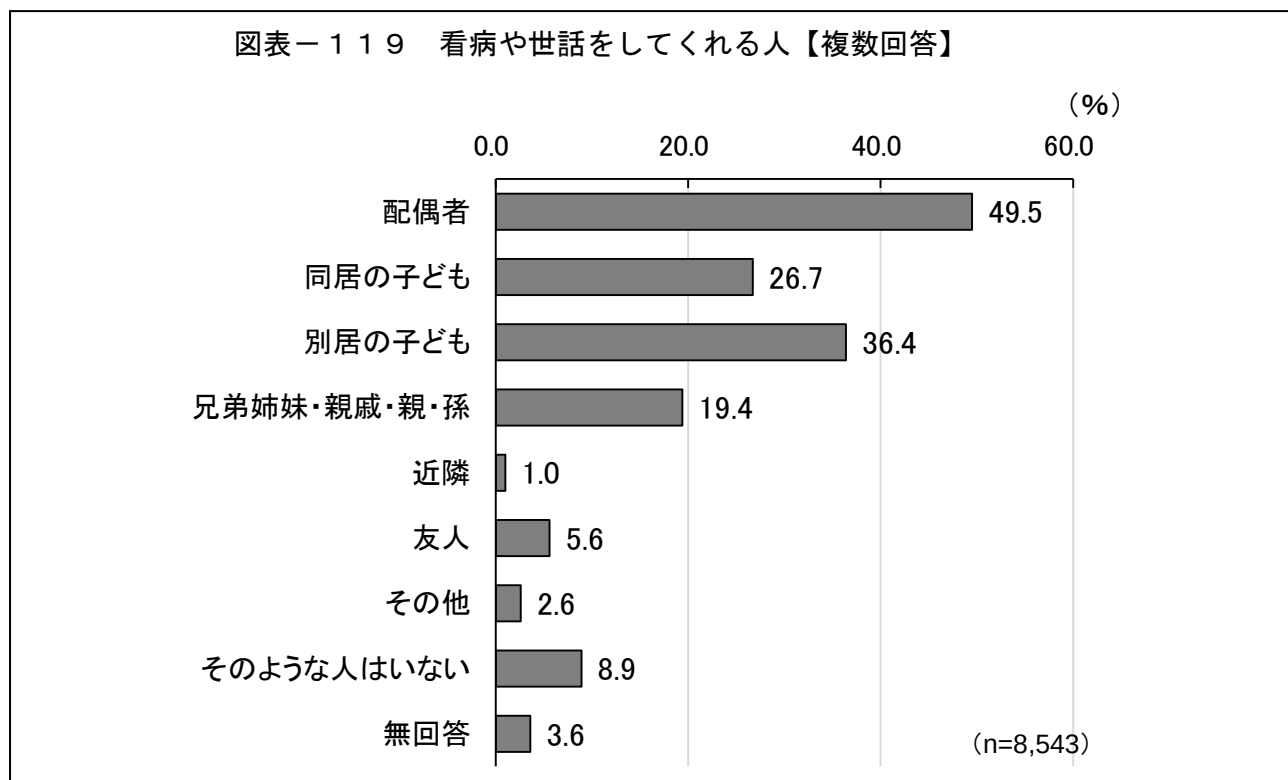
認定度別では、要支援認定者は「そのような人はいない」で市平均と比べて約8ポイント高く、「配偶者」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」で市平均よりも約10ポイント低い。

図表－１１８ 基本属性別 心配事や愚痴を聞いてあげる人【複数回答】

		調査数 (人)	配偶者	同居の 子ども	別居の 子ども	兄弟姉妹・ 親・孫・親	近隣	友人	その他	はそ いの ない よう な 人	無 回 答
全 体		8,543	44.8	20.0	34.3	37.6	9.4	48.2	2.9	7.6	3.4
性 別	男性	3,576	62.1	16.2	26.5	26.1	4.8	35.2	2.9	10.5	3.2
	女性	4,800	32.5	22.8	40.5	46.6	12.9	58.3	2.9	5.5	3.2
年 齢 別	65～69歳	2,469	50.3	19.2	33.4	44.3	8.4	56.3	3.4	5.9	1.5
	70～74歳	2,017	47.5	17.1	33.8	38.5	8.5	54.1	2.8	7.6	2.8
	75～79歳	1,693	43.6	19.2	36.7	35.9	11.4	48.5	2.7	7.9	2.9
	80～84歳	1,279	44.4	21.8	35.8	34.4	10.2	38.7	2.4	7.3	5.1
	85～89歳	665	34.0	27.4	34.7	29.5	9.8	30.7	2.4	11.3	6.2
	90歳以上	201	13.9	27.9	33.8	25.4	10.0	20.4	3.0	16.4	7.5
圏 域 別	石嶺	523	51.8	19.5	39.4	36.5	13.0	45.7	2.5	5.9	3.4
	大名	459	51.6	21.1	36.2	40.5	13.9	46.2	2.4	7.0	2.6
	城西	516	49.0	23.3	37.0	40.3	9.7	54.3	1.6	5.2	3.7
	繁多川	415	48.0	19.3	39.5	38.6	10.1	43.4	1.7	8.0	2.7
	松川	440	41.1	19.1	28.6	36.8	10.9	46.6	3.9	10.0	0.9
	松島	476	48.7	25.6	37.4	39.7	6.1	49.6	2.5	5.3	2.7
	識名	540	35.2	18.1	32.8	36.7	9.6	48.0	3.1	10.4	5.0
	安里	439	42.1	19.8	31.9	33.7	8.7	45.8	5.0	11.2	1.8
	古波蔵	435	37.9	17.0	31.5	33.6	8.7	46.2	2.5	9.2	4.4
	国場	465	44.5	21.3	36.3	38.3	10.5	45.2	3.4	7.3	5.8
	新都心	501	48.1	21.0	32.7	37.5	6.6	51.3	2.4	7.8	2.0
	安謝	448	40.8	13.2	30.6	33.7	8.7	47.5	4.0	8.3	3.6
	泊	429	41.0	16.6	36.1	37.8	9.1	52.9	3.5	7.9	2.8
	若狭	429	39.6	21.9	29.8	39.2	9.1	50.8	2.6	9.1	2.6
	城岳	455	44.8	17.1	31.4	35.8	8.4	48.6	3.1	6.6	2.9
	かなぐすく	402	51.5	23.1	35.3	40.8	6.2	48.0	3.5	6.5	2.0
	小禄	515	46.0	22.5	35.7	38.8	9.3	50.7	2.5	6.2	3.7
	高良	477	48.8	19.9	38.6	42.6	10.5	50.3	2.5	6.7	2.7
認 定 別	一般高齢者	7,551	47.3	20.5	34.9	39.0	9.6	50.2	2.8	7.0	2.6
	要支援認定者	466	23.0	18.5	32.2	28.1	7.3	28.1	3.2	15.9	6.0

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(3) 看病や世話をしてくれる人【必須項目】



看病や世話をしてくれる人については「配偶者」49.5%が最も高く、次いで「別居の子ども」が36.4%、「同居の子ども」が26.7%である。

性別では、男性は「配偶者」が66.9%で最も高く、次いで「別居の子ども」が28.5%、「同居の子ども」が20.9%である。女性は「別居の子ども」が42.6%で最も高く、「配偶者」が37.0%、「同居の子ども」が31.2%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「配偶者」、「そのような人はいない」の割合が減少し、反対に「同居の子ども」、「別居の子ども」の割合は増加していく。

圏域別では、安里圏域は「そのような人はいない」が最も高く14.4%であり、市平均よりも約5ポイント高い。次いで若狭圏域が14.0%、松川圏域11.8%、識名圏域11.7%である。

認定度別では、要支援認定者は「別居の子ども」が43.6%で最も高く、次いで「同居の子ども」30.9%、「配偶者」25.1%である。

図表－120 基本属性別 看病や世話をしてくれる人【複数回答】

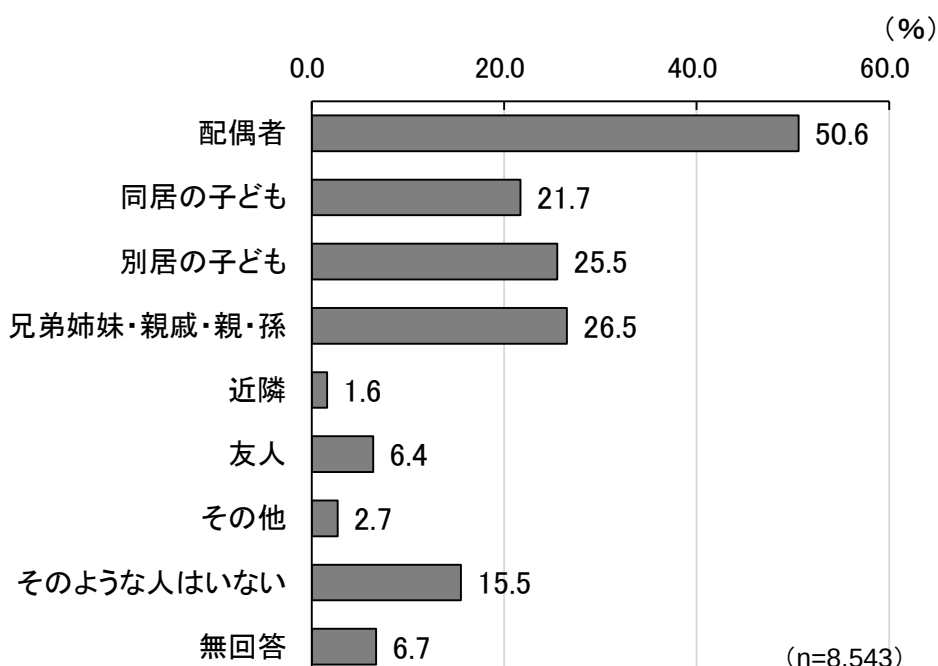
(%)

		調査 数 (人)	配偶 者	同居 の 子 ど も	別 居 の 子 ど も	戚 ・ 兄 弟 姉 妹 ・ 孫 ・ 親	近 隣	友 人	そ の 他	は い な い そ の よ う な 人	無 回 答
全 体		8,543	49.5	26.7	36.4	19.4	1.0	5.6	2.6	8.9	3.6
性 別	男性	3,576	66.9	20.9	28.5	14.4	0.5	4.1	2.2	10.0	2.9
	女性	4,800	37.0	31.2	42.6	23.4	1.4	6.8	3.0	7.9	3.7
年 齢 別	65～69歳	2,469	56.5	22.5	28.6	21.5	0.6	6.2	2.1	10.9	2.2
	70～74歳	2,017	53.9	21.8	33.5	19.7	1.0	6.2	2.6	9.7	2.9
	75～79歳	1,693	48.3	26.8	39.9	18.0	1.1	6.0	3.0	8.3	4.0
	80～84歳	1,279	45.8	32.3	44.3	19.2	1.5	4.9	3.1	6.2	4.2
	85～89歳	665	35.8	40.9	48.3	18.6	1.2	2.6	2.6	5.9	4.5
	90歳以上	201	14.4	48.3	48.8	11.9	1.5	4.0	4.0	3.0	6.5
圏 域 別	石嶺	523	54.9	26.8	41.3	18.0	1.1	4.8	5.2	7.5	3.3
	大名	459	57.1	27.9	40.3	17.9	1.5	4.4	3.1	6.8	4.1
	城西	516	55.4	32.2	36.2	19.6	1.0	4.5	1.9	7.4	2.7
	繁多川	415	49.9	26.3	41.2	20.2	0.7	3.9	2.2	7.7	4.3
	松川	440	42.5	24.5	31.4	22.5	1.8	7.0	3.6	11.8	3.4
	松島	476	56.3	33.0	41.4	18.7	0.4	4.8	1.5	3.6	3.2
	識名	540	39.3	25.9	35.2	20.6	0.9	4.4	2.2	11.7	4.1
	安里	439	44.4	25.7	30.1	20.5	1.4	6.2	2.5	14.4	3.4
	古波蔵	435	40.5	23.9	36.6	20.2	0.9	7.8	2.5	11.0	3.2
	国場	465	53.8	27.3	39.1	17.6	1.5	4.1	2.2	7.7	3.4
	新都心	501	54.1	26.9	33.3	16.6	1.6	6.0	2.0	9.2	3.4
	安謝	448	46.2	20.5	37.5	20.5	0.7	4.7	3.1	10.7	4.0
	泊	429	48.5	22.4	36.4	20.3	0.2	7.0	2.3	7.5	2.6
	若狭	429	43.1	26.6	30.3	20.3	1.2	8.6	2.6	14.0	3.3
	城岳	455	49.9	21.8	32.5	18.5	0.7	7.3	2.6	8.8	2.9
	かなぐすく	402	56.0	30.1	35.1	19.7	0.5	4.5	2.7	4.5	3.5
	小禄	515	49.5	31.5	38.8	20.8	1.4	5.8	2.9	8.0	1.9
	高良	477	53.9	27.5	40.5	19.1	0.8	5.2	2.1	7.1	2.7
認 定 別	一般高齢者	7,551	52.1	27.0	36.2	19.5	0.9	5.7	2.3	8.7	3.0
	要支援認定者	466	25.1	30.9	43.6	22.7	1.7	4.7	7.1	7.5	4.1

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(4) 看病や世話をしている人【必須項目】

図表－１２１ 看病や世話をしている人【複数回答】



看病や世話をしている人については「配偶者」が50.6%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が26.5%、「別居の子ども」が25.5%である。

性別では、男性は「配偶者」が63.6%と最も高く、次いで「別居の子ども」が20.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が18.9%である。女性は「配偶者」が41.5%で最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が32.6%、「別居の子ども」が29.5%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「配偶者」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」など多くの項目において割合が下がっている。実際、「そのような人はいない」は年齢階級が上がるほど増加する傾向にあり、80～84歳では15.9%、85～89歳では23.6%、90歳以上では33.8%である。

圏域別では、「そのような人はいない」は安里圏域で最も高く21.0%であり、市平均よりも約5.5ポイント高い。次いで松川圏域20.7%である。「配偶者」は石嶺圏域57.4%、大名圏域56.6%、城西圏域60.5%と市平均より約6～10ポイント、首里地区の圏域で高い。

認定度別では、要支援認定者は「そのような人はいない」が36.7%で最も高く、次いで「配偶者」が21.9%、「同居の子ども」が15.9%である。

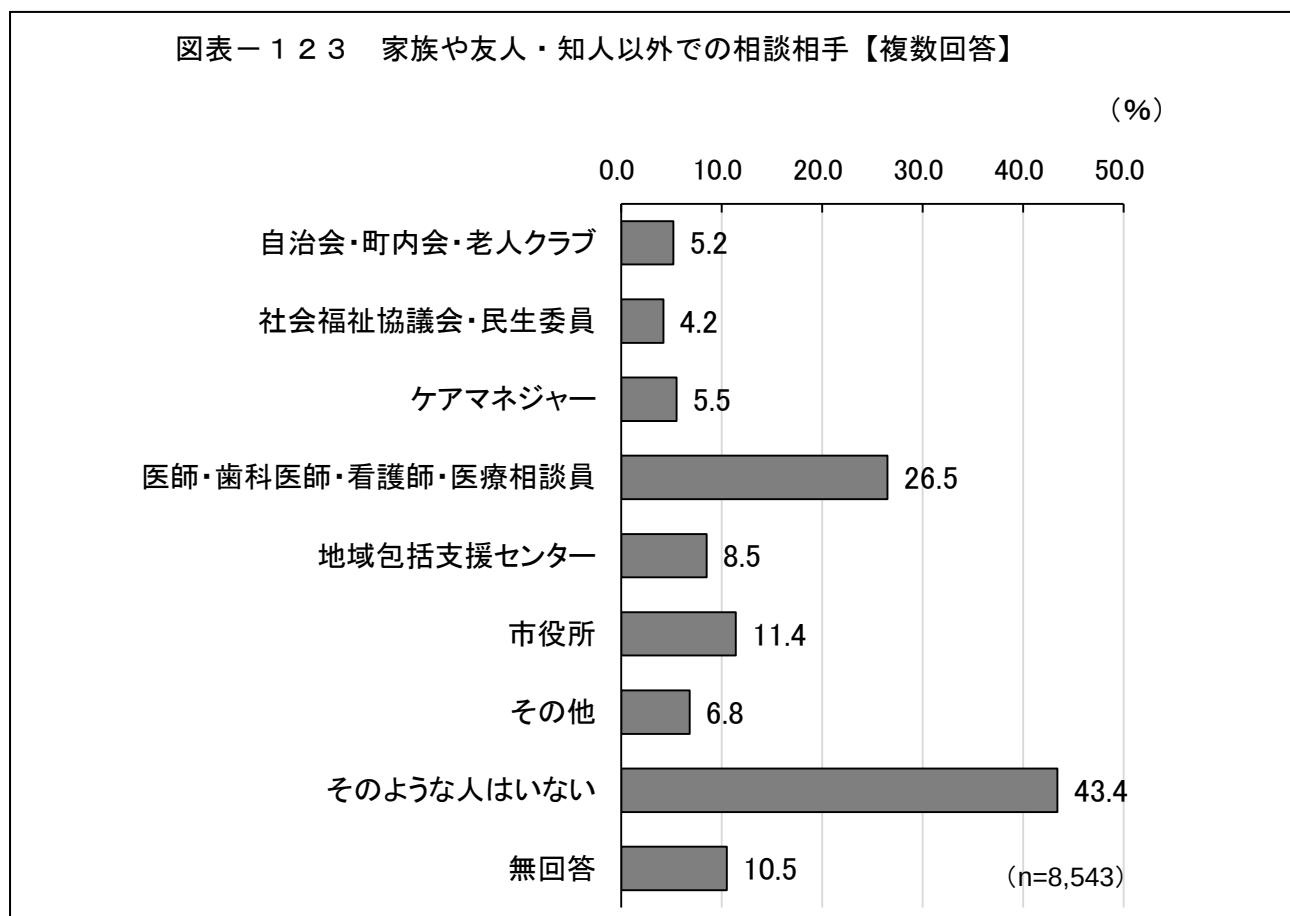
図表－１２２ 基本属性別 看病や世話をしあける人【複数回答】

(%)

		調査数 (人)	配偶者	同居の 子ども	別居の 子ども	兄弟姉妹・ 親・孫・親	近隣	友人	その他	はい その よう な 人	無 回 答
性別	全 体	8,543	50.6	21.7	25.5	26.5	1.6	6.4	2.7	15.5	6.7
	男性	3,576	63.6	17.9	20.3	18.9	0.8	4.6	2.2	16.3	5.1
	女性	4,800	41.5	24.7	29.5	32.6	2.3	7.7	3.1	14.9	7.4
年齢別	65～69歳	2,469	56.3	21.6	26.9	36.0	1.4	7.7	2.4	12.9	3.2
	70～74歳	2,017	54.3	19.6	26.8	29.7	1.8	7.0	2.1	13.8	5.8
	75～79歳	1,693	51.2	20.9	26.3	22.2	2.1	6.6	2.7	15.5	7.1
	80～84歳	1,279	48.2	23.8	24.8	18.8	2.0	5.5	3.5	15.9	8.2
	85～89歳	665	36.8	26.3	20.9	16.7	0.5	2.6	3.8	23.6	11.1
	90歳以上	201	15.9	24.4	13.4	9.0	0.5	2.0	3.0	33.8	18.4
圏域別	石嶺	523	57.4	21.6	28.9	26.2	1.9	6.3	2.9	13.4	7.1
	大名	459	56.6	23.3	29.6	29.2	1.5	5.7	1.5	12.9	8.7
	城西	516	60.5	26.4	25.6	28.7	2.1	5.4	2.1	11.6	5.4
	繁多川	415	53.0	20.0	26.3	26.7	0.5	3.9	1.9	14.7	9.6
	松川	440	43.2	18.4	17.5	26.6	3.2	6.8	3.6	20.7	6.6
	松島	476	56.1	27.5	27.7	29.2	0.0	5.5	2.9	13.0	5.5
	識名	540	41.3	19.3	22.6	27.8	1.7	7.8	3.3	18.9	6.9
	安里	439	43.3	22.1	23.2	25.3	1.6	5.9	1.4	21.0	5.7
	古波蔵	435	42.1	20.0	22.1	24.1	2.8	8.0	3.2	19.8	6.9
	国場	465	51.6	22.8	28.6	26.9	2.2	4.9	2.2	11.2	7.3
	新都心	501	54.3	22.4	25.1	24.2	1.0	6.2	2.2	14.2	5.8
	安謝	448	48.2	17.0	22.3	25.0	0.9	6.0	3.1	16.3	8.0
	泊	429	50.3	16.3	27.0	25.9	2.1	8.4	2.6	16.8	4.7
	若狭	429	44.3	22.8	22.6	25.4	2.6	9.6	2.8	17.9	5.8
	城岳	455	49.9	17.8	25.3	27.0	0.9	6.6	2.2	14.5	5.1
	かなぐすく	402	56.5	26.1	28.6	26.1	1.2	5.5	3.5	14.2	6.2
	小禄	515	52.6	23.5	28.3	30.7	2.1	6.8	3.3	15.1	4.3
	高良	477	54.5	23.1	28.7	25.4	1.7	5.7	2.7	14.5	6.3
認定別	一般高齢者	7,551	53.6	22.5	26.6	28.1	1.7	6.7	2.3	14.0	5.5
	要支援認定者	466	21.9	15.9	13.5	13.3	1.1	3.0	7.5	36.7	11.4

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(5) 家族や友人・知人以外での相談相手【オプション項目】



家族や友人・知人以外での相談相手については、「そのような人はいない」が43.4%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師・医療相談員」26.5%、「市役所」11.4%である。

性別では、男性は「そのような人はいない」が47.0%で市平均より約4ポイント高く、女性は41.2%で市平均より約2ポイント低い。男性は「社会福祉協議会・民生委員」、「ケアマネジャー」、「地域包括支援センター」などの項目で市平均を下回っている。

年齢別では、年齢階級が上がると多くの項目で増加傾向が見られ、「そのような人はいない」は減少する。

圏域別では、石嶺圏域、大名圏域、城西圏域などの首里地区に属する圏域において「自治会・町内会・老人クラブ」が市平均よりも約3ポイント以上(大名圏域は5ポイント)高い。「そのような人はいない」は松川圏域で48.2%、城岳圏域で48.1%と市平均よりも約5ポイント高い。

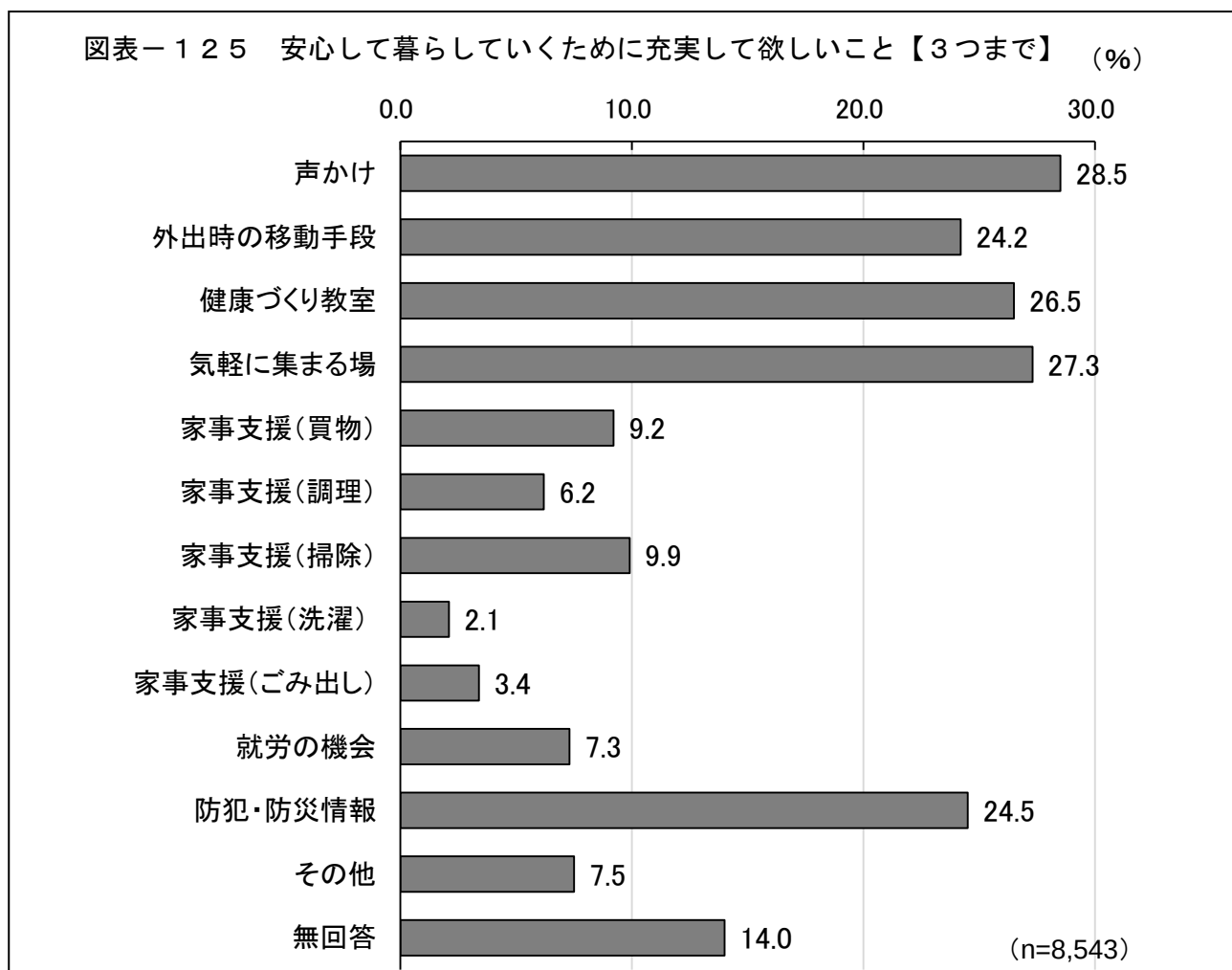
認定度別では、要支援認定者は「ケアマネジャー」が47.4%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師・医療相談員」が28.1%、「地域包括支援センター」が27.3%である。「ケアマネジャー」は市平均と比べ約42ポイント、「地域包括支援センター」は約19ポイント高い。また、「そのような人はいない」は20.2%で、市平均よりも約23ポイント低い。

図表－124 基本属性別 家族や友人・知人以外での相談相手【複数回答】

		調査数（人）	老人クラブ・町内会・自治会	民生委員・社会福祉協議会	ケアマネジャー	看護師・医師・歯科医師・医療相談員	地域包括支援センター	市役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体		8,543	5.2	4.2	5.5	26.5	8.5	11.4	6.8	43.4	10.5
性別	男性	3,576	5.9	3.4	4.3	27.7	5.7	11.0	6.6	47.0	7.9
	女性	4,800	4.8	4.9	6.4	25.6	10.5	11.7	7.0	41.2	11.9
年齢別	65～69歳	2,469	3.3	2.9	3.0	22.2	5.2	12.3	7.7	52.6	7.2
	70～74歳	2,017	4.5	3.1	3.5	24.3	6.4	11.8	7.0	47.3	10.1
	75～79歳	1,693	6.2	5.0	5.4	28.8	9.7	11.7	7.3	38.7	11.9
	80～84歳	1,279	7.7	6.3	7.3	31.6	14.4	10.6	5.3	35.1	12.4
	85～89歳	665	6.8	6.0	13.2	33.2	10.7	9.5	5.1	32.3	11.0
	90歳以上	201	9.0	6.0	17.4	31.3	13.9	8.0	7.0	28.9	15.9
圏域別	石嶺	523	8.4	6.1	5.9	25.2	10.3	9.8	8.4	41.1	11.5
	大名	459	10.2	9.2	8.1	24.8	11.3	11.8	5.9	42.5	8.9
	城西	516	8.7	3.7	4.7	25.4	7.0	9.5	6.8	45.7	9.9
	繁多川	415	2.9	2.9	5.5	22.2	8.9	9.2	6.7	46.7	13.0
	松川	440	2.5	2.3	6.1	26.6	7.7	11.4	6.1	48.2	8.0
	松島	476	6.5	1.9	5.9	25.8	8.2	10.5	6.5	43.9	10.5
	識名	540	3.1	4.3	5.9	27.4	8.9	10.9	7.0	39.6	11.3
	安里	439	3.0	5.5	4.6	27.8	8.0	10.7	7.7	44.9	8.9
	古波蔵	435	3.4	3.4	4.6	24.6	8.5	13.6	6.4	44.4	10.3
	国場	465	4.3	5.2	5.4	28.4	8.6	13.3	6.9	41.7	9.9
	新都心	501	5.0	3.8	4.6	24.6	9.0	11.4	7.2	46.5	10.4
	安謝	448	5.6	4.5	3.8	20.5	7.6	13.6	7.8	47.8	9.6
	泊	429	2.1	3.7	6.3	34.3	9.6	13.1	6.8	41.3	8.4
	若狭	429	4.0	4.4	6.5	31.9	9.1	16.8	8.6	38.9	8.6
	城岳	455	2.9	2.9	5.1	25.9	6.6	11.6	4.8	48.1	9.0
	かなぐすく	402	6.7	3.7	4.2	24.1	7.7	10.9	7.2	43.5	12.2
	小祿	515	5.8	3.3	5.2	28.0	7.0	8.9	6.0	43.3	11.5
	高良	477	7.8	5.5	6.1	29.6	8.4	10.1	6.5	40.7	10.1
認定別	一般高齢者	7,551	5.3	4.1	2.8	26.7	7.4	11.7	6.9	45.8	9.4
	要支援認定者	466	4.7	4.3	47.4	28.1	27.3	7.3	6.2	20.2	9.0

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

(6) 安心して暮らしていくために充実して欲しいこと【市独自項目】



安心して暮らしていくために充実して欲しいことについては、「声掛け」が 28.5%で最も高く、次いで「気軽に集まる場」が 27.3%、「健康づくり教室」が 26.5%である。

性別では、男性は「声掛け」が 26.9%と最も高く、次いで「防犯・防災情報」25.9%、「気軽に集まる場」25.6%である。女性は「健康づくり教室」が 30.4%で最も高く、次いで「声掛け」が 29.8%、「気軽に集まる場」が 28.8%である。

年齢別では、一部例外があるものの年齢階級が上がるほど、「声掛け」、「外出時の移動手段」、「家事支援(買物)」、「家事支援(調理)」、「家事支援(掃除)」、「家事支援(洗濯)」、「家事支援(ごみ出し)」で増加する傾向にある。「健康づくり教室」、「気軽に集まる場」、「就労の機会」、「防犯・防災情報」は年齢階級が上がるとう減少する傾向が見られる。

圏域別では、「外出時の移動手段」は城西圏域で最も高く 28.7%であり、市平均よりも約 4 ポイント高い。一方、泊圏域は「外出時の移動手段」が最も低く 18.9%であり、市平均よりも約 5 ポイント低い。石嶺圏域は「声掛け」34.0%と、「気軽に集まる場」33.1%で市平均よりも高い。また、「声掛け」については大名圏域においても 38.1%と市平均よりも約 9.5 ポイント高い。

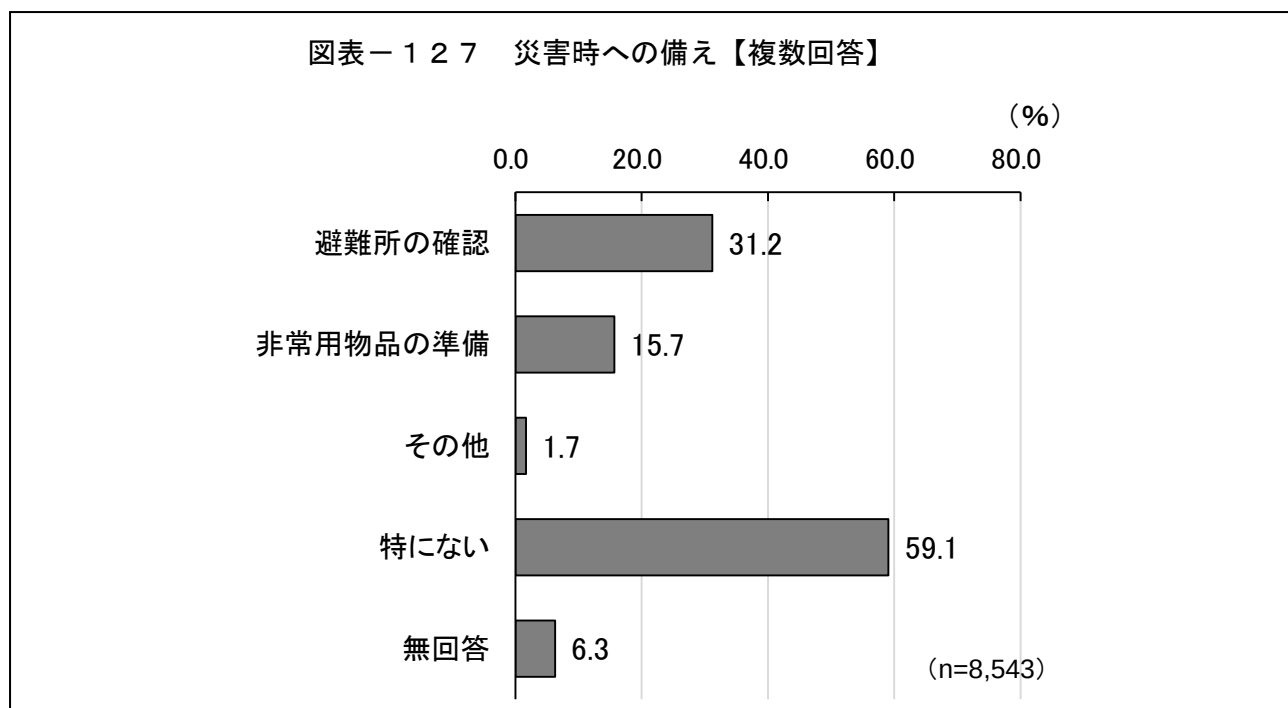
認定度別では、要支援認定者は「外出時の移動手段」43.1%、「家事支援(買物)」25.3%、「家事支援(調理)」16.5%、「家事支援(掃除)」26.0%、「家事支援(洗濯)」7.3%、「家事支援(ごみ出し)」8.4%等の項目で市平均よりも高い。

図表－126 基本属性別 安心して暮らしていくために充実して欲しいこと【3つまで】

		(%)													
		全 体	声 かけ	外出時の移動手段	健康づくり教室	気軽に集まる場	家事支援 (買物)	家事支援 (調理)	家事支援 (掃除)	家事支援 (洗濯)	家事支援 (ごみ出し)	就労の機会	防犯・防 災情報	その他	無 回 答
全 体		8,543	28.5	24.2	26.5	27.3	9.2	6.2	9.9	2.1	3.4	7.3	24.5	7.5	14.0
性別	男性	3,576	26.9	20.3	21.4	25.6	8.0	7.2	7.6	2.6	3.7	9.6	25.9	9.5	14.0
	女性	4,800	29.8	27.3	30.4	28.8	10.1	5.5	11.7	1.8	3.1	5.7	23.8	6.2	13.5
年齢別	65～69歳	2,469	23.9	23.0	28.2	28.9	6.2	5.5	6.0	1.5	1.9	15.5	30.7	8.2	11.1
	70～74歳	2,017	27.2	20.8	27.8	28.1	7.6	5.8	8.4	1.3	2.7	8.3	26.4	7.8	14.9
	75～79歳	1,693	31.0	25.4	28.2	29.5	9.5	6.0	10.9	2.1	3.5	2.6	22.3	8.2	13.2
	80～84歳	1,279	33.2	27.1	25.3	25.4	13.1	7.2	14.2	2.9	5.0	1.3	18.6	6.2	15.0
	85～89歳	665	32.6	31.4	18.6	21.8	15.6	8.9	15.0	4.4	6.5	0.5	19.5	5.4	16.1
	90歳以上	201	35.8	25.4	15.4	18.9	14.4	6.5	21.9	6.0	7.0	0.5	14.4	8.5	18.4
圏域別	石嶺	523	34.0	25.6	24.7	33.1	8.6	5.7	7.5	1.7	3.1	6.7	24.1	5.4	14.9
	大名	459	38.1	24.2	29.4	30.3	8.3	6.8	9.4	1.7	2.4	5.9	22.9	6.3	12.6
	城西	516	28.3	28.7	26.0	25.6	10.3	7.2	10.1	2.9	3.5	7.9	26.0	7.0	11.8
	繁多川	415	30.4	25.1	22.4	26.7	7.2	8.0	9.6	2.4	2.4	6.5	21.4	6.3	14.5
	松川	440	27.0	26.1	24.8	24.1	9.3	5.5	10.2	1.8	3.6	7.0	22.7	11.4	14.5
	松島	476	26.7	20.0	27.7	26.7	9.5	5.0	10.9	1.7	4.0	6.5	26.7	7.8	14.9
	識名	540	28.1	23.5	26.1	25.9	9.6	6.5	11.5	2.8	3.5	8.9	21.7	8.0	12.6
	安里	439	27.6	25.5	25.3	21.2	8.9	6.8	10.5	3.4	2.3	7.5	26.7	8.9	12.8
	古波蔵	435	29.0	23.7	25.3	29.0	7.8	6.0	8.3	1.1	4.1	7.1	21.4	7.1	16.1
	国場	465	27.3	27.5	27.5	24.7	11.0	5.2	8.8	2.4	3.4	6.2	24.5	7.3	15.1
	新都心	501	25.7	24.6	27.5	31.7	9.0	6.8	10.4	1.4	3.4	7.6	25.7	8.4	13.0
	安謝	448	25.4	21.9	29.9	30.1	7.4	6.0	11.4	1.6	3.3	8.3	23.2	8.9	14.3
	泊	429	23.3	18.9	28.0	25.4	8.6	4.9	9.8	1.4	3.5	8.2	26.8	11.0	13.5
	若狭	429	22.8	22.8	26.3	27.0	9.6	7.9	8.6	3.3	3.7	8.4	30.1	6.5	11.9
	城岳	455	28.8	23.1	22.4	27.5	9.0	6.4	11.4	1.1	4.4	6.8	26.8	7.3	15.2
	かなぐすく	402	26.4	25.1	28.1	27.4	9.7	6.2	12.4	3.7	1.5	7.2	26.1	6.0	11.9
	小禄	515	33.0	23.7	27.0	30.7	9.5	4.7	10.1	1.6	2.9	9.9	24.7	7.2	13.2
	高良	477	31.0	27.0	29.6	27.3	11.5	6.5	8.4	2.1	4.8	5.7	23.9	5.5	13.2
認定別	一般高齢者	7,551	28.6	23.3	27.6	28.3	8.3	5.6	9.1	1.8	3.0	7.9	26.2	7.8	13.1
	要支援認定者	466	27.0	43.1	16.7	18.2	25.3	16.5	26.0	7.3	8.4	1.3	10.7	4.1	12.2

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

(7) 災害時への備え【市独自項目】



災害時への備えについては、「特にない」が 59.1%で最も高く、次いで「避難場所の確認」が 31.2%、「非常用物品の準備」が 15.7%である。

性別では、男性は「特にない」が 62.6%で最も高く、女性の 56.7%より約 6 ポイント高い。一方、女性は「避難場所の確認」が 34.1%、「非常用物品の準備」が 17.2%で、男性よりも高い。

年齢別では、「避難場所の確認」は年齢階級が上がるほど低くなる傾向にあり、90 歳以上では 18.4%であり市平均よりも約 13 ポイント低い。

圏域別では、若狭圏域は「避難場所の確認」で 45.0%と市平均よりも約 14 ポイント高い。また、新都心圏域は「非常用物件の準備」で 20.0%であり、市平均よりも約 4 ポイント高い。

認定度別では、要支援認定者は「特にない」が 69.3%で市平均より約 10 ポイント高い。

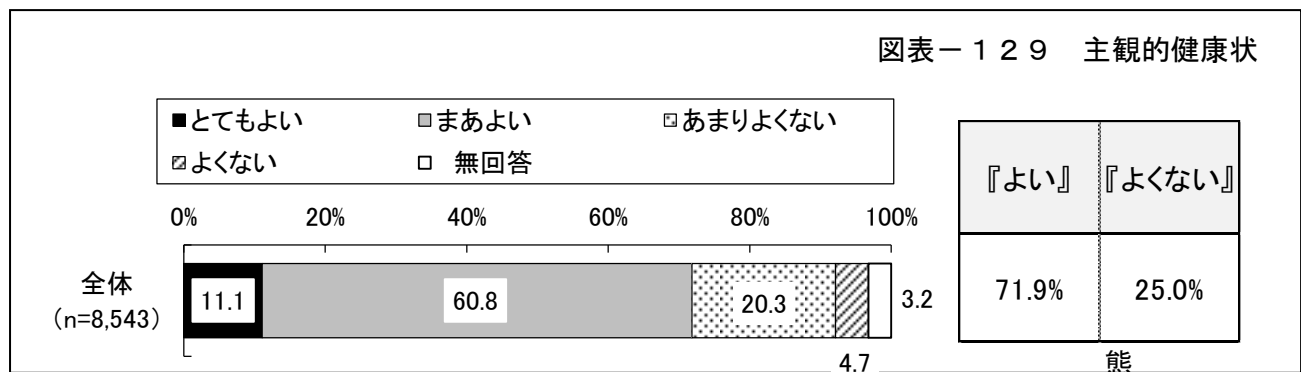
図表－１２８ 基本属性別 災害時への備え【複数回答】

		(%)					
		調査数 (人)	避難所の 確認	非常用 物品の 準備	その他	特 に な い	無 回 答
全 体		8,543	31.2	15.7	1.7	59.1	6.3
性 別	男性	3,576	27.9	14.1	1.6	62.6	5.7
	女性	4,800	34.1	17.2	1.8	56.7	6.2
年 齢 別	65～69歳	2,469	35.3	17.2	1.8	57.3	3.2
	70～74歳	2,017	33.5	17.2	1.3	58.3	5.0
	75～79歳	1,693	31.2	15.0	1.5	59.7	6.3
	80～84歳	1,279	27.8	15.2	2.6	60.7	8.8
	85～89歳	665	23.0	12.2	1.4	62.9	10.5
	90歳以上	201	18.4	12.4	1.5	65.2	12.4
	石嶺	523	30.8	16.3	2.9	57.7	6.9
圏 域 別	大名	459	25.9	15.0	1.1	61.0	8.3
	城西	516	31.4	18.0	1.0	58.5	4.7
	繁多川	415	28.4	10.4	1.4	63.4	8.7
	松川	440	26.6	14.3	2.5	63.4	6.1
	松島	476	27.1	13.7	1.5	60.7	6.5
	識名	540	29.6	15.4	2.4	60.9	6.5
	安里	439	30.8	15.9	1.4	62.2	5.5
	古波蔵	435	27.4	17.5	1.6	61.8	6.4
	国場	465	33.1	16.8	1.3	57.2	4.9
	新都心	501	35.5	20.0	2.0	55.1	5.4
	安謝	448	28.8	15.8	1.6	63.6	5.4
	泊	429	36.8	18.4	1.6	53.4	4.7
	若狭	429	45.0	19.1	1.6	49.2	3.7
	城岳	455	32.5	14.7	2.2	58.2	6.8
	かなぐすく	402	32.1	15.4	2.2	57.7	7.2
	小祿	515	30.9	14.0	1.2	61.2	4.7
	高良	477	32.5	13.8	1.3	61.0	5.9
認 定 別	一般高齢者	7,551	32.8	16.5	1.7	58.7	5.2
	要支援認定者	466	17.4	9.2	3.2	69.3	7.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

8. 健康について【問7】

(1) 主観的健康状態【必須項目】



現在の健康状態については、「まあよい」が60.8%で最も高く、次いで「あまりよくない」が20.3%、「とてもよい」が11.1%、「よくない」が4.7%である。

年齢別では、すべての年齢階級で「まあよい」が半数以上を占めているものの、年齢階級が上がるほど「あまりよくない」の割合が増加していく傾向がある。

圏域別では、松川圏域は「あまりよくない」が24.1%で最も高く、市平均よりも約4ポイント高く、「まあよい」が55.9%と最も低い。

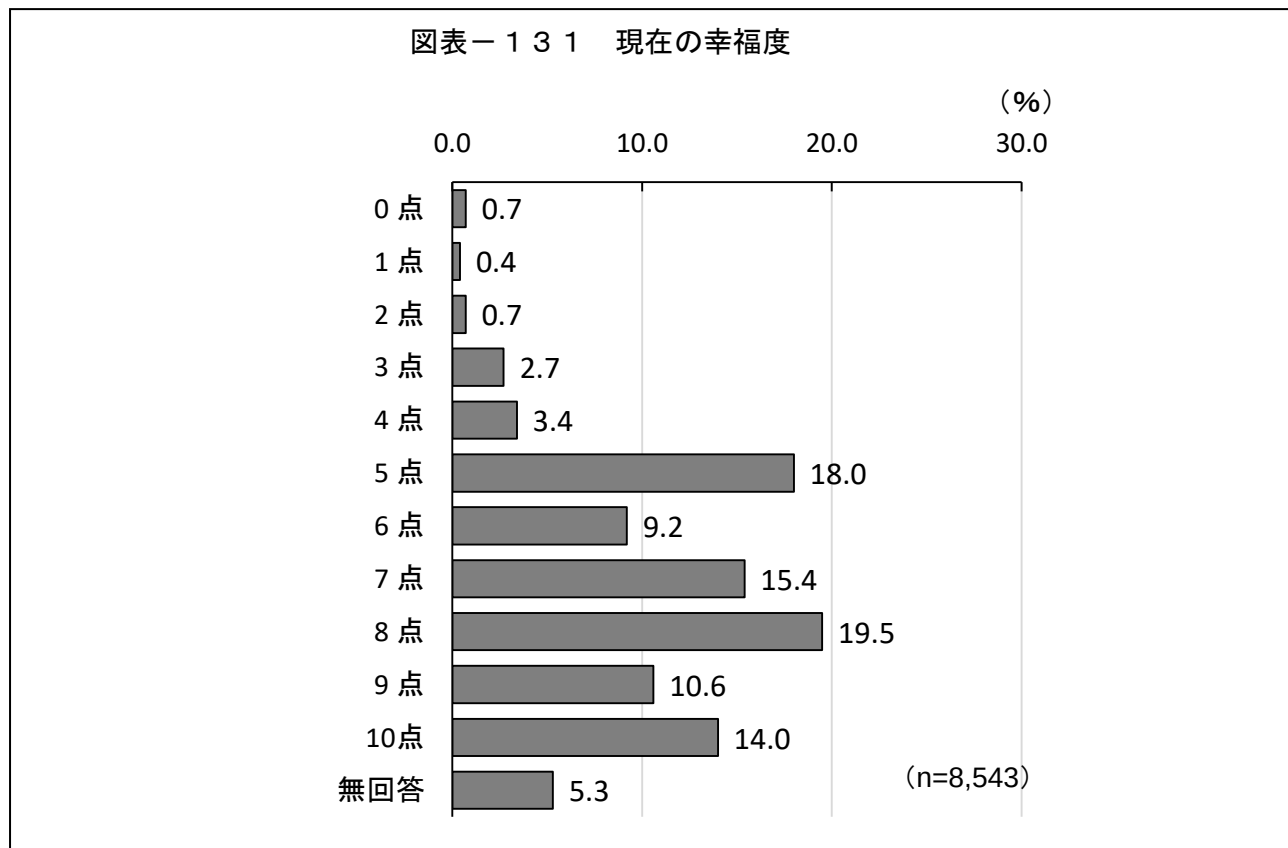
認定度別では、要支援認定者は『よい(「とてもよい」+「まあよい」)』が37.3%、『よくない(「あまりよくない」+「よくない」)』が58.3%である。

図表－130 基本属性別 主観的健康状態

									(%)
		調査数 (人)	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	『よい』 『再掲』	『よくない』 『再掲』
全 体		8,543	11.1	60.8	20.3	4.7	3.2	71.9	25.0
性 別	男性	3,576	11.8	60.4	19.9	4.9	3.0	72.2	24.8
	女性	4,800	10.5	61.5	20.6	4.3	3.1	72.0	24.9
年 齢 別	65～69歳	2,469	13.3	65.2	16.8	2.6	2.1	78.5	19.4
	70～74歳	2,017	10.7	64.9	17.9	3.9	2.6	75.6	21.8
	75～79歳	1,693	11.0	58.6	21.2	5.5	3.7	69.6	26.7
	80～84歳	1,279	9.8	56.5	24.0	6.3	3.4	66.3	30.3
	85～89歳	665	8.3	52.3	27.2	7.7	4.5	60.6	34.9
	90歳以上	201	6.0	53.2	28.4	7.0	5.5	59.2	35.4
圏 域 別	石嶺	523	11.3	59.7	21.2	3.8	4.0	71.0	25.0
	大名	459	10.2	63.2	19.2	4.4	3.1	73.4	23.6
	城西	516	12.6	63.2	19.0	2.9	2.3	75.8	21.9
	繁多川	415	6.7	61.7	20.7	6.0	4.8	68.4	26.7
	松川	440	10.9	55.9	24.1	5.2	3.9	66.8	29.3
	松島	476	12.2	62.2	17.6	4.8	3.2	74.4	22.4
	識名	540	10.4	59.3	22.6	5.2	2.6	69.7	27.8
	安里	439	10.0	60.6	20.0	6.4	3.0	70.6	26.4
	古波蔵	435	8.0	61.1	22.8	5.3	2.8	69.1	28.1
	国場	465	9.7	64.1	18.9	5.2	2.2	73.8	24.1
	新都心	501	9.4	60.7	22.6	4.4	3.0	70.1	27.0
	安謝	448	10.7	58.9	22.5	5.4	2.5	69.6	27.9
	泊	429	11.7	64.3	17.2	4.4	2.3	76.0	21.6
	若狭	429	11.4	61.8	19.3	4.9	2.6	73.2	24.2
	城岳	455	11.6	61.3	20.7	3.3	3.1	72.9	24.0
	かなぐすく	402	12.2	60.7	18.9	4.7	3.5	72.9	23.6
	小禄	515	14.4	61.9	18.6	2.7	2.3	76.3	21.3
	高良	477	14.5	57.7	19.5	4.8	3.6	72.2	24.3
認 定 別	一般高齢者	7,551	11.6	63.1	18.8	3.7	2.8	74.7	22.5
	要支援認定者	466	1.9	35.4	41.6	16.7	4.3	37.3	58.3

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) 現在の幸福度【必須項目】



現在の幸福度については、「8 点」が 19.5%で最も高い。次いで「5 点」の 18.0%、「7 点」の 15.4%である。

年齢では 85～89 歳で「10 点」が 18.8%と高く、70～74 歳で 11.6%と低い。

圏域別では小緑圏域で「10 点」が 18.4%と市平均よりも約 4 ポイント高い。一方、識名圏域で「0 点」が 1.5%と市平均よりも 0.8 ポイント高い。

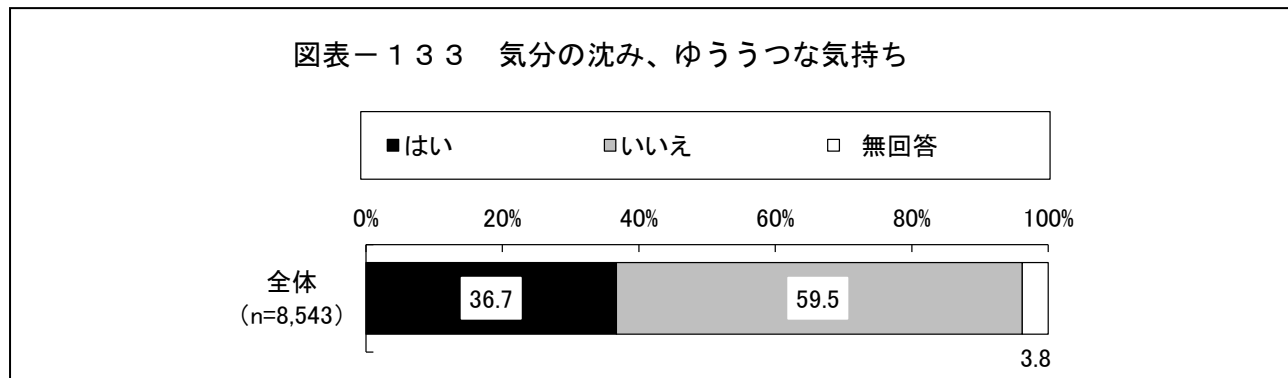
認定度別では、要支援認定者は「0 点」から「6 点」までのすべての項目で市平均を超えている。

図表－132 基本属性別 現在の幸福度

		(調査数)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	(%)	平均(点)
全 体		8,543	0.7	0.4	0.7	2.7	3.4	18.0	9.2	15.4	19.5	10.6	14.0	5.3		6.68
性別	男性	3,576	0.6	0.6	0.9	3.4	3.6	19.7	10.0	15.6	18.6	9.6	12.3	5.2		6.53
	女性	4,800	0.6	0.3	0.5	2.2	3.2	17.0	8.9	15.4	20.4	11.4	15.2	4.9		6.84
年齢別	65～69歳	2,469	0.8	0.5	0.8	2.9	3.6	18.0	9.2	16.8	21.0	10.9	12.8	2.8		6.81
	70～74歳	2,017	0.4	0.5	0.7	3.3	3.3	18.8	10.0	16.6	19.3	11.3	11.6	4.2		6.67
	75～79歳	1,693	0.5	0.6	0.3	2.6	2.7	18.6	9.8	15.8	18.4	10.2	14.3	6.3		6.64
	80～84歳	1,279	0.7	0.2	1.0	2.1	3.4	17.5	8.4	13.5	19.9	10.6	16.2	6.5		6.71
	85～89歳	665	0.5	0.3	1.1	2.1	3.8	16.5	8.6	11.9	18.5	10.1	18.8	8.0		6.68
	90歳以上	201	1.0	0.0	0.0	1.0	3.5	19.9	9.0	10.9	19.4	8.5	17.9	9.0		6.57
圏域別	石嶺	523	0.6	0.8	0.6	2.7	4.0	16.3	8.0	13.2	23.3	9.8	15.3	5.5		6.75
	大名	459	0.2	0.0	0.7	1.5	3.1	16.3	9.8	18.5	19.6	10.2	14.2	5.9		6.79
	城西	516	0.4	0.2	0.4	1.9	2.1	13.6	8.7	17.8	20.9	14.9	14.5	4.5		7.07
	繁多川	415	1.4	0.0	0.0	2.9	3.4	20.0	10.6	13.5	21.4	10.4	9.9	6.5		6.44
	松川	440	0.9	0.9	1.1	3.0	3.2	19.1	10.2	15.0	16.1	10.0	13.4	7.0		6.40
	松島	476	0.0	0.4	0.2	1.9	2.1	13.0	10.9	17.4	21.2	10.1	16.8	5.9		6.96
	識名	540	1.5	0.4	0.7	3.3	3.9	20.0	9.1	14.4	19.1	10.2	12.4	5.0		6.51
	安里	439	0.7	0.2	0.9	3.4	3.6	18.0	7.7	12.3	20.5	13.0	14.1	5.5		6.72
	古波蔵	435	0.7	0.9	0.7	3.0	3.7	23.4	8.5	14.5	16.3	10.3	11.7	6.2		6.37
	国場	465	0.9	0.4	0.9	3.0	4.1	21.7	9.9	13.1	17.4	12.3	12.3	4.1		6.60
	新都心	501	0.8	0.4	0.6	3.0	2.6	18.0	9.8	17.8	19.8	11.0	11.8	4.6		6.68
	安謝	448	1.1	0.4	0.4	4.7	4.9	18.8	10.9	12.9	17.6	10.9	12.1	5.1		6.45
	泊	429	0.7	0.5	0.7	2.8	3.0	17.2	8.6	16.6	21.0	10.5	14.7	3.7		6.85
	若狭	429	0.2	0.7	0.5	2.6	3.5	21.4	8.2	14.0	20.3	9.1	15.9	3.7		6.80
	城岳	455	0.4	0.2	1.1	3.1	3.3	16.3	8.8	19.8	18.7	8.8	14.5	5.1		6.71
	かなぐすく	402	0.2	0.2	0.5	2.0	4.2	15.2	10.4	17.7	20.6	10.4	12.9	5.5		6.75
	小祿	515	0.6	0.6	0.8	2.9	3.1	17.5	9.5	15.1	18.6	9.1	18.4	3.7		6.90
	高良	477	0.2	0.4	1.7	1.7	2.3	21.4	8.0	15.3	20.5	10.1	14.9	3.6		6.84
認定別	一般高齢者	7,551	0.6	0.4	0.6	2.6	3.0	17.7	9.3	15.9	20.2	10.9	14.2	4.6		6.79
	要支援認定者	466	1.1	1.1	2.4	4.5	8.8	27.5	10.7	10.9	13.9	7.1	7.5	4.5		5.83

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(3) この一か月間での気分の沈み、ゆううつな気持ち【必須項目】



気分の沈み、ゆううつな気持ちについては、「いいえ(なかった)」が59.5%で最も高く、「はい(あった)」は36.7%である。

性別では、男性は「いいえ(なかった)」が63.8%で市平均よりも高いのに対し、女性は「はい(あった)」が40.0%で市平均よりも高い。

圏域別では、小緑圏域で「いいえ(なかった)」の割合が高く64.1%であり、市平均よりも約5ポイント高い。一方、松川圏域は「いいえ(なかった)」が54.1%と市平均よりも約5ポイント低い。

認定度別では、要支援認定者は「はい(あった)」の割合が58.4%で市平均よりも約22ポイント高い。

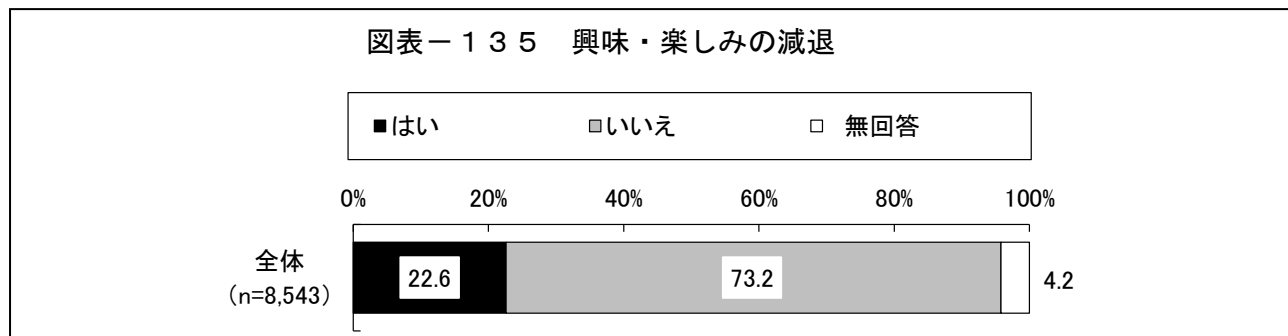
図表－134 基本属性別 気分の沈み、ゆううつな気持ち

(%)

		(調 査 人 数)	はい	いいえ	無 回 答
全 体		8,543	36.7	59.5	3.8
性 別	男性	3,576	32.4	63.8	3.8
	女性	4,800	40.0	56.5	3.5
年 齢 別	65～69歳	2,469	37.3	60.4	2.3
	70～74歳	2,017	37.1	59.9	3.0
	75～79歳	1,693	35.3	60.8	3.9
	80～84歳	1,279	36.0	58.7	5.2
	85～89歳	665	36.8	57.7	5.4
	90歳以上	201	40.8	51.7	7.5
圏 域 別	石嶺	523	38.0	57.6	4.4
	大名	459	35.1	61.4	3.5
	城西	516	34.5	62.6	2.9
	繁多川	415	35.2	60.5	4.3
	松川	440	41.1	54.1	4.8
	松島	476	34.9	60.5	4.6
	識名	540	37.4	59.4	3.1
	安里	439	34.6	62.0	3.4
	古波蔵	435	34.7	62.1	3.2
	国場	465	35.9	61.5	2.6
	新都心	501	38.7	57.7	3.6
	安謝	448	38.6	57.6	3.8
	泊	429	37.1	59.0	4.0
	若狭	429	38.9	57.3	3.7
	城岳	455	40.0	57.4	2.6
	かなぐすく	402	39.3	56.2	4.5
	小禄	515	32.8	64.1	3.1
	高良	477	35.2	61.8	2.9
認 定 別	一般高齢者	7,551	35.5	61.3	3.2
	要支援認定者	466	58.4	36.7	4.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(4) この一ヵ月での興味・楽しみの減退【必須項目】



興味・楽しみの減退については、「いいえ(なかった)」が73.2%で最も高く、「はい(あった)」は22.6%である。

年齢別では、年齢階級が上がる则「いいえ(なかった)」の割合が減少し、「はい(あった)」の割合が増加している。

圏域別では、安謝圏域は「はい(あった)」が29.5%で市平均よりも約7ポイント高い。また、城西圏域は「いいえ(なかった)」が79.1%で市平均よりも約6ポイント高い。

認定度別では、要支援認定者は「はい(あった)」の割合が48.7%で市平均よりも約26ポイント高い。

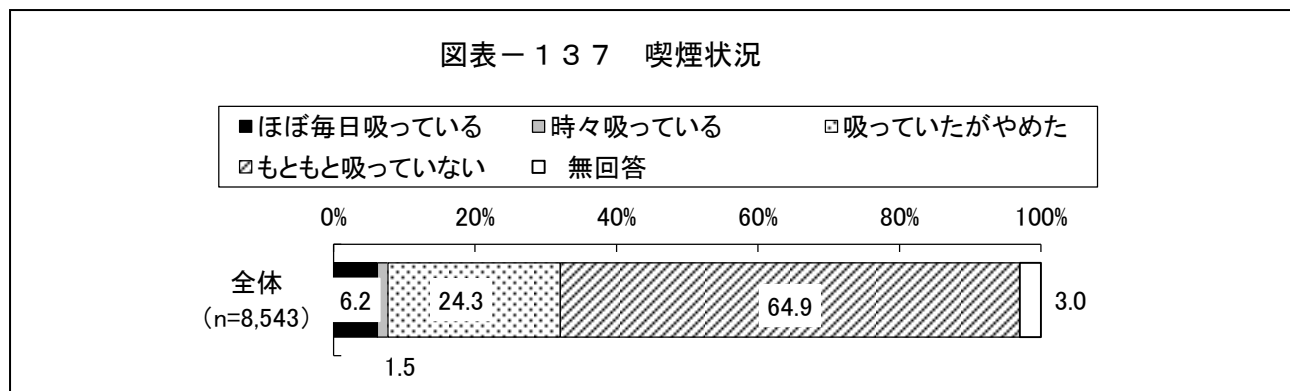
図表－136 基本属性別 興味・楽しみの減退

(%)

		(調 査 人 数)	はい	いいえ	無 回 答
全 体		8,543	22.6	73.2	4.2
性 別	男性	3,576	21.6	74.4	4.1
	女性	4,800	23.6	72.5	3.8
年 齢 別	65～69歳	2,469	20.9	76.7	2.4
	70～74歳	2,017	21.1	75.9	3.1
	75～79歳	1,693	23.2	72.2	4.5
	80～84歳	1,279	24.9	69.8	5.3
	85～89歳	665	26.5	67.8	5.7
	90歳以上	201	27.4	62.2	10.4
圏 域 別	石嶺	523	25.4	69.8	4.8
	大名	459	20.0	76.0	3.9
	城西	516	17.8	79.1	3.1
	繁多川	415	25.5	68.0	6.5
	松川	440	24.1	70.7	5.2
	松島	476	19.5	76.3	4.2
	識名	540	24.4	72.0	3.5
	安里	439	22.6	74.0	3.4
	古波蔵	435	24.1	72.6	3.2
	国場	465	21.5	76.1	2.4
	新都心	501	20.4	75.2	4.4
	安謝	448	29.5	66.1	4.5
	泊	429	19.1	76.2	4.7
	若狭	429	25.2	71.6	3.3
	城岳	455	23.5	73.6	2.9
	かなぐすく	402	21.4	74.1	4.5
	小禄	515	21.6	75.0	3.5
	高良	477	23.1	73.6	3.4
認 定 別	一般高齢者	7,551	21.0	75.5	3.6
	要支援認定者	466	48.7	47.6	3.6

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(5) 喫煙状況【必須項目】



喫煙状況については、「もともと吸っていない」が64.9%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が24.3%、「ほぼ毎日吸っている」が6.2%、「時々吸っている」が1.5%である。

性別では、男性は「もともと吸っていない」の割合が34.3%と市平均と比較し、約30ポイント低く、「吸っていたがやめた」が48.9%で市平均よりも約24ポイント高い。

年齢別でみると、「ほぼ毎日吸っている」は85～89歳までの年齢階級では、階級が上がるほど低くなる。90歳以上では若干増加し2.0%である。

圏域別では、安里圏域は「ほぼ毎日吸っている」が8.9%で市平均よりも約2.5%高い。一方、大名圏域3.9%、城西圏域4.1%、松島圏域3.8%などでは「ほぼ毎日吸っている」が市平均よりも約2ポイント低い。

認定度別では、要支援認定者は「もともと吸っていない」が71.5%と市平均より約6.5ポイント高い。

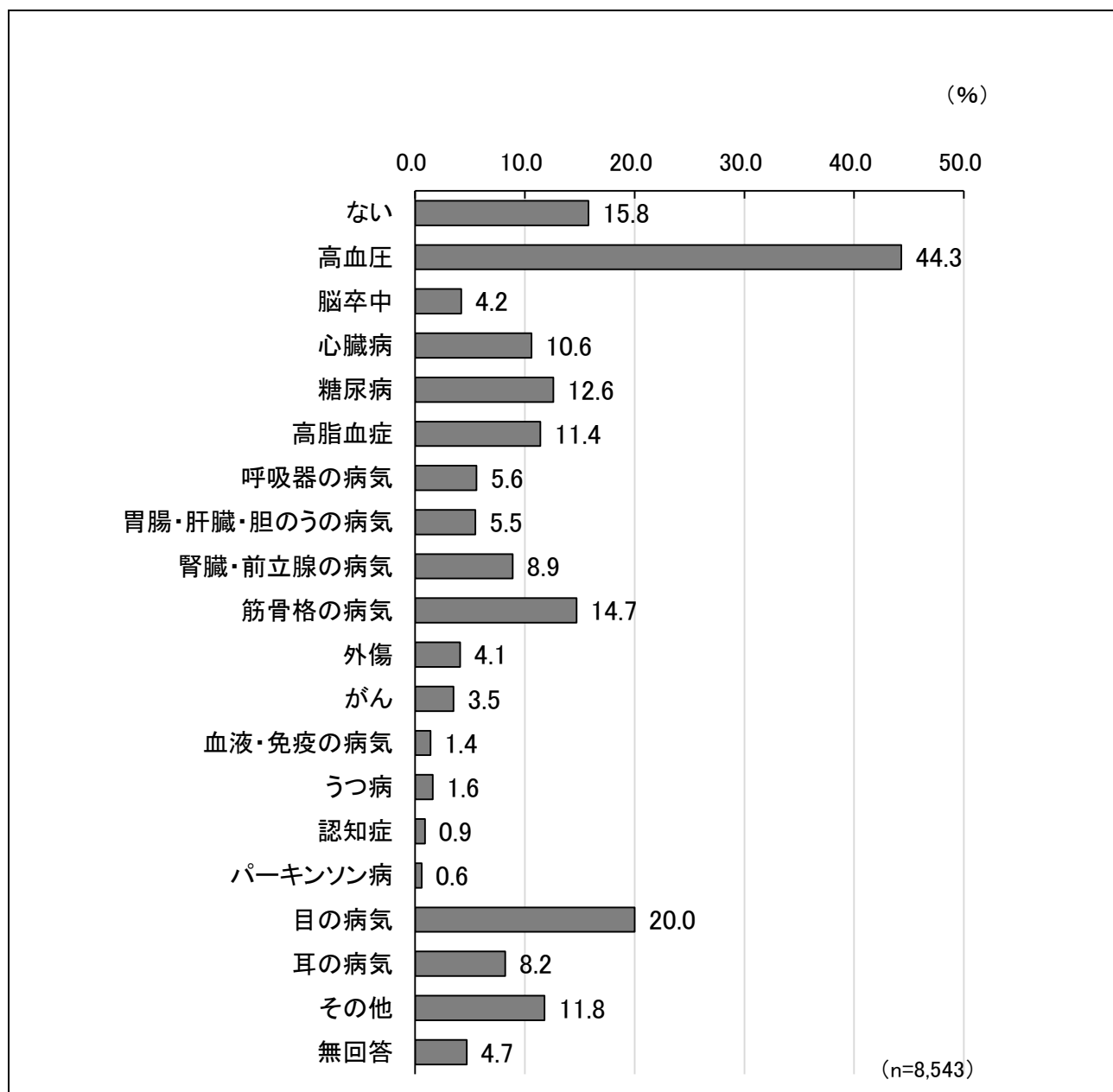
図表－138 基本属性別 喫煙状況

(%)

		調査数 (人)	ほぼ毎日 吸って	時々吸 っている	吸って いたがや めた	もともと 吸って いない	無回 答
全 体		8,543	6.2	1.5	24.3	64.9	3.0
性 別	男性	3,576	11.6	2.6	48.9	34.3	2.6
	女性	4,800	2.2	0.7	6.0	88.1	3.0
年 齢 別	65～69歳	2,469	10.6	2.2	27.4	58.1	1.7
	70～74歳	2,017	6.9	2.0	26.8	62.0	2.3
	75～79歳	1,693	4.0	1.0	21.3	70.3	3.3
	80～84歳	1,279	2.6	0.8	19.3	73.3	4.0
	85～89歳	665	1.5	0.9	24.1	69.5	4.1
	90歳以上	201	2.0	0.0	21.4	70.6	6.0
圏 域 別	石嶺	523	5.4	1.3	22.8	66.7	3.8
	大名	459	3.9	1.3	21.1	70.4	3.3
	城西	516	4.1	0.4	26.4	66.9	2.3
	繁多川	415	6.0	1.4	22.7	65.3	4.6
	松川	440	7.7	2.0	25.5	62.3	2.5
	松島	476	3.8	1.5	21.2	69.5	4.0
	識名	540	8.0	2.4	23.9	63.7	2.0
	安里	439	8.9	2.3	23.7	62.4	2.7
	古波蔵	435	6.0	2.5	25.5	62.5	3.4
	国場	465	6.7	1.5	23.9	65.8	2.2
	新都心	501	5.0	1.4	23.2	67.9	2.6
	安謝	448	6.3	1.3	22.8	67.0	2.7
	泊	429	6.5	1.2	25.9	63.9	2.6
	若狭	429	8.4	2.6	25.9	60.8	2.3
	城岳	455	7.3	0.9	24.6	64.2	3.1
	かなぐすく	402	6.2	1.0	27.4	62.7	2.7
	小禄	515	6.6	1.6	25.6	64.5	1.7
	高良	477	5.5	1.3	26.8	63.7	2.7
認 定 別	一般高齢者	7,551	6.4	1.6	24.8	64.6	2.6
	要支援認定者	466	3.4	1.5	20.2	71.5	3.4

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(6) 治療中、または後遺症のある病気【必須項目】



図表－１３９ 治療中、または後遺症のある病気【複数回答】

治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が44.3%で最も高く、次いで「目の病気」が20.0%、「ない」が15.8%、「筋骨格の病気」が14.7%、「糖尿病」が12.6%である。

性別では、男性は「高血圧」46.8%、「脳卒中」5.6%、「心臓病」13.4%、「糖尿病」15.6%、「腎臓・前立腺の病気」17.6%などで市平均よりも高い。一方、女性は「高脂血症」13.6%、「筋骨格の病気」21.5%、「外傷」5.1%、「目の病気」21.7%などで市平均よりも高い。

年齢別では、「高血圧」、「心臓病」、「筋骨格の病気」、「外傷」、「認知症」、「目の病気」、「耳の病気」は年齢階級の高い回答者で増加する傾向にある。一方、「ない」や「高脂血症」は年齢階級が低い回答者で高い。

認定度別では、要支援認定者はほぼすべての項目において市平均を上回っている。

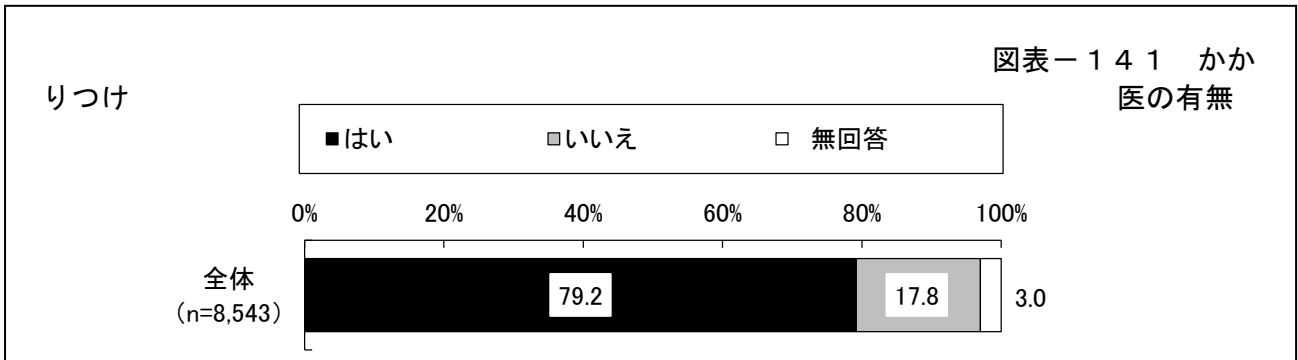
図表－１４０ 基本属性別 治療中、または後遺症のある病気【複数回答】

(%)

	調査数（人）	ない	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気	外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	8,543	15.8	44.3	4.2	10.6	12.6	11.4	5.6	5.5	8.9	14.7	4.1	3.5	1.4	1.6	0.9	0.6	20.0	8.2	11.8	4.7
性別																					
男性	3,576	15.8	46.8	5.6	13.4	15.6	8.7	5.9	5.2	17.6	5.5	2.7	3.4	1.2	1.4	1.1	0.8	17.8	8.3	11.2	3.9
女性	4,800	15.9	42.4	3.0	8.3	10.4	13.6	5.4	5.7	2.5	21.5	5.1	3.6	1.4	1.8	0.9	0.5	21.7	8.1	12.3	5.1
年齢別																					
65～69歳	2,469	23.0	36.4	3.2	6.8	11.1	12.8	4.3	4.4	5.3	10.4	2.0	3.1	1.6	2.0	0.2	0.4	15.1	5.3	11.9	4.9
70～74歳	2,017	16.4	43.0	4.1	9.2	13.6	13.2	5.9	5.1	7.9	11.8	2.9	4.5	1.2	1.3	0.4	0.5	17.7	5.7	13.2	4.4
75～79歳	1,693	12.8	49.0	4.5	10.8	14.6	11.8	6.6	6.0	9.9	16.5	3.9	3.1	0.8	1.6	0.8	1.3	23.9	9.2	12.1	3.8
80～84歳	1,279	11.4	49.5	5.4	14.0	12.3	8.6	6.0	7.0	12.3	19.7	6.5	3.7	1.7	2.0	1.6	0.3	24.6	11.3	10.6	4.5
85～89歳	665	7.5	52.9	4.2	16.2	10.8	8.3	5.3	6.8	15.6	22.6	8.4	3.6	1.5	0.5	3.0	0.6	26.0	15.9	9.8	4.8
90歳以上	201	5.5	54.7	3.0	22.9	11.9	7.0	6.5	6.5	11.9	20.4	10.9	2.5	2.0	0.5	5.5	0.0	24.4	13.9	10.0	6.0
圏域別																					
石嶺	523	16.4	42.1	4.6	9.6	12.2	12.0	5.4	7.1	9.0	15.9	3.6	3.6	1.7	2.1	0.8	0.6	18.5	9.2	12.8	4.6
大名	459	13.9	45.3	4.8	10.7	12.0	11.5	5.0	6.8	7.6	16.6	3.3	3.1	1.1	0.9	1.7	0.7	19.2	9.8	12.0	5.0
城西	516	16.9	43.8	2.9	11.2	12.0	13.6	4.5	4.1	10.7	13.2	2.1	2.5	0.6	1.2	1.0	0.4	20.7	7.8	8.9	5.0
繁多川	415	12.8	46.5	4.3	11.3	14.5	10.4	6.7	6.3	10.4	15.9	1.2	4.6	0.7	1.7	1.0	1.0	24.3	11.3	10.4	4.8
松川	440	15.2	45.2	3.6	9.5	11.6	10.2	6.6	5.2	8.9	14.8	4.8	3.4	2.0	1.6	1.1	0.5	24.3	6.8	12.3	3.6
松島	476	19.5	45.6	3.6	10.5	9.5	11.1	5.7	6.7	6.9	12.2	4.4	3.6	0.8	1.9	0.6	0.6	17.9	9.2	10.9	5.9
識名	540	16.3	45.9	3.7	12.8	13.3	13.5	5.9	6.3	10.0	13.9	3.0	3.0	1.9	1.5	0.9	0.2	21.5	6.7	11.1	3.7
安里	439	15.7	38.7	5.7	11.8	10.5	9.1	6.6	5.7	9.3	12.8	5.0	2.7	1.6	0.9	0.9	1.1	23.9	6.4	13.9	5.5
古波蔵	435	14.5	45.3	5.5	9.9	11.7	8.5	5.1	4.8	9.2	18.2	4.6	3.7	2.3	2.1	0.9	1.6	20.0	11.0	12.4	6.4
国場	465	14.4	46.7	2.8	8.6	14.8	11.4	4.7	5.2	9.2	14.2	5.4	4.1	1.5	2.4	0.9	0.6	22.6	8.0	10.1	5.4
新都心	501	17.2	42.1	4.2	13.2	10.4	12.8	5.4	4.6	9.0	13.0	5.4	4.0	0.8	1.8	1.4	0.2	15.8	5.8	14.2	4.4
安謝	448	14.7	40.8	4.9	9.8	13.8	13.2	5.1	5.4	8.7	16.1	4.7	4.2	0.9	1.8	0.4	0.4	21.0	12.1	12.7	5.1
泊	429	17.7	43.1	5.4	11.0	13.1	12.6	5.8	4.2	8.9	14.2	4.0	3.3	1.2	1.2	0.5	0.2	18.6	5.6	9.8	5.8
若狭	429	15.2	46.6	4.7	12.6	14.7	10.0	4.9	7.0	9.6	15.2	5.8	3.3	1.4	2.1	0.7	0.7	15.9	7.7	13.8	2.3
城岳	455	15.6	45.5	3.7	9.5	14.1	13.0	7.7	5.9	7.7	17.6	4.2	3.7	1.3	1.5	0.2	0.4	22.0	8.1	13.0	3.5
かなぐすく	402	17.4	42.5	4.2	7.7	14.2	12.4	5.7	4.5	8.2	15.2	6.0	4.5	1.0	1.5	1.7	0.7	20.9	6.0	11.2	3.7
小禄	515	16.3	45.6	4.3	8.7	11.5	11.8	4.7	5.4	7.4	12.8	2.5	4.5	1.6	1.0	0.8	0.4	15.0	8.2	10.7	4.3
高良	477	15.3	44.4	2.3	11.3	13.0	9.6	5.9	4.2	10.9	12.8	4.4	2.1	1.9	1.9	1.5	0.8	20.1	8.0	11.9	4.0
認定別																					
一般高齢者	7,551	16.9	43.9	3.4	10.0	12.2	11.8	5.4	5.2	8.9	13.4	3.3	3.4	1.3	1.4	0.5	0.4	19.7	7.6	11.9	4.3
要支援認定者	466	3.0	52.8	15.0	18.9	19.5	9.2	9.4	10.1	10.7	32.4	16.3	6.0	2.8	3.6	6.0	4.7	25.3	14.2	13.3	2.8

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

(7) かかりつけ医の有無【市独自】



かかりつけ医の有無については、「はい(いる)」が79.2%、「いいえ(いない)」が17.8%である。

性別では、男性は「はい(いる)」が77.4%、女性は80.7%である。「いいえ(いない)」は男性20.0%、女性16.3%である。

年齢別では、年齢階級が上がるほど「はい(いる)」の割合が増加する。一方、65～69歳では「いいえ(いない)」が26.9%、70～74歳では20.6%と市平均よりも約3～9ポイント高い。

圏域別では、安謝圏域は「いいえ(いない)」が21.9%と市平均よりも約4ポイント高い。

認定度別では、要支援認定者は「はい(いる)」が92.9%である。

図表－１４２ 基本属性別 かかりつけ医の有無

(%)

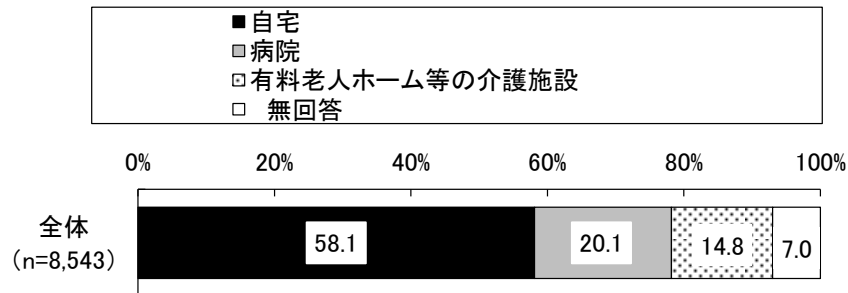
		(調査人数)	はい	いいえ	無回答
全 体		8,543	79.2	17.8	3.0
性別	男性	3,576	77.4	20.0	2.5
	女性	4,800	80.7	16.3	3.1
年齢別	65～69歳	2,469	71.1	26.9	2.0
	70～74歳	2,017	77.1	20.6	2.3
	75～79歳	1,693	85.2	11.8	3.0
	80～84歳	1,279	85.5	10.5	4.1
	85～89歳	665	86.3	10.5	3.2
	90歳以上	201	91.0	4.0	5.0
圏域別	石嶺	523	79.2	17.4	3.4
	大名	459	79.1	17.9	3.1
	城西	516	79.5	17.1	3.5
	繁多川	415	77.6	17.1	5.3
	松川	440	77.5	18.4	4.1
	松島	476	80.5	16.8	2.7
	識名	540	78.1	19.6	2.2
	安里	439	76.1	21.0	3.0
	古波蔵	435	79.8	17.9	2.3
	国場	465	78.5	17.6	3.9
	新都心	501	77.4	20.2	2.4
	安謝	448	75.0	21.9	3.1
	泊	429	77.9	19.8	2.3
	若狭	429	81.8	16.1	2.1
	城岳	455	81.8	16.9	1.3
	かなぐすく	402	81.6	15.9	2.5
	小禄	515	81.0	16.5	2.5
	高良	477	83.9	13.8	2.3
認定別	一般高齢者	7,551	78.6	18.8	2.6
	要支援認定者	466	92.9	4.7	2.4

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(8) 希望する終末期の居所【市独自項目】

図表 143 希望する終末期の居所

望する終末



希望する終末期の居所については、「自宅」が 58.1% で最も高く、次いで「病院」が 20.1%、「有料老人ホーム等の介護施設」が 14.8% である。

性別では、男性は「自宅」が 64.1% で市平均と比べ 6 ポイント高い。女性は「病院」21.8%、「有料老人ホーム等の介護施設」17.2% で市平均より高い。

年齢別では、「自宅」は年齢階級が高い回答者で割合が高くなる(80～84 歳で 60.8%、85～89 歳で 69.8%、90 歳以上でやや減少し 67.2%)。

圏域別では、泊圏域は「自宅」が 53.4% と市平均よりも約 4 ポイント低い一方、「有料老人ホーム等の介護施設」が 18.6% と市平均よりも約 4 ポイント高い。

認定度別では、要支援認定者は「自宅」が 62.7% と市平均よりも約 4 ポイント高い。

図表－１４４ 基本属性別 希望する終末期の居所

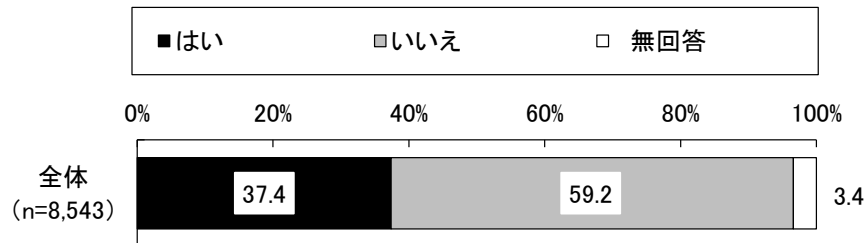
(%)

		調査 数 (人)	自 宅	病 院	有 料 老 人 ホ ー ム 等 の 介 護 施 設	無 回 答
全 体		8,543	58.1	20.1	14.8	7.0
性 別	男性	3,576	64.1	18.0	11.9	6.0
	女性	4,800	53.6	21.8	17.2	7.5
年 齢 別	65～69歳	2,469	57.4	19.2	16.9	6.4
	70～74歳	2,017	55.4	21.7	15.9	7.0
	75～79歳	1,693	54.5	21.9	16.2	7.4
	80～84歳	1,279	60.8	20.3	11.8	7.1
	85～89歳	665	69.8	16.4	8.6	5.3
	90歳以上	201	67.2	14.4	12.9	5.5
圏 域 別	石嶺	523	55.8	23.7	12.8	7.6
	大名	459	56.2	21.1	17.2	5.4
	城西	516	59.7	17.6	14.5	8.1
	繁多川	415	61.4	18.6	11.6	8.4
	松川	440	59.1	19.1	15.0	6.8
	松島	476	61.6	18.1	15.5	4.8
	識名	540	60.9	19.6	12.4	7.0
	安里	439	57.2	19.8	16.9	6.2
	古波蔵	435	53.6	21.8	17.2	7.4
	国場	465	54.6	21.1	16.6	7.7
	新都心	501	56.1	20.6	16.6	6.8
	安謝	448	58.5	19.2	12.5	9.8
	泊	429	53.4	19.8	18.6	8.2
	若狭	429	55.9	23.5	14.9	5.6
	城岳	455	59.1	19.8	17.4	3.7
	かなぐすく	402	60.2	20.4	13.2	6.2
	小禄	515	59.8	19.6	12.8	7.8
	高良	477	61.6	19.1	13.6	5.7
認 定 別	一般高齢者	7,551	57.9	20.5	15.1	6.5
	要支援認定者	466	62.7	17.2	14.2	6.0

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

(9) 終末期の医療、介護、延命措置に関する要望の伝達状況【市独自項目】

図表－145 終末期の医療、介護、延命措置に関する要望



終末期の医療、介護、延命措置に関する要望を家族等に伝えているかについては、「いいえ(伝えていない)」が59.2%、「はい(伝えている)」が37.4%である。

性別では、女性は「はい(伝えている)」が41.5%で男性31.9%より高く、男性は「いいえ(伝えていない)」が65.1%で女性55.0%より高い。

年齢別では、75～79歳で「はい(伝えている)」が40.5%と市平均よりも約3ポイント高い。

圏域別では、石嶺圏域は「はい(伝えている)」が43.4%で市平均よりも6ポイント高く、識名圏域32.4%、国場圏域32.5%は市平均よりも約5ポイント低い。

図表－１４６ 基本属性別 終末期の医療、介護、延命措置に関する要望

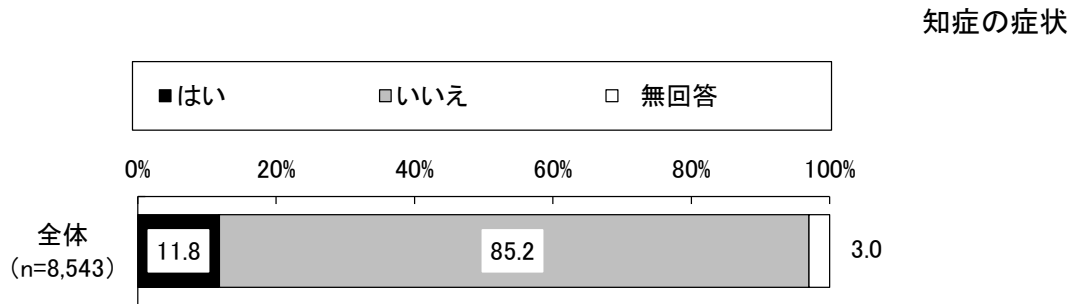
		(%)			
		(調査人数)	はい	いいえ	無回答
全 体		8,543	37.4	59.2	3.4
性別	男性	3,576	31.9	65.1	3.0
	女性	4,800	41.5	55.0	3.5
年齢別	65～69歳	2,469	35.3	62.6	2.1
	70～74歳	2,017	37.0	60.2	2.8
	75～79歳	1,693	40.5	55.8	3.7
	80～84歳	1,279	38.1	57.3	4.6
	85～89歳	665	38.0	58.5	3.5
	90歳以上	201	39.3	54.7	6.0
圏域別	石嶺	523	43.4	52.6	4.0
	大名	459	39.0	59.0	2.0
	城西	516	34.3	62.2	3.5
	繁多川	415	35.7	60.0	4.3
	松川	440	34.8	61.8	3.4
	松島	476	36.6	59.9	3.6
	識名	540	32.4	64.1	3.5
	安里	439	39.4	58.3	2.3
	古波蔵	435	36.3	58.9	4.8
	国場	465	32.5	63.0	4.5
	新都心	501	40.7	56.3	3.0
	安謝	448	34.2	60.7	5.1
	泊	429	39.2	57.3	3.5
	若狭	429	40.8	56.6	2.6
	城岳	455	40.0	58.5	1.5
	かなぐすく	402	38.8	59.0	2.2
	小禄	515	37.9	58.4	3.7
	高良	477	38.8	59.7	1.5
認定別	一般高齢者	7,551	37.7	59.4	2.9
	要支援認定者	466	36.5	60.5	3.0

※「全体」は各属性の無回答も含む（以下、同様）

9. 認知症にかかる相談窓口の把握について【問8】

(1) 認知症の症状の有無【必須項目】

図表 147 認知症の症状の有無



認知症の症状がある、または認知症の症状がある家族がいるかについては、「いいえ」が85.2%で、「はい」が11.8%である。

年齢別では、70～74歳、75～79歳の年齢階級で「はい」が市平均より約2ポイント低く(70～74歳10.1%、75～79歳9.7%)、「いいえ」が市平均より約2～3ポイント高い(70～74歳88.1%、75～79歳87.1%)。

圏域別では、松川圏域は「はい」が15.0%で市平均よりも約3ポイント高い。

認定度別では、要支援認定者は「はい」が一般高齢者11.3%よりも約9ポイント高く20.4%である。

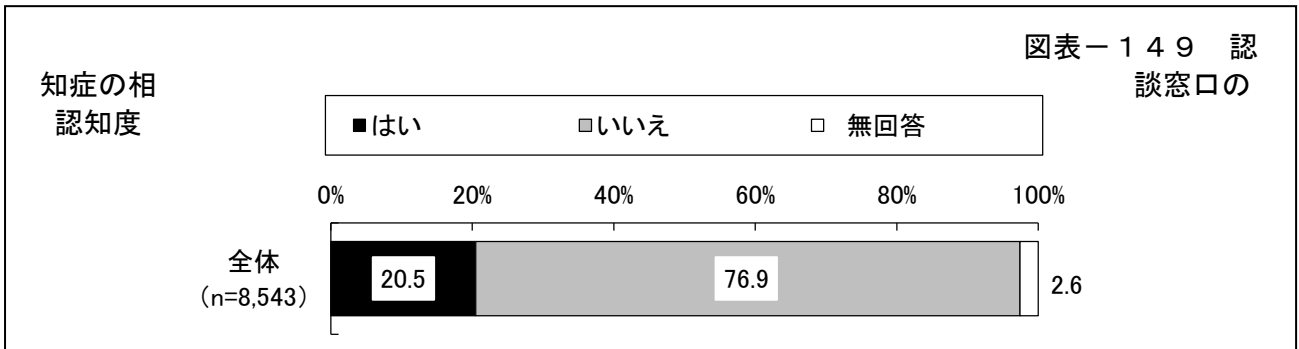
図表－１４８ 基本属性別 認知症の症状の有無

(%)

		(調 人 査 数)	はい	いいえ	無 回 答
全 体		8,543	11.8	85.2	3.0
性 別	男性	3,576	11.0	86.4	2.6
	女性	4,800	12.4	84.5	3.0
年 齢 別	65～69歳	2,469	14.4	84.0	1.6
	70～74歳	2,017	10.1	88.1	1.8
	75～79歳	1,693	9.7	87.1	3.2
	80～84歳	1,279	10.6	84.6	4.8
	85～89歳	665	14.9	80.8	4.4
	90歳以上	201	11.9	83.6	4.5
圏 域 別	石嶺	523	13.0	84.5	2.5
	大名	459	11.1	86.3	2.6
	城西	516	11.2	86.2	2.5
	繁多川	415	10.6	84.3	5.1
	松川	440	15.0	82.0	3.0
	松島	476	10.5	87.4	2.1
	識名	540	13.5	83.3	3.1
	安里	439	9.8	87.7	2.5
	古波蔵	435	11.3	84.4	4.4
	国場	465	10.5	86.5	3.0
	新都心	501	9.4	87.0	3.6
	安謝	448	11.6	84.2	4.2
	泊	429	12.6	84.8	2.6
	若狭	429	11.9	86.7	1.4
	城岳	455	10.5	88.4	1.1
	かなぐすく	402	11.4	85.8	2.7
	小禄	515	14.6	82.9	2.5
	高良	477	13.8	83.6	2.5
認 定 別	一般高齢者	7,551	11.3	86.3	2.4
	要支援認定者	466	20.4	75.3	4.3

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

(2) 認知症の相談窓口の認知度【必須項目】



認知症の相談窓口の認知度については、「いいえ(知らない)」が76.9%、「はい(知っている)」が20.5%である。

性別では、女性は「はい(知っている)」が22.6%で市平均より約2ポイント高く、男性は「いいえ(知らない)」が79.8%で市平均よりも約3ポイント高い。

年齢別では、65～69歳では「はい(知っている)」が22.9%で市平均よりも約2ポイント高い。

圏域別では、「いいえ(知らない)」は安里圏域82.0%と安謝圏域81.0%で市平均よりも約4～5ポイント高い。一方、「はい(知っている)」は石嶺圏域25.0%、小緑圏域24.3%で市平均よりも約4ポイント高い。

図表－１５０ 基本属
談窓口の認知

性別 認知症の相
度

		(人 調査 数)	はい	いいえ	(%) 無 回 答
全 体		8,543	20.5	76.9	2.6
性別	男性	3,576	18.1	79.8	2.1
	女性	4,800	22.6	74.6	2.8
年齢別	65～69歳	2,469	22.9	75.4	1.7
	70～74歳	2,017	21.1	77.2	1.7
	75～79歳	1,693	19.4	78.0	2.6
	80～84歳	1,279	18.4	77.6	4.1
	85～89歳	665	20.2	77.0	2.9
	90歳以上	201	18.9	76.6	4.5
圏域別	石嶺	523	25.0	71.5	3.4
	大名	459	23.1	74.7	2.2
	城西	516	23.3	75.0	1.7
	繁多川	415	21.4	75.2	3.4
	松川	440	20.2	76.8	3.0
	松島	476	20.0	78.2	1.9
	識名	540	20.4	77.0	2.6
	安里	439	15.9	82.0	2.1
	古波蔵	435	18.4	77.2	4.4
	国場	465	20.2	77.6	2.2
	新都心	501	19.6	78.2	2.2
	安謝	448	16.3	81.0	2.7
	泊	429	17.9	79.3	2.8
	若狭	429	24.2	75.1	0.7
	城岳	455	19.3	78.9	1.8
	かなぐすく	402	18.4	79.4	2.2
	小禄	515	24.3	73.2	2.5
	高良	477	22.2	75.1	2.7
認定別	一般高齢者	7,551	20.9	77.0	2.1
	要支援認定者	466	20.8	75.3	3.9

※「全体」は各属性の無回答も含む(以下、同様)

参考資料

使用した調査票

那覇市 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 【調査票】

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、**令和2年1月14日(火)**までに投函してください。
(切手は要りません)

記入日	令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄： _____）	
3. その他	

**** 次ページからのアンケートに是非ご回答ください ****



記入にあたってのお願い

- 1 この調査は市内在住の 65 歳以上の方（要介護認定者を除く）から無作為に抽出した約 15,000 人を対象に実施しています。
- 2 ご回答にあたっては調査の対象者についてお答えいただきますが、ご家族の方が一緒に回答されたり、また、代わりに記入することも可能です。
- 3 原則として、ご本人の主観等に基づいてお答えください。病名等はご本人がわかる範囲で結構です。
- 4 ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例、

0	6	2
---	---	---

 kg）でご記入ください。また、「その他」の回答番号を選んだ場合には、その他の具体的内容を（ ）内にご記入ください。
- 5 この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、要介護認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
- 6 調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。
- 7 記入方法等不明な点がございましたら、別紙に記載している『問い合わせ（協力事業者）』までお問い合わせください。

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

はじめに あなたご自身のことについて



(1) 性別 1. 男性 2. 女性

(2) 年齢 (令和元年12月1日現在) (歳)

(3) 要介護度

1. 認定は受けていない 2. 要支援1 3. 要支援2

(4) あなたの住んでいる場所はどこですか

※次の「1」～「18」の地域の中から、あなたが住んでいる地域に○印をしてください

1. 石嶺	石嶺町 2丁目・3丁目・4丁目
2. 大名	石嶺町 1丁目、赤平町、儀保町、久堀川町、平良町、大名町
3. 城西	池端町、大中町、金城町、寒川町、烏堀町、当蔵町、桃原町、真和志町、山川町、赤田町、崎山町、汀良町
4. 繁多川	繁多川、識名 2丁目・3丁目
5. 松川	大道、松川、三原 1丁目・2丁目
6. 松島	末古町、松島、真嘉比、古島
7. 識名	字寄宮、寄宮 3丁目、長田、三原 3丁目、上間 1丁目、識名 1丁目・4丁目
8. 安里	安里、壺屋、牧志 3丁目、樋川 2丁目、寄宮 1丁目・2丁目
9. 古波蔵	与儀、古波蔵、樋川 1丁目
10. 国場	国場、仲井真、真地、上間、字識名
11. 新都心	銘苅、天久 1丁目・2丁目、おもろまち 3丁目・4丁目
12. 安謝	字天久、安謝[1丁目・2丁目含む]、曙、港町
13. 泊	おもろまち 1丁目・2丁目、上之屋、泊、久茂地、前島 1丁目・2丁目、牧志 1丁目・2丁目
14. 若狭	前島 3丁目、松山、若狭、久米、辻、通堂町、西、東町
15. 城岳	松尾、楚辺、壺川、旭町、泉崎
16. かなぐすく	奥武山町、山下町、垣花町、字鏡水、鏡原町、住吉町、当間、赤嶺、安次嶺、大嶺、金城、田原 1丁目、高良 3丁目、字栄原 1丁目・2丁目・3丁目
17. 小祿	字田原、田原 2丁目・3丁目・4丁目、字小祿、小祿 1丁目・4丁目・5丁目
18. 高良	小祿 2丁目・3丁目、字字栄原、字栄原 4丁目・5丁目・6丁目、字高良、高良 1丁目・2丁目、具志、宮城

問1

あなたのご家族や生活状況について



(1) 家族構成をお教えてください

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(2)において「3.現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

(2) ① 主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他() | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

- | | |
|---|---|
| 1. 持家(一戸建て)
<small>こうえいちんたいじゅうたく</small> | 2. 持家(集合住宅)
<small>みんかんちんたいじゅうたく</small> |
| 3. 公営賃貸住宅
<small>みんかんちんたいじゅうたく</small> | 4. 民間賃貸住宅(一戸建て)
<small>みんかんちんたいじゅうたく</small> |
| 5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
<small>みんかんちんたいじゅうたく</small> | 6. 有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅 |
| 7. その他 | |

問2**からだを動かすことについて**

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

1. とても不安である 2. やや不安である
3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか

1. ほとんど外出しない 2. 週1回
3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか

1. はい 2. いいえ

次のページ(8)①へ

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

(8)① 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

- | | |
|-------------------|--|
| 1. 病気 | 2. 障害(脳卒中の後遺症など)
<small>しょうがい のうそっちゅう こういししょう</small> |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配(失禁など) |
| 5. 耳の障害(聞こえの問題など) | 6. 目の障害 |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他() |

(9) 外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

- | | | | |
|----------------|------------------|--------|--------|
| 1. 徒歩 | 2. つえ歩行 | 3. 自転車 | 4. バイク |
| 5. 自動車(自分で運転) | 6. 自動車(人に乗せてもらう) | | |
| 7. モノレール | 8. 路線バス | | |
| 9. 病院や施設のバス | 10. 車いす | | |
| 11. 電動車いす(カート) | 12. 歩行器・シルバーカー | | |
| 13. タクシー | 14. その他() | | |

問3 食べることについて



(1) 身長・体重

身長 cm

体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

(5) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

問 4 毎日の生活について**(1) 物忘れが多いと感じますか**

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) バスやモノレールを使って 1 人で外出していますか (自家用車でも可)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 自分で食事の用意をしていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(7) 趣味や楽しみはありますか

1. 趣味や楽しみあり →
2. 思い浮かばない

【趣味や楽しみの内容を記入ください】

問5

地域での活動について



- (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①～⑧それぞれに回答してください

	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	い な い	参 加 し て
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6	
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6	
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6	
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6	
⑤（「地域ふれあいデイサービス」など） 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6	
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6	
⑦町内会・自治会・通り会	1	2	3	4	5	6	
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6	

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

問6

たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします



(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども |
| 3. 別居の子ども | 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 |
| 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(いくつでも)

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

1. 配偶者
2. 同居の子ども
3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫
5. 近隣
6. 友人
7. その他 ()
8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

1. 自治会・町内会・老人クラブ
2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー
4. 医師・歯科医師・看護師・医療相談員
5. 地域包括支援センター
6. 市役所
7. その他（
8. そのような人はいない

(6) 安心して暮らし続けていくために充実してほしいことはありますか
(3つまで)

1. 声かけ
2. 外出時の移動手段
3. 健康づくり教室
4. 気軽に集まる場
5. 家事支援（買物）
6. 家事支援（調理）
7. 家事支援（掃除）
8. 家事支援（洗濯）
9. 家事支援（ごみ出し）
10. 就労の機会
11. 防犯・防災情報
12. その他（ ）

(7) 災害時に備え、どのような準備をされていますか (いくつでも)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 避難所の確認 | 2. 非常用物品の準備 |
| 3. その他 () | 4. 特にない |

問7

健康について



(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

- | | |
|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい |
| 3. あまりよくない | 4. よくない |

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても 不幸		とても 幸せ
0点	1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点	10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) タバコは吸っていますか

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

- | | | |
|----------------------|--------------------------|-------------------|
| 1. ない | 2. 高血圧 | 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) |
| 4. 心臓病 | 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症 (脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | | |
| 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | | |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) | |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等) | 12. がん (悪性新生物) | |
| 13. 血液・免疫の病気 | 14. うつ病 | |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病 | |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 | |
| 19. その他 (| |) |

(7) かかりつけ医はいますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) あなたは、どこで終末期を過ごしたいと思いますか

- | | | |
|-------|-------|------------------|
| 1. 自宅 | 2. 病院 | 3. 有料老人ホーム等の介護施設 |
|-------|-------|------------------|

(9) あなたは、家族等に終末期の医療や介護や延命措置に関する要望を伝えてありますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 8

認知症にかかる相談窓口の把握について



(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

～ 以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました ～